資料３

# 甲州市総合計画見直しのための
# まちづくりアンケート調査

## －報告書－

平成 28 年 12 月

甲州市

# 目　次

Ⅰ　調査概要 1
1. 調査の目的 1
2. 調査の実施概要 1
3. 調査項目 2
4. 報告書の読み方 3
Ⅱ　調査結果 4
Ⅱ-1. あなたご自身のこと 4
Ⅱ-2. まちの現状について 7
Ⅱ-3. 保健・医療・福祉について 32
Ⅱ-4. 環境対策について 47
Ⅱ-5. 産業振興について 50
Ⅱ-6. 生活環境について 60
Ⅱ-7. 教育・文化・スポーツについて 63
Ⅱ-8. 消防・防災対策について 70
Ⅱ-9. 土地利用、道路・交通について 73
Ⅱ-10. 男女共同参画について 78
Ⅱ-11. 地域間交流について 81
Ⅱ-12. 広聴・広報、市民参画、情報化などについて 83
Ⅱ-13. これからのまちづくりについて 97
Ⅱ-14. まちの特色について 101

# Ⅰ　調査概要

## 1. 調査の目的

本調査は、来年度に改定する「第 2 次甲州市総合計画」の基礎資料として、まちづくりに関する市民の意見・提案を把握することを目的に実施した。

## 2. 調査の実施概要

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 対象者 | 市民（18 歳以上の市内在住者） |
| 調査数 | 3,000 人<br>（年齢、性別、地区を考慮した上で、住民基本台帳から無作為抽出） |
| 調査方法 | 郵送による配付・回収 |
| 調査時期 | 平成 28 年 9 月 28 日～10 月 11 日 |
| 回答数 | 1,015 票（回答率 33.8%） |
| 結果の見方と理論値 | 調査結果は、対象集団（約 28,000 人）に対する統計上の一般的な要件（信頼度 95%等）を備えており、全体結果の理論上の最大誤差範囲（構成比率 50%）は 3.0%となる（選択肢の回答が 50%の場合、対象集団に当てはめると 48.5%～51.5%の範囲（＋－1.5%）と推定される）。 |

（参考）

| 項目 | 今回調査（平成 28 年 9 月実施） | 前回調査（平成 24 年 7 月実施） |
|---|---|---|
| 対象者 | 市民（18 歳以上の市内在住者） | 同左 |
| 調査数 | 3,000 人 | 1,000 人 |
| 回答数 | 1,015 票（回答率 33.8%） | 403 票（回答率 40.3%） |
| 調査方法 | 郵送による配付・回収 | 同左 |

## 3. 調査項目

| 項目 | 設問 |
|---|---|
| 回答者属性 | （1）性別 |
| | （2）年齢 |
| | （3）居住区 |
| | （4）職業 |
| | （5）勤務先・通学先 |
| | （6）居住歴 |
| | （7）世帯構成 |
| 暮らしやすさ<br>定住意向 | 問 2　甲州市の暮らしやすさの感想 |
| | 問 3　甲州市に住み続けたいか |
| | 問 3－1　「住みたくない」主な理由（問 3 の限定設問） |
| | 問 4　定住したくなる人を増やすために必要な取り組み |
| 施策の満足度・重要度 | 問 5　甲州市のまちづくりに関する項目の満足度・重要度 |
| | 問 5－1　重要度が高い項目（3 つ） |
| 健康づくり<br>保健・医療<br>高齢者福祉<br>子育て支援 | 問 6　健康づくりの重点施策 |
| | 問 7　保健・医療対策の重点施策 |
| | 問 8　高齢者支援の重点施策 |
| | 問 9　障害者支援の重点施策 |
| | 問 10　「少子化」問題の捉え方 |
| | 問 11　保育や子育て支援、少子化対策の重点施策 |
| 環境保全 | 問 12　環境保全の重点施策 |
| 産業振興 | 問 13　農林業振興の重点施策 |
| | 問 14　商工業振興の重点施策 |
| | 問 15　観光振興の重点施策 |
| 生活環境 | 問 16　身近な生活環境の改善に必要な施設整備 |
| 教育・文化・スポーツ | 問 17　学校教育の充実に必要な取り組み |
| | 問 18　生涯学習活動の充実に必要な取り組み |
| | 問 19　生涯スポーツ活動の充実に必要な取り組み |
| 消防・防災 | 問 20　消防・防災の重点施策 |
| 土地利用、道路、交通手段 | 問 21　優先的に整備していく用地 |
| | 問 22　甲州市及びその周辺の道路、交通手段に必要なこと |
| 男女共同参画社会 | 問 23　男女共同参画社会の形成に必要な取り組み |
| 地域間交流 | 問 24　市内外との地域間交流に必要な取り組み |
| 広聴・広報<br>市民参画<br>情報化 | 問 25　市政への関心度 |
| | 問 26　市民の声の行政への反映度 |
| | 問 27　市政に意見を言う機会や手段の満足度 |
| | 問 28　市政情報の入手方法 |
| | 問 29　地域活動やボランティア活動の参加状況、参加意向 |
| | 問 29－1　参加している、参加したい地域活動の種類<br>（問 29 の限定設問） |
| | 問 30　情報化が進む社会に対応するために必要な取り組み |
| 今後のまちづくり | 問 31　甲州市をどのような特色のあるまちにすべきか |
| 甲州市のめざす姿 | 問 32　甲州市の特色や誇るべきもの |
| | 問 33　甲州市のめざすべき姿、キャッチフレーズ |
| 市の行政に望むこと<br>まちづくりへの意見 | 自由回答　（※報告書別冊「自由意見」） |

## 4. 報告書の読み方

○ 「調査結果」の図表は、回答者の構成比（百分率＝%）で示した。

○ 図表右上の「n 値」は「Number of case」の略で、構成比算出の母数（回答者数）を示した。

○ 百分比による集計では、母数（回答者数または回答限定設問は該当者数）を 100%として算出し、本文及び図表の数字は小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位で示した。また、複数回答の設問では、選択肢の比率の合計が 100%を超える場合がある。

○ 回答者を限定する設問（前問に答えた人のみが回答するなど）は、当該設問の「n 値（回答者数）」が回答者全数と異なる場合がある。

○ 図表中の「0.0」は、四捨五入の結果または回答がないことを示した。

○ クロス集計表などでは「無回答」を表示していないため、回答者数（n 値）と内訳の合計が異なる場合がある。

○ 母数の少ないデータ（クロス集計結果など）は統計的誤差の大きい場合があり、数値の取扱いに留意する必要がある。

○ 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表では省略している場合がある。

○ 「その他」「自由回答」は、別冊「自由意見」に原文を掲載した。

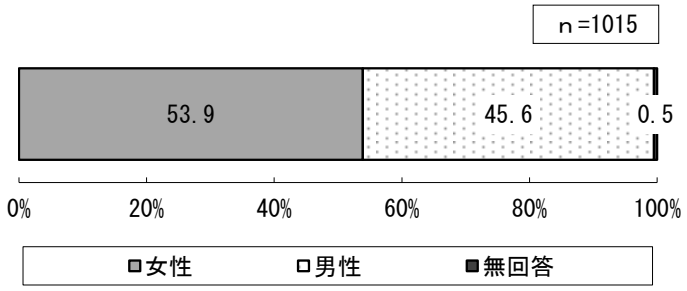
# Ⅱ　調査結果

## Ⅱ-1.　あなたご自身のこと

問1　あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで、1つに○印をつけてください。

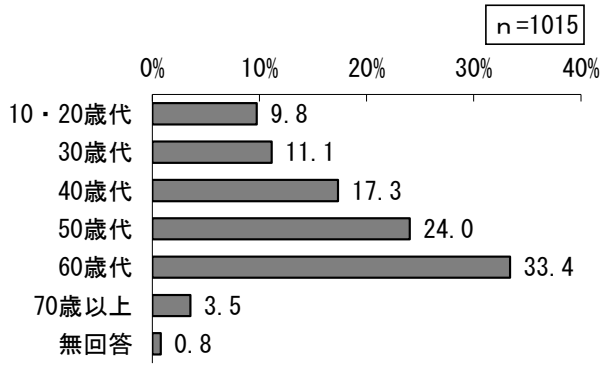
### (1) 性別

○　回答者の性別は、「女性」（53.9%）、「男性」（45.6%）。




### (2) 年齢

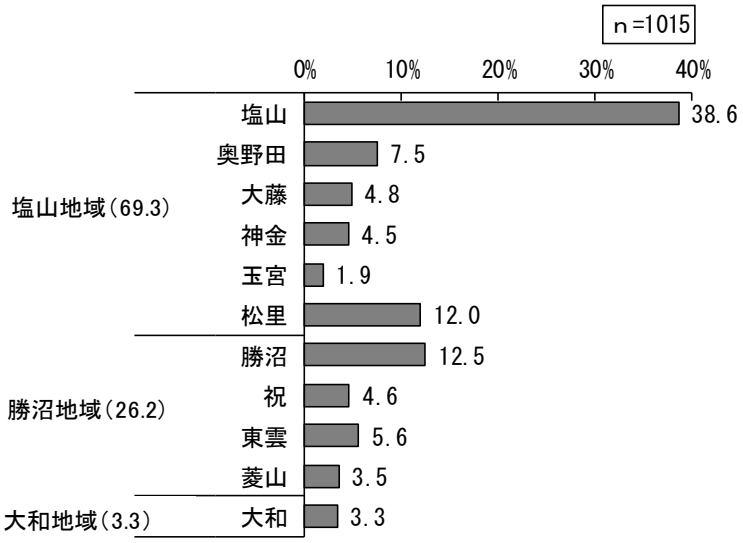
○　回答者の年齢は、「60歳代」（33.4%）が最も高く、次いで「50歳代」（24.0%）、「40歳代」（17.3%）と続く。



## (3) 居住区

○ 回答者の居住区は、「塩山」（38.6%）が最も高く、次いで「勝沼」（12.5%）、「松里」（12.0%）と続く。

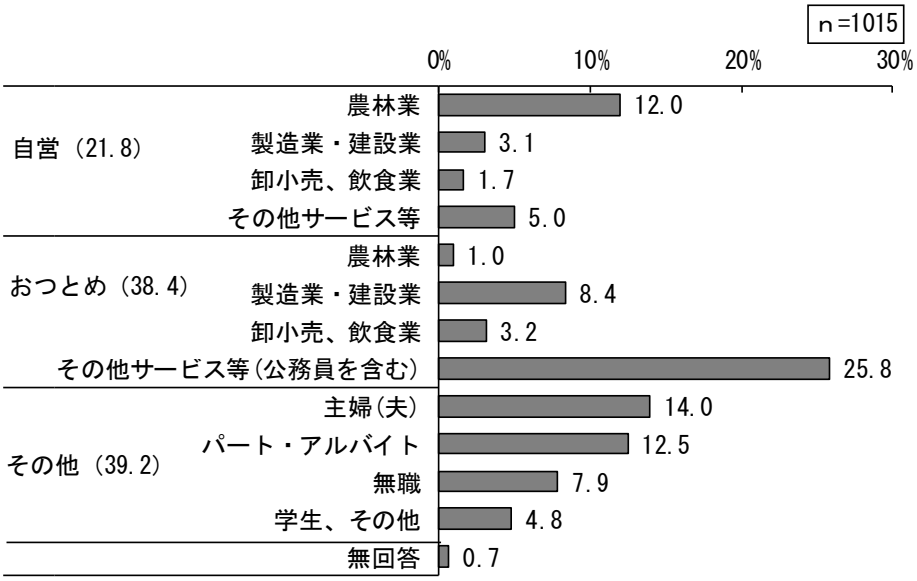
○ 居住地域は、「塩山地域」（69.3%）が最も高く、次いで「勝沼地域」（26.2%）、「大和地域」（12.0%）と続く




## (4) 職業

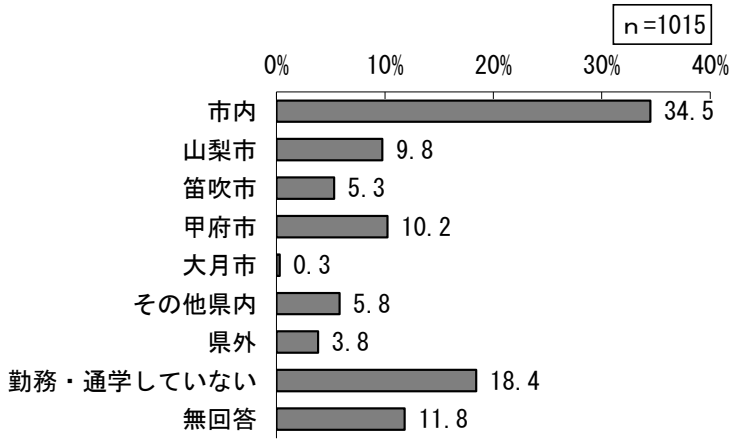
○ 回答者の就業形態は、「その他」（39.2%）が最も高く、次いで「おつとめ」（38.4%）、「自営」（21.8%）と続く。

○ 業種は、「その他サービス業」（30.8%）が最も高く、次いで「農林業」（13.0%）、「製造業・建設業」（11.5%）と続く。



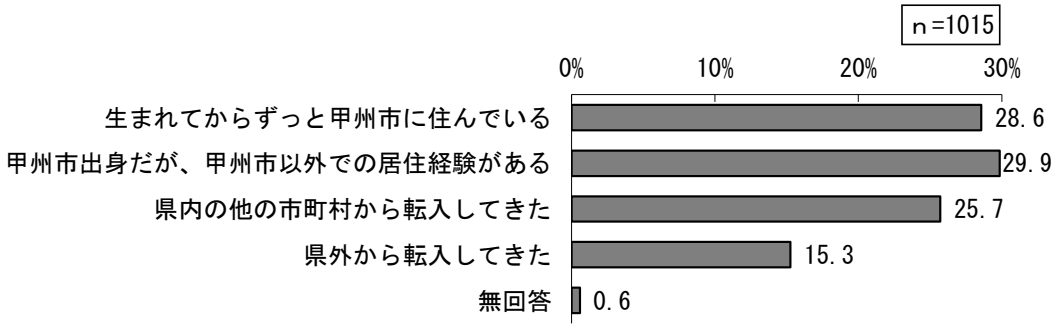
## (5) 勤務先・通学先

○ 回答者の勤務先・通学先は、「市内」（34.5%）が最も高く、次いで「勤務・通学していない」（18.4%）、「甲府市」（10.2%）と続く。



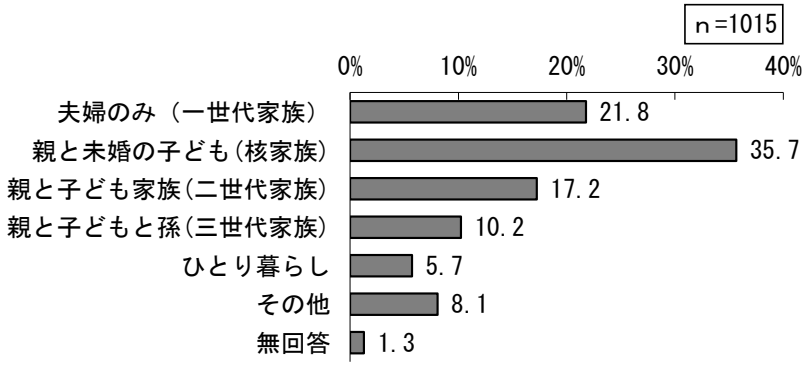

## (6) 居住歴

○ 回答者の居住歴は、「甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある」（29.9%）が最も高く、次いで「生まれてからずっと甲州市に住んでいる」（28.6%）、「県内の他の市町村から転入してきた」（25.7%）と続く。




## (7) 世帯構成

○ 回答者の世帯構成は、「親と未婚の子ども（核家族）」（35.7%）が最も高く、次いで「夫婦のみ（一世代家族）」（21.8%）、「親と子ども家族（二世代家族）」（17.2%）と続く。

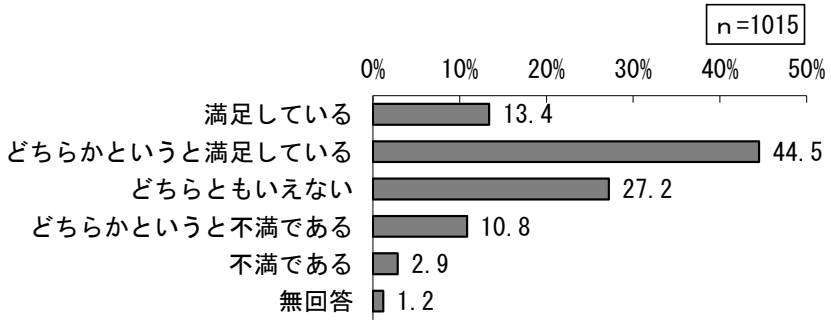


## Ⅱ-2. まちの現状について

問2 あなたは、全体的にみて甲州市の暮らしやすさについてどのように感じていますか。（1つに○印）

○ 甲州市の暮らしやすさについて、『満足』（「満足している」＋「どちらかというと満足している」）が57.9%。

○ 『不満』（「どちらかというと不満である」＋「不満である」）が13.7%。




＊甲州市の暮らしやすさは、『満足』が50%を超えている。

◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、『満足』は女性 60.5%が男性 55.3%を上回る。

○　年齢では、『満足』は最も高い 40 歳代 65.3%から、最も低い 50 歳代 49.6%まで、年齢差がみられる。

○　居住地域では、『満足』は塩山地域 57.7%、勝沼地域 62.5%、大和地域 41.2%と、地域差がみられる。

○　居住歴では、すべての居住歴で『満足』が 50%を超える。

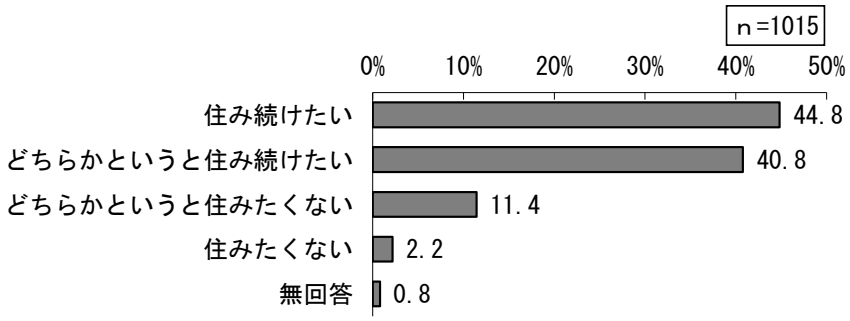
＊年齢の「50 歳代」、居住地域の「大和地域」では、『満足』が 50%を下回る。

| | | | 『満足』 | | | 『不満』 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 回答数（人） | 満足している | どちらかというと満足している | どちらともいえない | どちらかというと不満である | 不満である | 無回答 |
| 性別 | 女性 | 547 | 13.7 | 46.8 | 26.3 | 10.1 | 2.2 | 0.9 |
| | 男性 | 463 | 13.2 | 42.1 | 28.3 | 11.9 | 3.7 | 0.9 |
| 年齢 | 10・20 歳代 | 99 | 17.2 | 42.4 | 29.3 | 10.1 | 1.0 | 0.0 |
| | 30 歳代 | 113 | 16.8 | 43.4 | 25.7 | 9.7 | 4.4 | 0.0 |
| | 40 歳代 | 176 | 15.3 | 50.0 | 18.2 | 11.9 | 4.5 | 0.0 |
| | 50 歳代 | 244 | 11.1 | 38.5 | 32.8 | 13.1 | 3.7 | 0.8 |
| | 60 歳代 | 339 | 12.4 | 47.8 | 27.7 | 8.6 | 1.8 | 1.8 |
| | 70 歳以上 | 36 | 11.1 | 41.7 | 30.6 | 16.7 | 0.0 | 0.0 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 13.5 | 44.2 | 28.7 | 10.4 | 2.3 | 1.0 |
| | 勝沼地域 | 267 | 14.6 | 47.9 | 21.7 | 11.2 | 4.1 | 0.4 |
| | 大和地域 | 34 | 5.9 | 35.3 | 38.2 | 17.6 | 2.9 | 0.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 14.8 | 43.8 | 26.2 | 11.4 | 3.1 | 0.7 |
| | 市外居住経験 | 303 | 11.9 | 47.5 | 28.7 | 8.6 | 2.3 | 1.0 |
| | 県内から転入 | 261 | 12.6 | 45.2 | 28.0 | 11.1 | 1.5 | 1.5 |
| | 県外から転入 | 155 | 15.5 | 40.0 | 24.5 | 14.2 | 5.8 | 0.0 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問3 あなたは、これからも甲州市に住み続けたいと思いますか。（1 つに○印）

○ これからも甲州市に住み続けたいかは、『住み続けたい』（「住み続けたい」＋「どちらかというと住み続けたい」）が 85.6%と高く、『住みたくない』（「どちらかというと住みたくない」＋「住みたくない」）は 13.6%となっている。




＊これからも甲州市に住み続けたいかでは、『住み続けたい』が 80%を超えている。

◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 前回調査からは『住み続けたい』は＋3.2 ポイント、『住みたくない』は－2.8 ポイント。

＊「どちらかというと住み続けたい住み続けたい」のポイントが、大きく増えている。

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 住み続けたい | 44.8 | 47.4 | -2.6 |
| どちらかというと住み続けたい | 40.8 | 35.0 | 5.8 |
| どちらかというと住みたくない | 11.4 | 13.4 | -2.0 |
| 住みたくない | 2.2 | 3.0 | -0.8 |
| 住み続けたい | 85.6 | 82.4 | 3.2 |
| 住みたくない | 13.6 | 16.4 | -2.8 |

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性、男性ともに『住み続けたい』が 80%を超える。

○　年齢では、『住み続けたい』は 76.7%（10・20 歳代）から 94.5%（70 歳以上）まで、すべての年齢層で 70%を超える。

○　居住地域では、塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに『住み続けたい』が 80%を超える。

○　居住歴では、すべての居住歴で『住み続けたい』が 80%を超える。

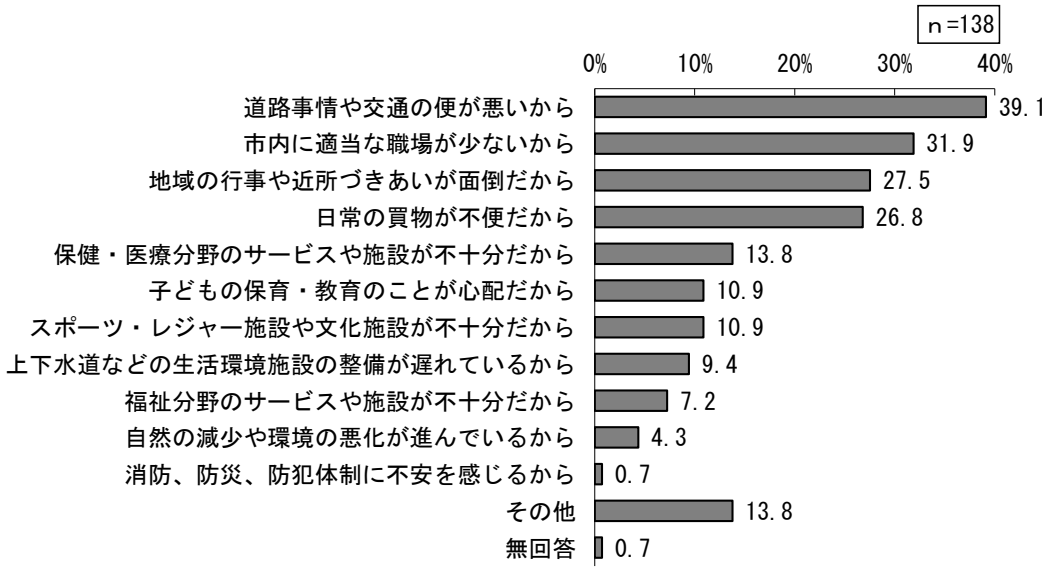
＊年齢の「10・20 歳代」では、『住み続けたい』が 80%を下回る。

| | | | 『住み続けたい』 | | 『住みたくない』 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 回答数（人） | 住み続けたい | どちらかというと住み続けたい | どちらかというと住みたくない | 住みたくない | 無回答 |
| 性別 | 女性 | 547 | 40.0 | 44.4 | 12.8 | 2.0 | 0.7 |
| | 男性 | 463 | 51.0 | 36.5 | 9.9 | 2.4 | 0.2 |
| 年齢 | 10・20 歳代 | 99 | 32.3 | 44.4 | 22.2 | 1.0 | 0.0 |
| | 30 歳代 | 113 | 37.2 | 49.6 | 8.8 | 4.4 | 0.0 |
| | 40 歳代 | 176 | 44.3 | 40.3 | 11.4 | 4.0 | 0.0 |
| | 50 歳代 | 244 | 43.9 | 39.3 | 13.1 | 2.5 | 1.2 |
| | 60 歳代 | 339 | 51.9 | 38.1 | 8.8 | 0.9 | 0.3 |
| | 70 歳以上 | 36 | 52.8 | 41.7 | 5.6 | 0.0 | 0.0 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 44.7 | 42.9 | 10.5 | 1.8 | 0.0 |
| | 勝沼地域 | 267 | 47.6 | 34.5 | 14.2 | 2.6 | 1.1 |
| | 大和地域 | 34 | 35.3 | 50.0 | 8.8 | 2.9 | 2.9 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 53.1 | 35.9 | 8.3 | 2.1 | 0.7 |
| | 市外居住経験 | 303 | 51.5 | 35.6 | 11.6 | 1.3 | 0.0 |
| | 県内から転入 | 261 | 36.8 | 46.4 | 13.8 | 1.9 | 1.1 |
| | 県外から転入 | 155 | 31.0 | 51.0 | 13.5 | 4.5 | 0.0 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問 3-1　問 3 で「3 どちらかというと住みたくない」または「4 住みたくない」に○をつけた方にうかがいます。「住みたくない」主な理由はなんですか。（2 つまで○印）

○　『住みたくない』主な理由は、「道路事情や交通の便が悪いから」（39.1%）が最も高く、次いで「市内に適当な職場が少ないから」（31.9%）、「地域の行事や近所づきあいが面倒だから」（27.5%）と続く。




＊『住みたくない』主な理由は、上位２項目「道路事情や交通の便が悪いから」、「市内に適当な職場が少ないから」が 30%を超えている。

◆◇前回調査からの変化　◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　上位 4 項目は前回調査と同じ。

○　前回調査から変化の大きい項目（＋－5 ポイント以上）は、「道路事情や交通の便が悪いから」＋17.9 ポイント、「地域の行事や近所づきあいが面倒だから」＋9.3 ポイント、「市内に適当な職場が少ないから」＋6.1 ポイント、「消防、防災、防犯体制に不安を感じるから」－8.4 ポイント、「日常の買物が不便だから」－6.5 ポイント。

＊「道路事情や交通の便が悪いから」、「地域の行事や近所づきあいが面倒だから」、「市内に適当な職場が少ないから」のポイントが、大きく増えている。
＊「消防、防災、防犯体制に不安を感じるから」、「日常の買物が不便だから」のポイントが、大きく減っている。

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 道路事情や交通の便が悪いから | 39.1 | 21.2 | 17.9 |
| 市内に適当な職場が少ないから | 31.9 | 25.8 | 6.1 |
| 地域の行事や近所づきあいが面倒だから | 27.5 | 18.2 | 9.3 |
| 日常の買物が不便だから | 26.8 | 33.3 | -6.5 |
| 保健・医療分野のサービスや施設が不十分だから | 13.8 | 12.1 | 1.7 |
| 子どもの保育・教育のことが心配だから | 10.9 | 10.6 | 0.3 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分だから | 10.9 | 12.1 | -1.2 |
| 上下水道などの生活環境施設の整備が遅れているから | 9.4 | 7.6 | 1.8 |
| 福祉分野のサービスや施設が不十分だから | 7.2 | 6.1 | 1.1 |
| 自然の減少や環境の悪化が進んでいるから | 4.3 | 9.1 | -4.8 |
| 消防、防災、防犯体制に不安を感じるから | 0.7 | 9.1 | -8.4 |

## ◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 性別では、女性、男性ともに「道路事情や交通の便が悪いから」「市内に適当な職場が少ないから」を上位に挙げている。

○ 年齢では、30 歳代以下は「市内に適当な職場が少ないから」が最も高く、50 歳代～60 歳代は「道路事情や交通の便が悪いから」が最も高い。40 歳代は「道路事情や交通の便が悪いから」と「市内に適当な職場が少ないから」が最も高い。

○ 居住地域では、塩山地域、勝沼地域は「道路事情や交通の便が悪いから」が最も高い。大和地域は「地域の行事や近所づきあいが面倒だから」が最も高い。

○ 居住歴では、市内居住のみは「市内に適当な職場が少ないから」が最も高く、それ以外は「道路事情や交通の便が悪いから」が最も高い。

＊性別の「男性」、年齢の「40 歳代」では、「道路事情や交通の便が悪いから」と「市内に適当な職場が少ないから」が最も高い。
＊年齢の「30 歳代以下」、居住歴の「市内居住のみ」では、「市内に適当な職場が少ないから」が最も高い。
＊居住地域の「大和地域」では、「地域の行事や近所づきあいが面倒だから」が最も高い。

| | | 回答数（人） | 自然の減少や環境の悪化が進んでいるから | 日常の買物が不便だから | 道路事情や交通の便が悪いから | 地域の行事や近所づきあいが面倒だから | 子どもの保育・教育のことが心配だから | 市内に適当な職場が少ないから |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 81 | 3.7 | 30.9 | 45.7 | 30.9 | 11.1 | 33.3 |
| | 男性 | 57 | 5.3 | 21.1 | 29.8 | 22.8 | 10.5 | 29.8 |
| 年齢 | 10・20 歳代 | 23 | 0.0 | 26.1 | 34.8 | 21.7 | 8.7 | 47.8 |
| | 30 歳代 | 15 | 13.3 | 33.3 | 26.7 | 26.7 | 26.7 | 40.0 |
| | 40 歳代 | 27 | 3.7 | 11.1 | 40.7 | 25.9 | 14.8 | 40.7 |
| | 50 歳代 | 38 | 5.3 | 23.7 | 47.4 | 44.7 | 13.2 | 18.4 |
| | 60 歳代 | 33 | 3.0 | 36.4 | 39.4 | 15.2 | 0.0 | 24.2 |
| | 70 歳以上 | 2 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 87 | 4.6 | 27.6 | 35.6 | 27.6 | 9.2 | 34.5 |
| | 勝沼地域 | 45 | 4.4 | 28.9 | 48.9 | 26.7 | 15.6 | 28.9 |
| | 大和地域 | 4 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 50.0 | 0.0 | 25.0 |

| | | 回答数（人） | 自然の減少や環境の悪化が進んでいるから | 日常の買物が不便だから | 道路事情や交通の便が悪いから | 地域の行事や近所づきあいが面倒だから | 子どもの保育・教育のことが心配だから | 市内に適当な職場が少ないから |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 30 | 6.7 | 20.0 | 26.7 | 26.7 | 13.3 | 36.7 |
| | 市外居住経験 | 39 | 7.7 | 25.6 | 33.3 | 28.2 | 12.8 | 28.2 |
| | 県内から転入 | 41 | 2.4 | 29.3 | 56.1 | 34.1 | 9.8 | 34.1 |
| | 県外から転入 | 28 | 0.0 | 32.1 | 35.7 | 17.9 | 7.1 | 28.6 |

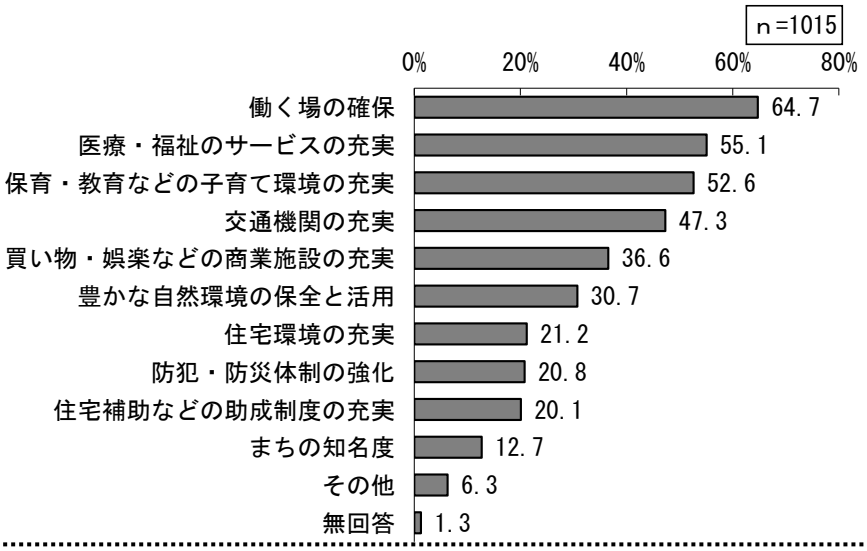
※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

| | | 保健・医療分野のサービスや施設が不十分だから | 福祉分野のサービスや施設が不十分だから | スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分だから | 上下水道などの生活環境施設の整備が遅れているから | 消防、防災、防犯体制に不安を感じるから | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 14.8 | 8.6 | 12.3 | 6.2 | 1.2 | 9.9 | 0.0 |
| | 男性 | 12.3 | 5.3 | 8.8 | 14.0 | 0.0 | 19.3 | 1.8 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 0.0 | 0.0 | 30.4 | 0.0 | 0.0 | 17.4 | 0.0 |
| | 30歳代 | 13.3 | 13.3 | 26.7 | 13.3 | 0.0 | 20.0 | 0.0 |
| | 40歳代 | 14.8 | 3.7 | 3.7 | 7.4 | 3.7 | 18.5 | 0.0 |
| | 50歳代 | 18.4 | 7.9 | 0.0 | 7.9 | 0.0 | 10.5 | 0.0 |
| | 60歳代 | 15.2 | 12.1 | 9.1 | 18.2 | 0.0 | 9.1 | 3.0 |
| | 70歳以上 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 13.8 | 6.9 | 11.5 | 6.9 | 1.1 | 13.8 | 1.1 |
| | 勝沼地域 | 13.3 | 6.7 | 11.1 | 13.3 | 0.0 | 13.3 | 0.0 |
| | 大和地域 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 16.7 | 3.3 | 13.3 | 16.7 | 0.0 | 16.7 | 0.0 |
| | 市外居住経験 | 12.8 | 10.3 | 10.3 | 5.1 | 0.0 | 10.3 | 2.6 |
| | 県内から転入 | 9.8 | 4.9 | 7.3 | 9.8 | 0.0 | 7.3 | 0.0 |
| | 県外から転入 | 17.9 | 10.7 | 14.3 | 7.1 | 3.6 | 25.0 | 0.0 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問4 あなたは、定住したくなる人を増やすために必要な取り組みは、何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

○ 定住したくなる人を増やすために必要な取り組みは、「働く場の確保」（64.7%）が最も高く、次いで「医療・福祉のサービスの充実」（55.1%）、「保育・教育などの子育て環境の充実」（52.6%）と続く。




＊定住したくなる人を増やすために必要な取り組みは、上位３項目「働く場の確保」、「医療・福祉のサービスの充実」、「保育・教育などの子育て環境の充実」が50%を超えている。

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 性別では、女性、男性ともに「働く場の確保」が最も高い。
○ 年齢では、40歳代以外で「働く場の確保」が最も高い。40歳代は「医療・福祉のサービスの充実」が最も高い。
○ 居住地域では、塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに「働く場の確保」が最も高い。
○ 居住歴では、すべての居住歴で「働く場の確保」が最も高い。

＊年齢の「40歳代」では、「医療・福祉のサービスの充実」が最も高い。

| | | 回答数（人） | 豊かな自然環境の保全と活用 | 交通機関の充実 | 防犯・防災体制の強化 | 医療・福祉のサービスの充実 | 保育・教育などの子育て環境の充実 | 働く場の確保 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 29.1 | 51.0 | 20.5 | 57.8 | 54.7 | 65.3 |
| | 男性 | 463 | 32.8 | 43.4 | 21.4 | 52.3 | 50.8 | 64.6 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 99 | 21.2 | 46.5 | 14.1 | 47.5 | 49.5 | 55.6 |
| | 30歳代 | 113 | 16.8 | 46.9 | 21.2 | 44.2 | 56.6 | 68.1 |
| | 40歳代 | 176 | 27.3 | 51.1 | 22.2 | 58.5 | 54.5 | 57.4 |
| | 50歳代 | 244 | 29.9 | 49.2 | 19.7 | 59.4 | 54.1 | 68.4 |
| | 60歳代 | 339 | 40.7 | 45.7 | 23.6 | 56.6 | 52.2 | 68.4 |
| | 70歳以上 | 36 | 33.3 | 38.9 | 16.7 | 50.0 | 36.1 | 58.3 |

| | | 回答数（人） | 豊かな自然環境の保全と活用 | 交通機関の充実 | 防犯・防災体制の強化 | 医療・福祉のサービスの充実 | 保育・教育などの子育て環境の充実 | 働く場の確保 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 29.3 | 47.0 | 21.0 | 57.5 | 53.8 | 66.8 |
| | 勝沼地域 | 267 | 34.1 | 50.2 | 20.6 | 51.3 | 52.1 | 59.6 |
| | 大和地域 | 34 | 44.1 | 41.2 | 23.5 | 44.1 | 44.1 | 70.6 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 26.2 | 43.8 | 19.7 | 54.1 | 47.9 | 64.8 |
| | 市外居住経験 | 303 | 35.3 | 49.8 | 18.5 | 56.4 | 53.1 | 66.7 |
| | 県内から転入 | 261 | 30.3 | 46.0 | 24.1 | 52.5 | 55.2 | 65.1 |
| | 県外から転入 | 155 | 31.6 | 52.9 | 22.6 | 59.4 | 57.4 | 61.9 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

| | | 住宅環境の充実 | 住宅補助などの助成制度の充実 | まちの知名度 | 買い物・娯楽などの商業施設の充実 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 20.5 | 19.6 | 12.8 | 38.2 | 4.9 | 0.7 |
| | 男性 | 22.2 | 21.0 | 12.7 | 35.0 | 8.0 | 1.3 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 27.3 | 23.2 | 21.2 | 54.5 | 2.0 | 2.0 |
| | 30歳代 | 30.1 | 24.8 | 15.0 | 53.1 | 7.1 | 0.9 |
| | 40歳代 | 26.1 | 27.3 | 10.2 | 42.0 | 9.1 | 0.6 |
| | 50歳代 | 20.9 | 21.7 | 11.1 | 30.7 | 6.6 | 0.4 |
| | 60歳代 | 16.5 | 14.2 | 11.5 | 28.6 | 6.2 | 1.2 |
| | 70歳以上 | 2.8 | 11.1 | 19.4 | 30.6 | 2.8 | 0.0 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 20.5 | 20.5 | 13.4 | 35.2 | 5.4 | 0.6 |
| | 勝沼地域 | 22.5 | 19.9 | 12.0 | 41.6 | 7.1 | 1.1 |
| | 大和地域 | 29.4 | 20.6 | 8.8 | 35.3 | 17.6 | 2.9 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 17.6 | 16.6 | 13.4 | 34.1 | 5.9 | 1.4 |
| | 市外居住経験 | 20.8 | 21.5 | 12.5 | 37.0 | 6.3 | 0.7 |
| | 県内から転入 | 23.8 | 21.5 | 10.7 | 37.2 | 5.0 | 0.8 |
| | 県外から転入 | 25.2 | 22.6 | 15.5 | 40.6 | 9.7 | 0.6 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問5 甲州市のまちづくりに関する（1）～（41)の各項目についておたずねします。
①満足度：各欄の左側に記す項目ごとに、その現状についてどの程度満足しているか、5 段階のうちあてはまる番号 1 つに〇印をつけてください
②重要度：甲州市のまちづくりや発展のために重視すべきだと思う度合について、3 段階のうちあてはまる番号 1 つに〇印をつけてください

〇 甲州市のまちづくりに関して、活力（産業）、健康福祉、快適・安心、環境保全、教育文化、参画・協働の 6 分野で全 41 項目について、①どの程度満足しているか（満足度 5 段階）、②どの程度重要視しているか（重要度 3 段階）を把握した。

〇 ポートフォリオ分析を用い、満足度、重要度の評価結果を加重平均値により算出（下表）した評価点を 2 次元グラフに配置し、4 つの象限（領域）の分布から、各分野における優先的改善施策を明らかにした。

［満足度、重要度の加重平均値による評価点の算出方法］

| 満足度（5 段階評価） | 重要度（3 段階評価） | 点数 |
|---|---|---|
| 満足している | | 2 点 |
| どちらかというと満足している | 重要である（他の分野より優先する） | 1 点 |
| どちらともいえない | どちらともいえない | 0 点 |
| どちらかというと不満である | 重要でない（縮小してもよい） | -1 点 |
| 不満である | | -2 点 |

※加重平均値の算出方法
各段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度・重要度）を算出する。

評価点＝（上記各段階の回答者数×与えられた各点数の全段階の和）÷ 各項目の回答者数

この算出方法により、評価点は「満足度：2 点～－2 点」、「重要度：1 点～－1 点」の間に分布し、中間点の 0 点を境に、最大点に近くなるほど評価は高くなり、逆に最小点に近くなるほど評価が低くなる。

※ポートフォリオ分析
アンケート分析手法の一つであり、異なる調査結果を 2 次元的な組み合わせ（ポートフォリオ）として配置し、その分布から優先的改善項目を分析する手法。

ア　活力あるまちづくり（産業）

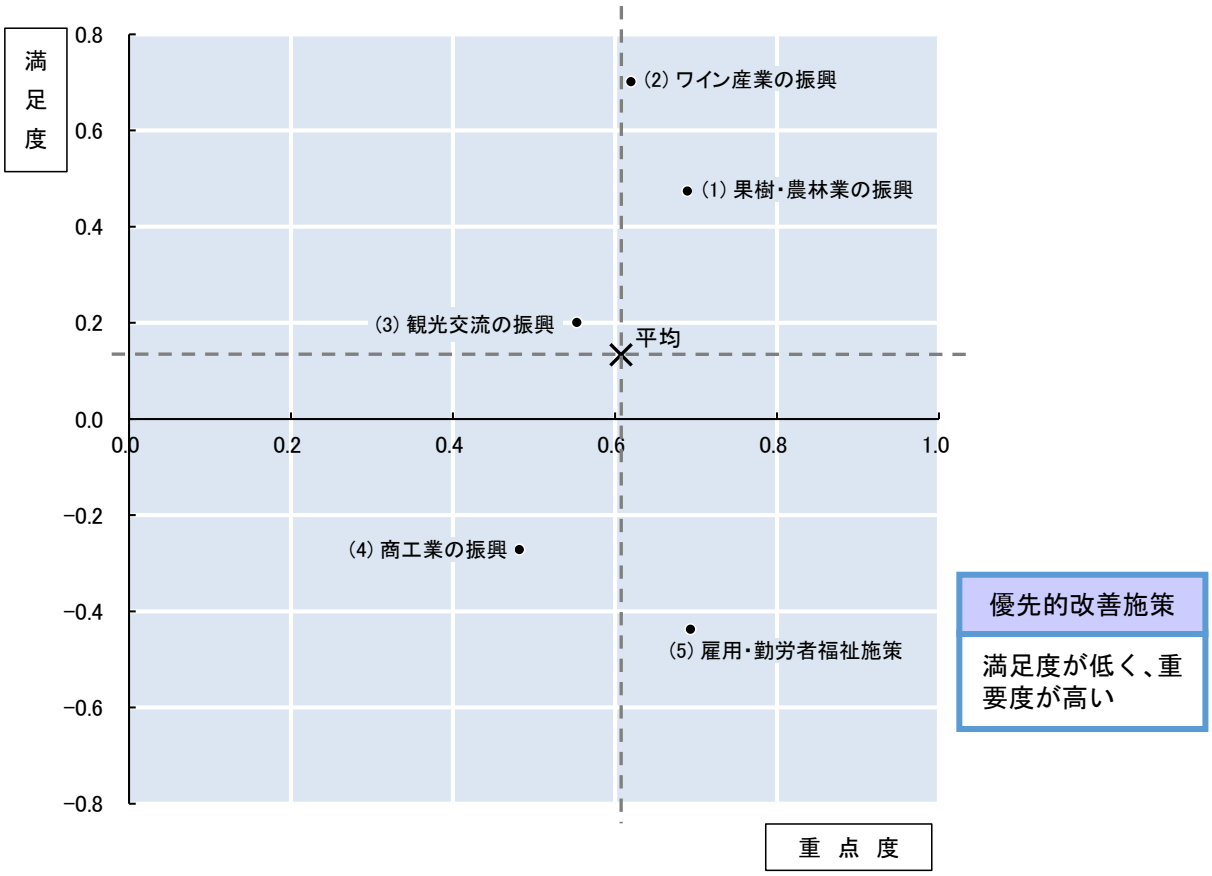
○　『産業分野』のうち、満足度評価は、「ワイン産業の振興」（0.70 点）が最も高く、次いで「果樹・農林業の振興」（0.47 点）、「観光交流の振興」（0.20 点）となっている。一方、最も満足度が低いのは「雇用・勤労者福祉施策」（-0.44 点）となっている。

○　重要度評価では、「果樹・農林業の振興」「雇用・勤労者福祉施策」（ともに 0.69 点）が最も高く、次いで「ワイン産業の振興」（0.62 点）、「観光交流の振興」（0.55 点）と続く。

＊『産業分野』の優先的改善施策は、「雇用・勤労者福祉施策」となっている。

（単位：評価点）

| 設問項目 | 満足度 | 重要度 |
|---|---|---|
| (1) 果樹・農林業の振興 | 0.47 | 0.69 |
| (2) ワイン産業の振興 | 0.70 | 0.62 |
| (3) 観光交流の振興 | 0.20 | 0.55 |
| (4) 商工業の振興 | -0.27 | 0.48 |
| (5) 雇用・勤労者福祉施策 | -0.44 | 0.69 |
| 平均 | 0.13 | 0.61 |



## ◆◇前回調査からの変化

○　平均では、『満足度』が＋0.07 ポイント、『重要度』が＋0.07 ポイント。

○　前回調査から変化の大きい項目（＋－0.10 ポイント以上）は、『満足度』の「果樹・農林業の振興」＋0.10 ポイント、「観光交流の振興」＋0.10 ポイント、『重要度』の「雇用・勤労者福祉施策」＋0.10 ポイント。

＊前回の優先的改善施策は、「雇用・勤労者福祉施策」となっている。

| 設問項目 | 満足度（前回は納得度） | | | 重要度 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
| (1) 果樹・農林業の振興 | 0.47 | 0.37 | 0.10 | 0.69 | 0.60 | 0.09 |
| (2) ワイン産業の振興 | 0.70 | 0.61 | 0.09 | 0.62 | 0.56 | 0.06 |
| (3) 観光交流の振興 | 0.20 | 0.10 | 0.10 | 0.55 | 0.53 | 0.02 |
| (4) 商工業の振興 | -0.27 | -0.33 | 0.06 | 0.48 | 0.43 | 0.05 |
| (5) 雇用・勤労者福祉施策 | -0.44 | -0.43 | 0.01 | 0.69 | 0.59 | 0.10 |
| 平均 | 0.13 | 0.06 | 0.07 | 0.61 | 0.54 | 0.07 |

## ◆◇居住地域でみる傾向

○　『満足度』では、塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに「ワイン産業の振興」が最も高い。

○　『重要度』では、塩山地域は「雇用・勤労者福祉施策」が最も高い。勝沼地域、大和地域は「果樹・農林業の振興」が最も高い。

○　平均では、勝沼地域の『満足度』、大和地域の『重要度』が最も高い。

＊居住地域の優先的改善施策では、、「塩山地域」、「勝沼地域」、「大和地域」ともに「雇用・勤労者福祉施策」となっている。

| 設問項目 | 満足度 | | | 重要度 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 塩山地域 | 勝沼地域 | 大和地域 | 塩山地域 | 勝沼地域 | 大和地域 |
| (1) 果樹・農林業の振興 | 0.46 | 0.51 | 0.56 | 0.66 | 0.76 | 0.75 |
| (2) ワイン産業の振興 | 0.66 | 0.80 | 0.80 | 0.59 | 0.68 | 0.63 |
| (3) 観光交流の振興 | 0.11 | 0.41 | 0.42 | 0.52 | 0.62 | 0.67 |
| (4) 商工業の振興 | -0.31 | -0.18 | -0.23 | 0.51 | 0.40 | 0.57 |
| (5) 雇用・勤労者福祉施策 | -0.47 | -0.34 | -0.62 | 0.72 | 0.63 | 0.71 |
| 平均 | 0.09 | 0.24 | 0.19 | 0.60 | 0.62 | 0.67 |

イ　健康福祉のまちづくり

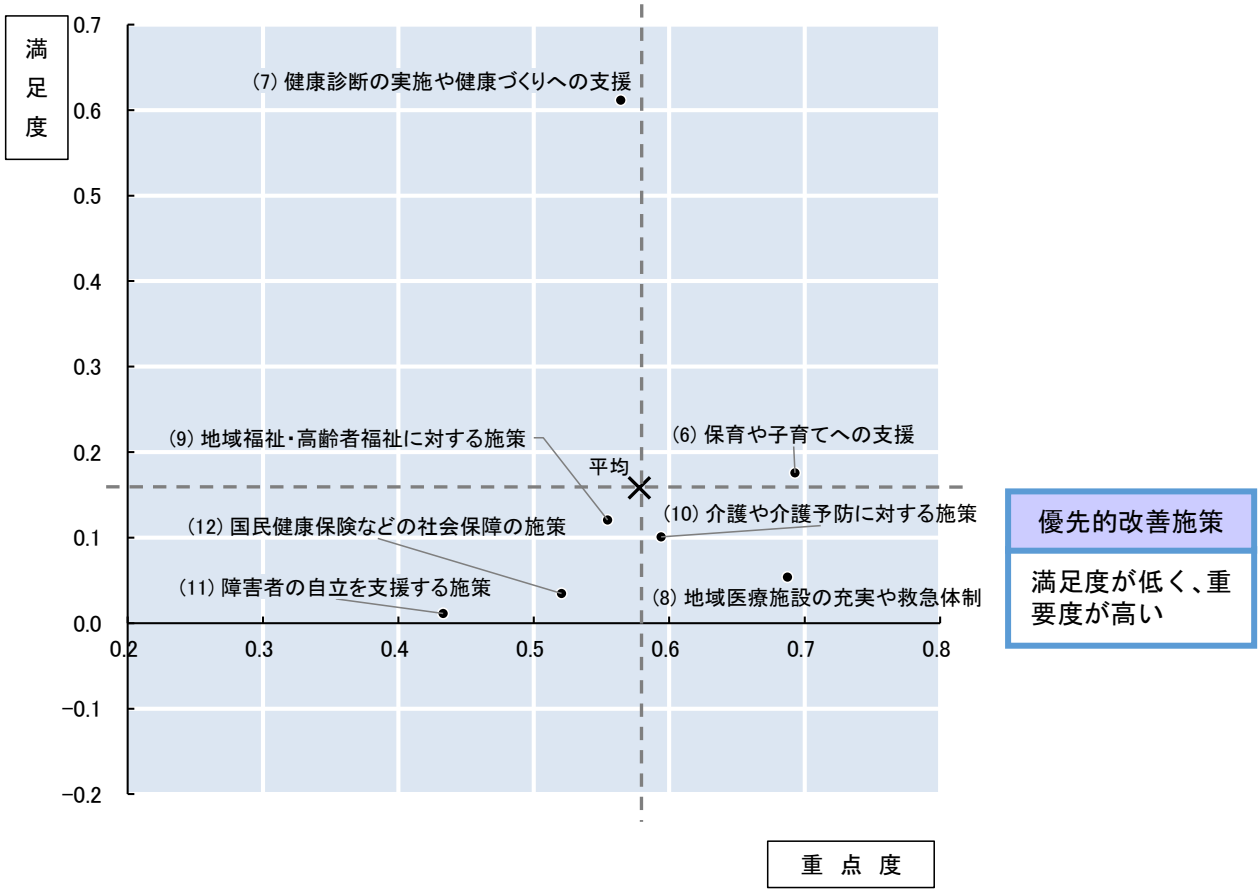
○　『保健・医療分野』のうち、満足度評価は、「健康診断の実施や健康づくりへの支援」（0.61点）が最も高く、次いで「保育や子育てへの支援」（0.18点）、「地域福祉・高齢者福祉に対する施策」（0.12点）となっている。一方、最も満足度が低いのは「障害者の自立を支援する施策」（0.01点）となっている。

○　重要度評価では、「保育や子育てへの支援」「地域医療施設の充実や救急体制」（ともに0.69点）が最も高く、次いで「介護や介護予防に対する施策」（0.59点）、「健康診断の実施や健康づくりへの支援」（0.56点）と続く。

＊『保健・医療分野』の優先的改善施策は、「地域福祉・高齢者福祉に対する施策」、「介護や介護予防に対する施策」となっている。

（単位：評価点）

| 設問項目 | 満足度 | 重要度 |
|---|---|---|
| (6)保育や子育てへの支援 | 0.18 | 0.69 |
| (7)健康診断の実施や健康づくりへの支援 | 0.61 | 0.56 |
| (8)地域医療施設の充実や救急体制 | 0.05 | 0.69 |
| (9)地域福祉・高齢者福祉に対する施策 | 0.12 | 0.55 |
| (10)介護や介護予防に対する施策 | 0.10 | 0.59 |
| (11)障害者の自立を支援する施策 | 0.01 | 0.43 |
| (12)国民健康保険などの社会保障の施策 | 0.03 | 0.52 |
| 平均 | 0.16 | 0.58 |



◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 平均では、『満足度』が＋0.04 ポイント、『重要度』が＋0.03 ポイント。
○ 前回調査から変化の大きい項目（＋－0.10 ポイント以上）は、『満足度』の「健康診断の実施や健康づくりへの支援」＋0.10 ポイント。

＊前回の優先的改善施策は、「地域医療施設の充実や救急体制」、「保育や子育てへの支援」となっている。

| 設問項目 | 満足度（前回は納得度） | | | 重要度 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
| (6)保育や子育てへの支援 | 0.18 | 0.11 | 0.07 | 0.69 | 0.60 | 0.09 |
| (7)健康診断の実施や健康づくりへの支援 | 0.61 | 0.48 | 0.13 | 0.56 | 0.56 | 0.00 |
| (8)地域医療施設の充実や救急体制 | 0.05 | 0.01 | 0.04 | 0.69 | 0.70 | -0.01 |
| (9)地域福祉・高齢者福祉に対する施策 | 0.12 | 0.08 | 0.04 | 0.55 | 0.53 | 0.02 |
| (10)介護や介護予防に対する施策 | 0.10 | 0.12 | -0.02 | 0.59 | 0.52 | 0.07 |
| (11)障害者の自立を支援する施策 | 0.01 | 0.03 | -0.02 | 0.43 | 0.46 | -0.03 |
| (12)国民健康保険などの社会保障の施策 | 0.03 | 0.01 | 0.02 | 0.52 | 0.46 | 0.06 |
| 平均 | 0.16 | 0.12 | 0.04 | 0.58 | 0.55 | 0.03 |

◆◇居住地域でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 『満足度』では、塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに「健康診断の実施や健康づくりへの支援」が最も高い。
○ 『重要度』では、塩山地域、大和地域は「保育や子育てへの支援」が最も高い。勝沼地域は「地域医療施設の充実や救急体制」が最も高い。
○ 平均では、勝沼地域の『満足度』、塩山地域の『重要度』が最も高い。

＊居住地域の優先的改善施策では、「塩山地域」の「地域医療施設の充実や救急体制」「介護や介護予防に対する施策」、「勝沼地域」の「地域医療施設の充実や救急体制」、「国民健康保険などの社会保障の施策」、「大和地域」の「保育や子育てへの支援」となってる。

| 設問項目 | 満足度 | | | 重要度 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 塩山地域 | 勝沼地域 | 大和地域 | 塩山地域 | 勝沼地域 | 大和地域 |
| (6)保育や子育てへの支援 | 0.18 | 0.21 | -0.07 | 0.72 | 0.62 | 0.77 |
| (7)健康診断の実施や健康づくりへの支援 | 0.61 | 0.64 | 0.53 | 0.57 | 0.54 | 0.58 |
| (8)地域医療施設の充実や救急体制 | 0.02 | 0.11 | 0.28 | 0.71 | 0.63 | 0.59 |
| (9)地域福祉・高齢者福祉に対する施策 | 0.09 | 0.20 | 0.13 | 0.58 | 0.50 | 0.48 |
| (10)介護や介護予防に対する施策 | 0.09 | 0.12 | 0.20 | 0.62 | 0.52 | 0.60 |
| (11)障害者の自立を支援する施策 | 0.00 | 0.07 | -0.07 | 0.46 | 0.37 | 0.37 |
| (12)国民健康保険などの社会保障の施策 | 0.02 | 0.06 | 0.13 | 0.52 | 0.54 | 0.39 |
| 平均 | 0.14 | 0.20 | 0.16 | 0.60 | 0.53 | 0.54 |

ウ　快適で安心なまちづくり

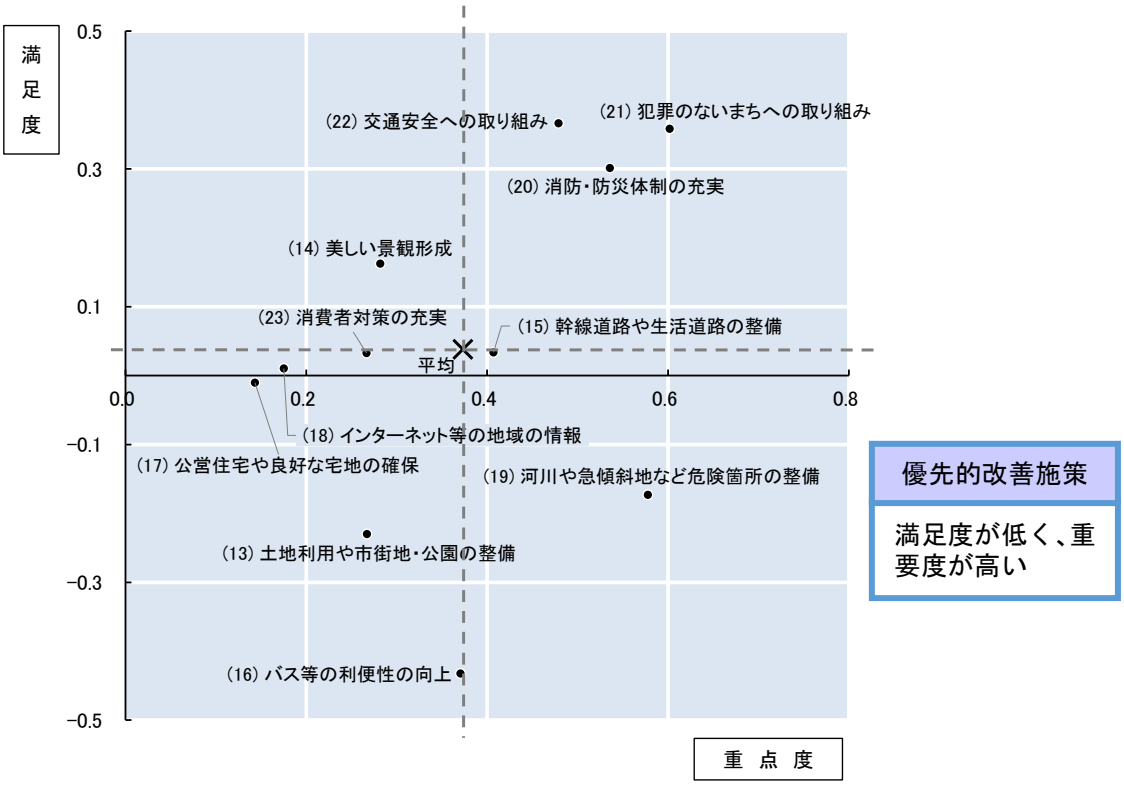
○　『基盤、安全・防災分野』のうち、満足度評価は、「交通安全への取り組み」（0.37 点）が最も高く、次いで「犯罪のないまちへの取り組み」（0.36 点）、「消防・防災体制の充実」（0.30 点）となっている。一方、最も満足度が低いのは「バス等の利便性の向上」（-0.43 点）となっている。

○　重要度評価では、「犯罪のないまちへの取り組み」（0.60 点）が最も高く、次いで「河川や急傾斜地など危険箇所の整備」（0.58 点）、「消防・防災体制の充実」（0.54 点）と続く。

＊『基盤、安全・防災分野』の優先的改善施策は、「河川や急傾斜地など危険箇所の整備」となっている。

（単位：評価点）

| 設問項目 | 満足度 | 重要度 |
|---|---|---|
| (13)土地利用や市街地・公園の整備 | -0.23 | 0.27 |
| (14)美しい景観形成 | 0.16 | 0.28 |
| (15)幹線道路や生活道路の整備 | 0.03 | 0.41 |
| (16)バス等の利便性の向上 | -0.43 | 0.37 |
| (17)公営住宅や良好な宅地の確保 | -0.01 | 0.14 |
| (18)インターネット等の地域の情報 | 0.01 | 0.18 |
| (19)河川や急傾斜地など危険箇所の整備 | -0.17 | 0.58 |
| (20)消防・防災体制の充実 | 0.30 | 0.54 |
| (21)犯罪のないまちへの取り組み | 0.36 | 0.60 |
| (22)交通安全への取り組み | 0.37 | 0.48 |
| (23)消費者対策の充実 | 0.03 | 0.27 |
| 平均 | 0.04 | 0.37 |



## ◆◇前回調査からの変化

○　平均では、『満足度』が＋0.00 ポイント、『重要度』が＋0.06 ポイント。

○　前回調査から変化の大きい項目（＋－0.10 ポイント以上）は、『満足度』の「バス等の利便性の向上」－0.11 ポイント、「河川や急傾斜地など危険箇所の整備」－0.16、『重要度』の「土地利用や市街地・公園の整備」＋0.12、「幹線道路や生活道路の整備」＋0.15、「バス等の利便性の向上」＋0.11、「公営住宅や良好な宅地の確保」＋0.12。

＊前回の優先的改善施策は、「河川や急傾斜地など危険箇所の整備」となっている。

| 設問項目 | 満足度（前回は納得度） | | | 重要度 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
| (13)土地利用や市街地・公園の整備 | -0.23 | -0.30 | 0.07 | 0.27 | 0.15 | 0.12 |
| (14)美しい景観形成 | 0.16 | 0.07 | 0.09 | 0.28 | 0.25 | 0.03 |
| (15)幹線道路や生活道路の整備 | 0.03 | -0.04 | 0.07 | 0.41 | 0.26 | 0.15 |
| (16)バス等の利便性の向上 | -0.43 | -0.32 | -0.11 | 0.37 | 0.26 | 0.11 |
| (17)公営住宅や良好な宅地の確保 | -0.01 | 0.01 | -0.02 | 0.14 | 0.02 | 0.12 |
| (18)インターネット等の地域の情報 | 0.01 | 0.08 | -0.07 | 0.18 | 0.10 | 0.08 |
| (19)河川や急傾斜地など危険箇所の整備 | -0.17 | -0.01 | -0.16 | 0.58 | 0.49 | 0.09 |
| (20)消防・防災体制の充実 | 0.30 | 0.30 | 0.00 | 0.54 | 0.51 | 0.03 |
| (21)犯罪のないまちへの取り組み | 0.36 | 0.30 | 0.06 | 0.60 | 0.58 | 0.02 |
| (22)交通安全への取り組み | 0.37 | 0.32 | 0.05 | 0.48 | 0.49 | -0.01 |
| (23)消費者対策の充実 | 0.03 | -0.01 | 0.04 | 0.27 | 0.29 | -0.02 |
| **平均** | 0.04 | 0.04 | 0.00 | 0.37 | 0.31 | 0.06 |

## ◆◇居住地域でみる傾向

○　『満足度』では、塩山地域は「交通安全への取り組み」が最も高い。勝沼地域、大和地域は「犯罪のないまちへの取り組み」が最も高い。

○　『重要度』では、塩山地域、勝沼地域は「犯罪のないまちへの取り組み」が最も高い。大和地域は「消防・防災体制の充実」が最も高い。

○　平均では、勝沼地域の『満足度』、大和地域の『重要度』が最も高い。

＊居住地域の優先的改善施策では、「塩山地域」の「バス等の利便性の向上」、「河川や急傾斜地など危険箇所の整備」、「勝沼地域」の「幹線道路や生活道路の整備」、「河川や急傾斜地など危険箇所の整備」、「大和地域」の「幹線道路や生活道路の整備」、「河川や急傾斜地など危険箇所の整備」となっている。

| 設問項目 | 満足度 | | | 重要度 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 塩山地域 | 勝沼地域 | 大和地域 | 塩山地域 | 勝沼地域 | 大和地域 |
| (13)土地利用や市街地・公園の整備 | -0.27 | -0.13 | -0.37 | 0.27 | 0.25 | 0.28 |
| (14)美しい景観形成 | 0.13 | 0.25 | 0.23 | 0.24 | 0.39 | 0.33 |
| (15)幹線道路や生活道路の整備 | 0.06 | -0.03 | -0.19 | 0.38 | 0.44 | 0.55 |
| (16)バス等の利便性の向上 | -0.44 | -0.47 | -0.03 | 0.39 | 0.32 | 0.32 |
| (17)公営住宅や良好な宅地の確保 | -0.02 | 0.04 | -0.20 | 0.13 | 0.15 | 0.33 |
| (18)インターネット等の地域の情報 | -0.02 | 0.08 | 0.07 | 0.16 | 0.20 | 0.21 |
| (19)河川や急傾斜地など危険箇所の整備 | -0.16 | -0.17 | -0.50 | 0.58 | 0.55 | 0.74 |
| (20)消防・防災体制の充実 | 0.28 | 0.36 | 0.28 | 0.53 | 0.52 | 0.77 |
| (21)犯罪のないまちへの取り組み | 0.32 | 0.46 | 0.33 | 0.61 | 0.56 | 0.59 |
| (22)交通安全への取り組み | 0.34 | 0.44 | 0.30 | 0.48 | 0.48 | 0.41 |
| (23)消費者対策の充実 | 0.05 | 0.01 | 0.00 | 0.27 | 0.25 | 0.24 |
| 平均 | 0.02 | 0.08 | -0.01 | 0.37 | 0.37 | 0.43 |

エ　環境保全のまちづくり

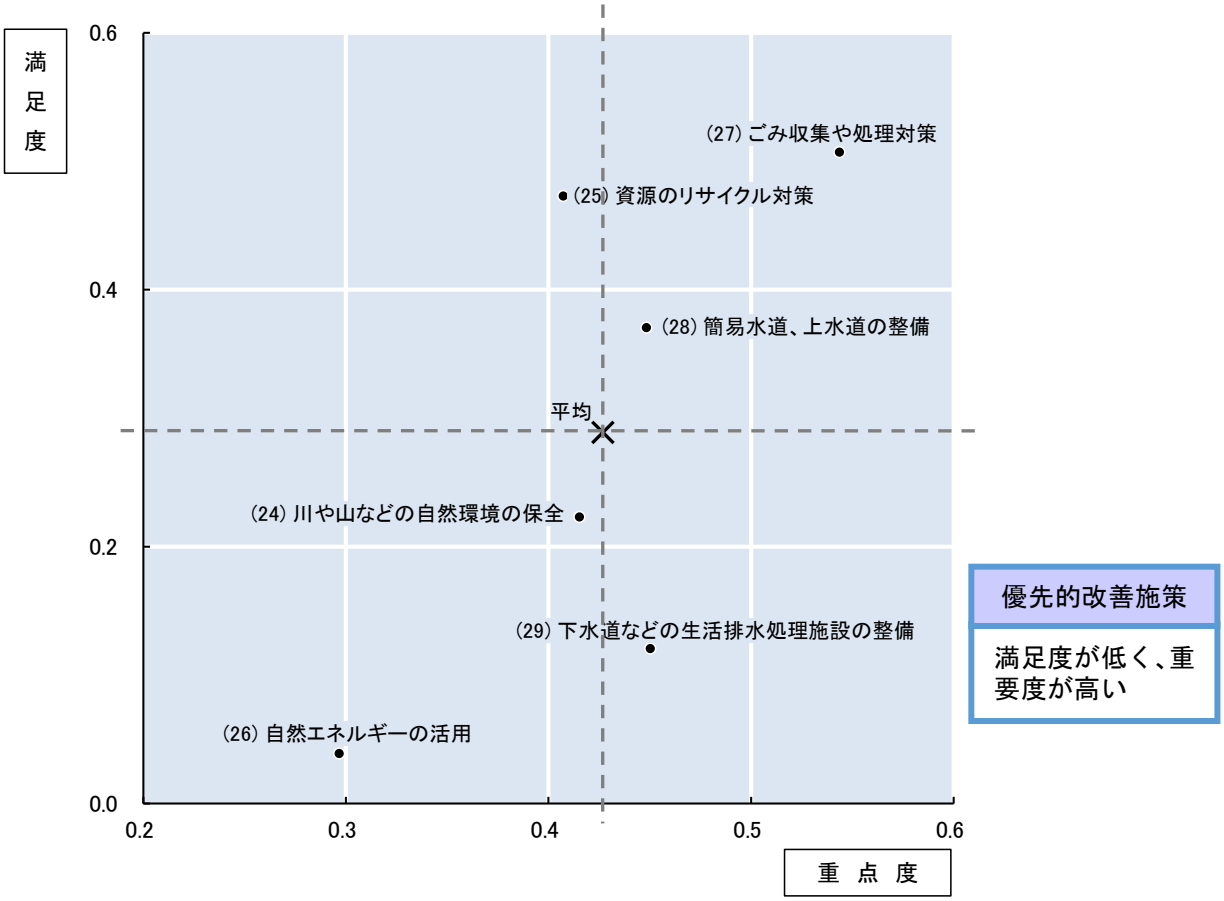
○　『環境分野』のうち、満足度評価は、「ごみ収集や処理対策」（0.51 点）が最も高く、次いで「資源のリサイクル対策」（0.47 点）、「簡易水道、上水道の整備」（0.37 点）となっている。一方、最も満足度が低いのは「自然エネルギーの活用」（0.04 点）となっている。

○　重要度評価では、「ごみ収集や処理対策」（0.54 点）が最も高く、次いで「簡易水道、上水道の整備」「下水道などの生活排水処理施設の整備」（ともに 0.45 点）、「川や山などの自然環境の保全」（0.42 点）と続く。

＊『環境分野』の優先的改善施策は、「下水道などの生活排水処理施設の整備」となっている。

（単位：評価点）

| 設問項目 | 満足度 | 重要度 |
|---|---|---|
| (24) 川や山などの自然環境の保全 | 0.22 | 0.42 |
| (25) 資源のリサイクル対策 | 0.47 | 0.41 |
| (26) 自然エネルギーの活用 | 0.04 | 0.30 |
| (27) ごみ収集や処理対策 | 0.51 | 0.54 |
| (28) 簡易水道、上水道の整備 | 0.37 | 0.45 |
| (29) 下水道などの生活排水処理施設の整備 | 0.12 | 0.45 |
| 平均 | 0.29 | 0.43 |



◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇

オ　教育文化のまちづくり

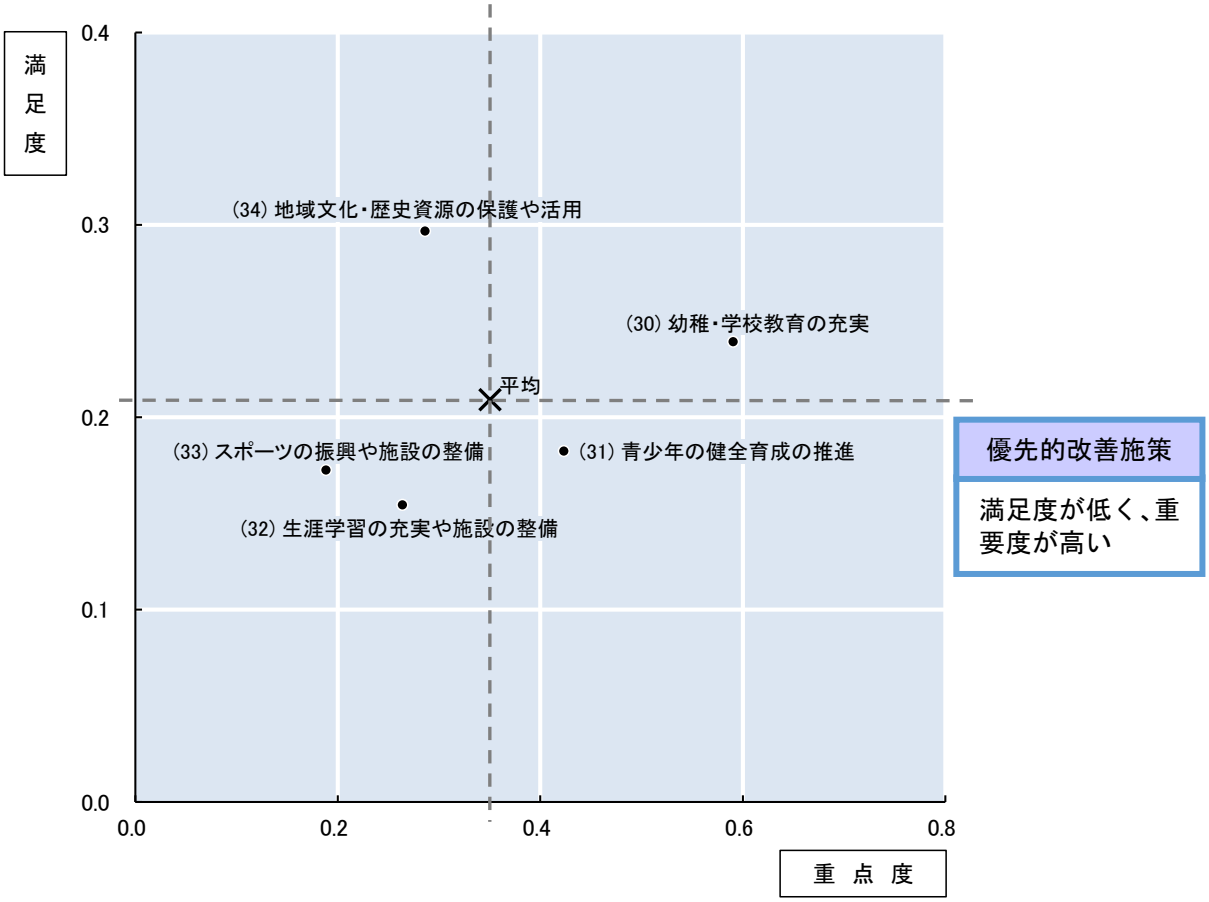
○　『教育・文化分野』のうち、満足度評価は、「地域文化・歴史資源の保護や活用」（0.30点）が最も高く、次いで「幼稚・学校教育の充実」（0.24点）、「青少年の健全育成の推進」（0.18点）となっている。一方、最も満足度が低いのは「生涯学習の充実や施設の整備」（0.15点）となっている。

○　重要度評価では、「幼稚・学校教育の充実」（0.59点）が最も高く、次いで「青少年の健全育成の推進」（0.42点）、「地域文化・歴史資源の保護や活用」（0.29点）と続く。

＊『教育・文化分野』の優先的改善施策は、「青少年の健全育成の推進」となっている。

（単位：評価点）

| 設問項目 | 満足度 | 重要度 |
|---|---|---|
| (30)幼稚・学校教育の充実 | 0.24 | 0.59 |
| (31)青少年の健全育成の推進 | 0.18 | 0.42 |
| (32)生涯学習の充実や施設の整備 | 0.15 | 0.26 |
| (33)スポーツの振興や施設の整備 | 0.17 | 0.19 |
| (34)地域文化・歴史資源の保護や活用 | 0.30 | 0.29 |
| 平均 | 0.21 | 0.35 |



### ◆◇前回調査からの変化

○　平均では、『満足度』が－0.01 ポイント、『重要度』が＋0.04 ポイント。
○　前回調査から変化の大きい項目（＋－0.10 ポイント以上）はみられない。

＊前回の優先的改善施策は、「青少年の健全育成の推進」となっている。

| 設問項目 | 満足度（前回は納得度） | | | 重要度 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
| (30) 幼稚・学校教育の充実 | 0.24 | 0.29 | -0.05 | 0.59 | 0.56 | 0.03 |
| (31) 青少年の健全育成の推進 | 0.18 | 0.18 | 0.00 | 0.42 | 0.38 | 0.04 |
| (32) 生涯学習の充実や施設の整備 | 0.15 | 0.16 | -0.01 | 0.26 | 0.17 | 0.09 |
| (33) スポーツの振興や施設の整備 | 0.17 | 0.22 | -0.05 | 0.19 | 0.16 | 0.03 |
| (34) 地域文化・歴史資源の保護や活用 | 0.30 | 0.23 | 0.07 | 0.29 | 0.27 | 0.02 |
| **平均** | 0.21 | 0.22 | -0.01 | 0.35 | 0.31 | 0.04 |

### ◆◇居住地域でみる傾向

○　『満足度』では、塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに、「地域文化・歴史資源の保護や活用」が最も高い。
○　『重要度』では、塩山地域、大和地域、勝沼地域ともに、「幼稚・学校教育の充実」が最も高い。
○　平均では、勝沼地域の『満足度』、大和地域の『重要度』が最も高い。

＊居住地域の優先的改善施策では、「塩山地域」の「青少年の健全育成の推進」、「勝沼地域」はなし、「大和地域」の「幼稚・学校教育の充実」、「青少年の健全育成の推進」となっている。

| 設問項目 | 満足度 | | | 重要度 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 塩山地域 | 勝沼地域 | 大和地域 | 塩山地域 | 勝沼地域 | 大和地域 |
| (30) 幼稚・学校教育の充実 | 0.24 | 0.28 | 0.06 | 0.60 | 0.55 | 0.63 |
| (31) 青少年の健全育成の推進 | 0.15 | 0.29 | 0.00 | 0.42 | 0.43 | 0.53 |
| (32) 生涯学習の充実や施設の整備 | 0.14 | 0.21 | 0.10 | 0.27 | 0.24 | 0.36 |
| (33) スポーツの振興や施設の整備 | 0.17 | 0.18 | 0.27 | 0.19 | 0.17 | 0.28 |
| (34) 地域文化・歴史資源の保護や活用 | 0.29 | 0.32 | 0.33 | 0.30 | 0.24 | 0.38 |
| **平均** | 0.20 | 0.26 | 0.15 | 0.36 | 0.33 | 0.44 |

カ　参画と協働のまちづくり

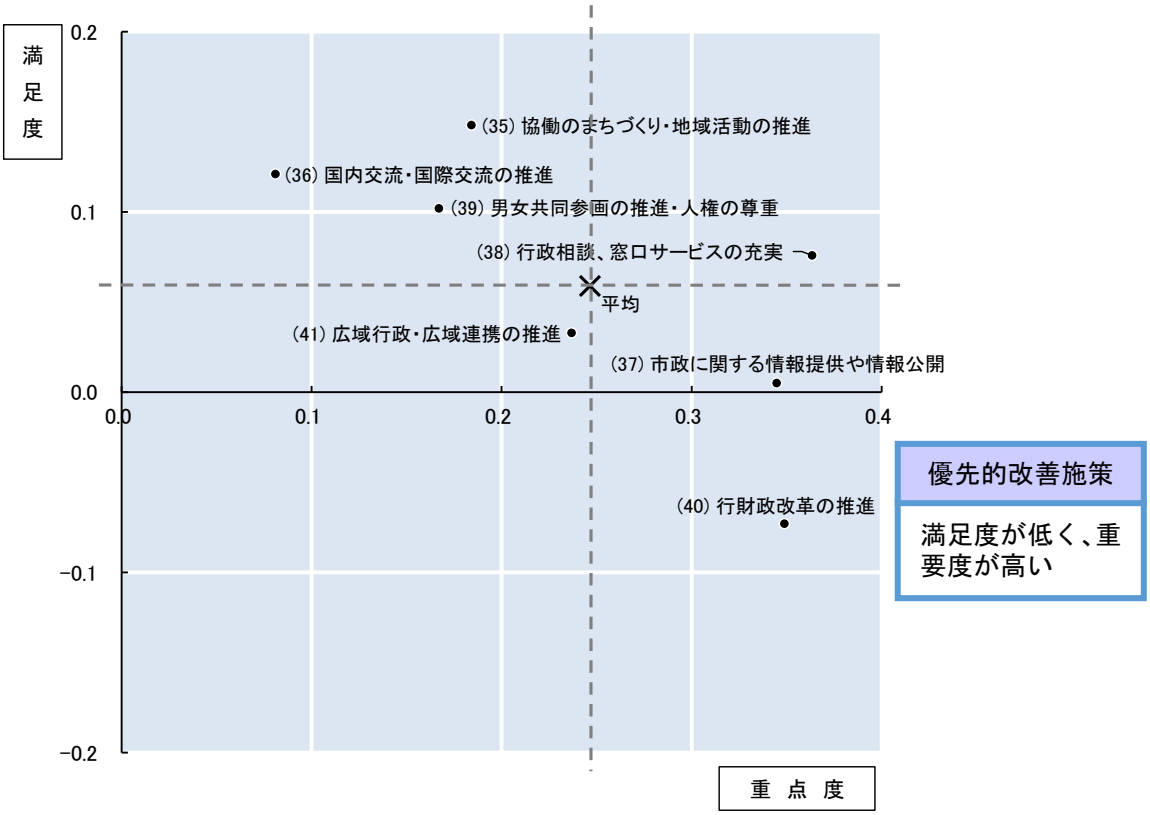
○　『行政分野』のうち、満足度評価は、「協働のまちづくり・地域活動の推進」（0.15 点）が最も高く、次いで「国内交流・国際交流の推進」（0.12 点）、「男女共同参画の推進・人権の尊重」（0.10 点）となっている。一方、最も満足度が低いのは「行財政改革の推進」（-0.07 点）となっている。

○　重要度評価では、「行政相談、窓口サービスの充実」（0.36 点）が最も高く、次いで「行財政改革の推進」（0.35 点）、「市政に関する情報提供や情報公開」（0.34 点）と続く。

＊『行政分野』の優先的改善施策は、「市政に関する情報提供や情報公開」、「行財政改革の推進」となっている。

（単位：評価点）

| 設問項目 | 満足度 | 重要度 |
|---|---|---|
| (35)協働のまちづくり・地域活動の推進 | 0.15 | 0.18 |
| (36)国内交流・国際交流の推進 | 0.12 | 0.08 |
| (37)市政に関する情報提供や情報公開 | 0.01 | 0.34 |
| (38)行政相談、窓口サービスの充実 | 0.08 | 0.36 |
| (39)男女共同参画の推進・人権の尊重 | 0.10 | 0.17 |
| (40)行財政改革の推進 | -0.07 | 0.35 |
| (41)広域行政・広域連携の推進 | 0.03 | 0.24 |
| 平均 | 0.06 | 0.25 |



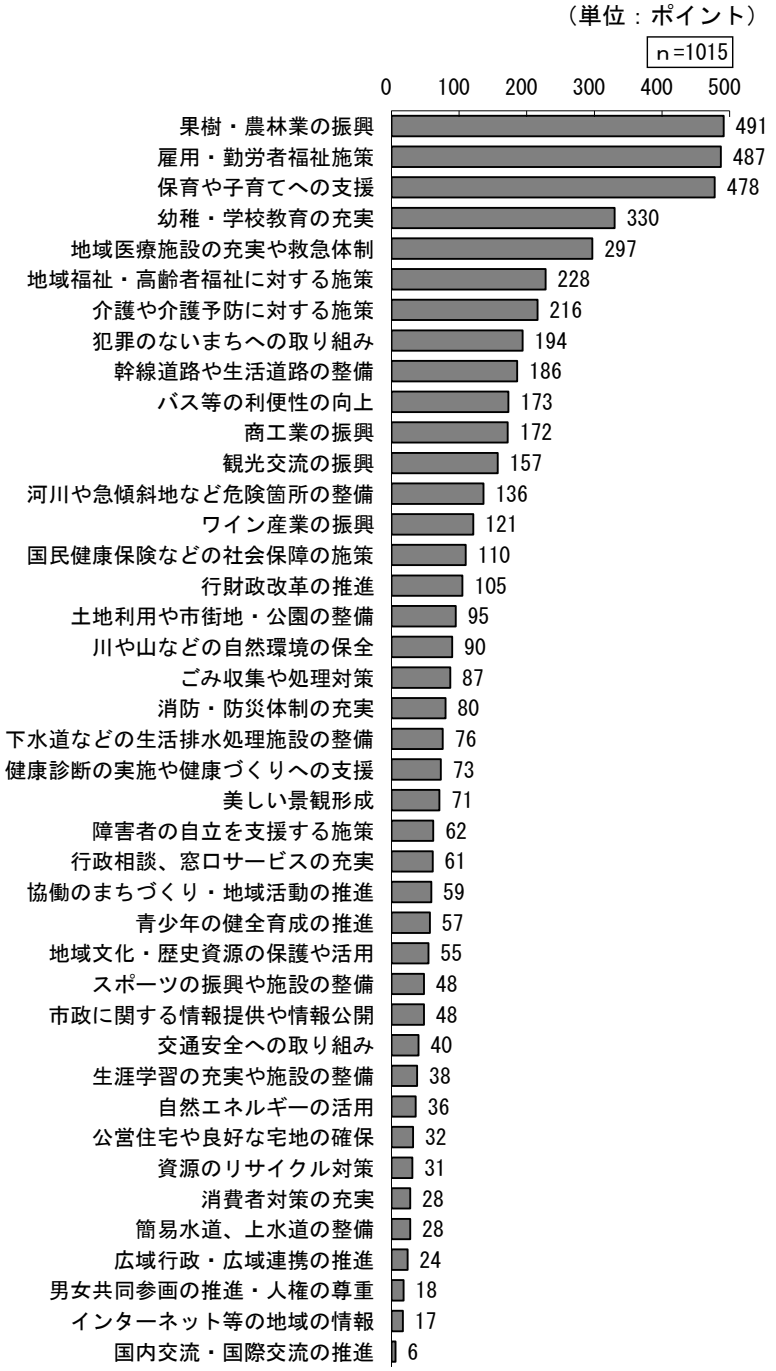
◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇

問 5-1　前記（1）～（41）の項目のうち、あなたが、特に他の分野より優先した方がよい（重要度が高い）と思う項目を、重要だと思われるものから 3 つまで選んで順番に番号を記入してください。

○　市民が特に優先するべきと考える重点施策は、「果樹・農林業の振興」（491 ポイント）、「雇用・勤労者福祉施策」（487 ポイント）、「保育や子育てへの支援」（478 ポイント）の 3 施策が上位を占めた。

○　前問 41 項目から、第 1 位、第 2 位、第 3 位を選んでもらい、順位結果をポイント化（第 1 位に 3 点、第 2 位に 2 点、第 3 位に 1 点を与え、それぞれの回答者数に乗じた）した。

＊市民が特に優先するべきと考える重点施策は、上位３項目「果樹・農林業の振興」、「雇用・勤労者福祉施策」、「保育や子育てへの支援」が 400 ポイント超えている。



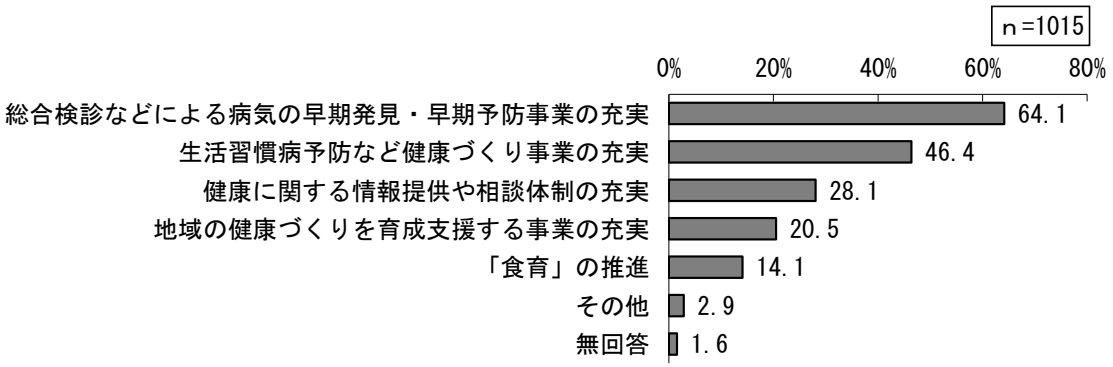
◆◇前回調査からの変化　◆◇◆◇◆◇

## Ⅱ-3. 保健・医療・福祉について

問6 あなたは、健康づくり施策について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（2つまで○印）

○ 健康づくり施策について、力を入れるべきだと思うことは、「総合検診などによる病気の早期発見・早期予防事業の充実」（64.1%）が最も高く、次いで「生活習慣病予防など健康づくり事業の充実」（46.4%）、「健康に関する情報提供や相談体制の充実」（28.1%）と続く。

＊健康づくり施策は、最も高い「総合検診などによる病気の早期発見・早期予防事業の充実」が60%を超えている。




### ◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性、男性ともに「総合検診などによる病気の早期発見・早期予防事業の充実」が最も高い。

○　年齢では、60 歳代以下で「総合検診などによる病気の早期発見・早期予防事業の充実」が最も高い。70 歳代以上は「生活習慣病予防など健康づくり事業の充実」が最も高い。

○　居住地域では、塩山地域、勝沼地域は「総合検診などによる病気の早期発見・早期予防事業の充実」が最も高い。大和地域は「生活習慣病予防など健康づくり事業の充実」が最も高い。

○　居住歴では、すべての居住歴で「総合検診などによる病気の早期発見・早期予防事業の充実」が最も高い。

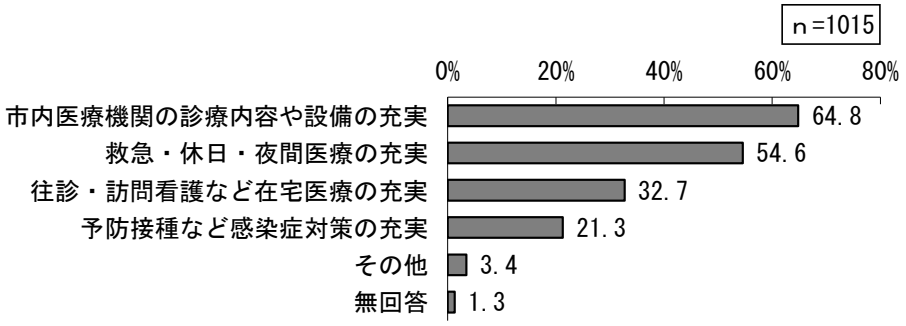
＊年齢の「70 歳代以上」、居住地域の「大和地域」では、「生活習慣病予防など健康づくり事業の充実」が最も高い。

| | | 回答数（人） | 生活習慣病予防など健康づくり事業の充実 | 健康に関する情報提供や相談体制の充実 | 総合検診などによる病気の早期発見・早期予防事業の充実 | 「食育」の推進 | 地域の健康づくりを育成支援する事業の充実 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 45.9 | 29.1 | 64.7 | 16.1 | 19.7 | 1.6 | 1.8 |
| | 男性 | 463 | 46.9 | 27.0 | 63.7 | 11.9 | 21.4 | 4.1 | 1.1 |
| 年齢 | 10・20 歳代 | 99 | 47.5 | 33.3 | 75.8 | 10.1 | 13.1 | 2.0 | 0.0 |
| | 30 歳代 | 113 | 34.5 | 25.7 | 71.7 | 20.4 | 14.2 | 1.8 | 0.0 |
| | 40 歳代 | 176 | 42.0 | 26.1 | 63.1 | 13.1 | 22.7 | 4.0 | 1.7 |
| | 50 歳代 | 244 | 48.0 | 27.9 | 64.3 | 11.1 | 21.3 | 3.7 | 1.2 |
| | 60 歳代 | 339 | 48.4 | 29.2 | 59.6 | 16.2 | 22.7 | 2.4 | 2.4 |
| | 70 歳以上 | 36 | 69.4 | 22.2 | 61.1 | 13.9 | 25.0 | 0.0 | 0.0 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 46.2 | 29.0 | 62.1 | 15.2 | 22.2 | 2.6 | 1.3 |
| | 勝沼地域 | 267 | 44.2 | 28.5 | 70.4 | 12.4 | 16.5 | 3.0 | 1.5 |
| | 大和地域 | 34 | 70.6 | 14.7 | 61.8 | 8.8 | 20.6 | 5.9 | 0.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 50.0 | 28.6 | 63.1 | 13.8 | 17.2 | 2.8 | 1.0 |
| | 市外居住経験 | 303 | 46.5 | 27.7 | 66.3 | 11.9 | 22.4 | 2.3 | 0.7 |
| | 県内から転入 | 261 | 46.0 | 26.1 | 67.4 | 13.4 | 19.2 | 3.1 | 2.3 |
| | 県外から転入 | 155 | 39.4 | 32.3 | 57.4 | 20.0 | 25.2 | 3.2 | 2.6 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問7 あなたは、保健・医療対策について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（2つまで○印）

○ 保健・医療対策について、力を入れるべきだと思うことは、「市内医療機関の診療内容や設備の充実」（64.8%）が最も高く、次いで「救急・休日・夜間医療の充実」（54.6%）、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」（32.7%）と続く。




＊保健・医療対策は、上位２項目「市内医療機関の診療内容や設備の充実」、「救急・休日・夜間医療の充実」が50%を超えている。

◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 順位は前回調査と同じ。
○ 前回調査から変化の大きい項目（＋－5ポイント以上）はみられない。

＊大きな変化はみられない。

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 市内医療機関の診療内容や設備の充実 | 64.8 | 62.0 | 2.8 |
| 救急・休日・夜間医療の充実 | 54.6 | 56.1 | -1.5 |
| 往診・訪問看護など在宅医療の充実 | 32.7 | 34.2 | -1.5 |
| 予防接種など感染症対策の充実 | 21.3 | 21.8 | -0.5 |

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性、男性ともに「市内医療機関の診療内容や設備の充実」が最も高い。

○　年齢では、10・20 歳代と 40 歳代から 60 歳代は「市内医療機関の診療内容や設備の充実」が最も高い。30 歳代は「救急・休日・夜間医療の充実」、70 歳代以上は「往診・訪問看護など在宅医療の充実」がそれぞれ最も高い。

○　居住地域では、塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに「市内医療機関の診療内容や設備の充実」が最も高い。

○　居住歴では、すべての居住歴で「市内医療機関の診療内容や設備の充実」が最も高い。

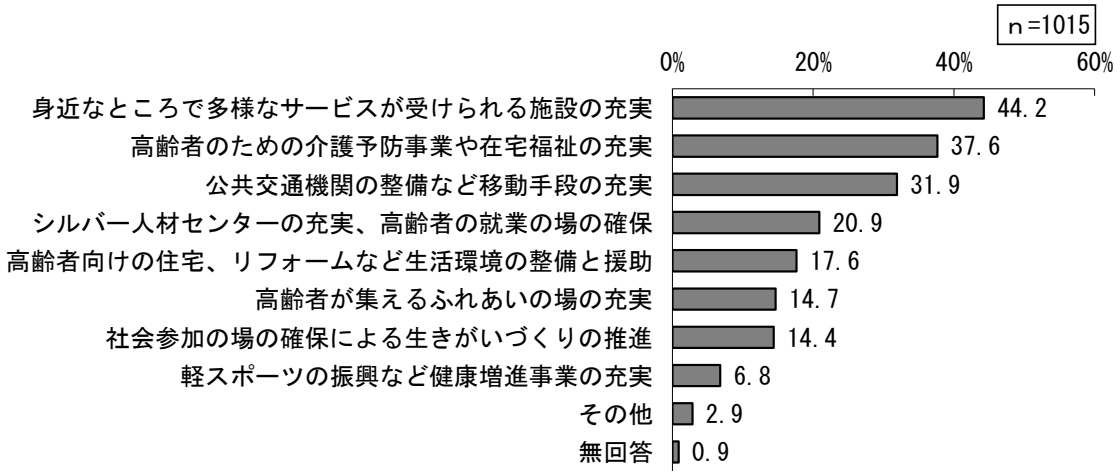
＊年齢の「30 歳代」では、「救急・休日・夜間医療の充実」、「70 歳代以上」は「往診・訪問看護など在宅医療の充実」が最も高い。

| | | 回答数（人） | 市内医療機関の診療内容や設備の充実 | 救急・休日・夜間医療の充実 | 往診・訪問看護など在宅医療の充実 | 予防接種など感染症対策の充実 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 65.8 | 57.0 | 32.4 | 21.4 | 2.6 | 0.9 |
| | 男性 | 463 | 63.9 | 51.8 | 33.0 | 21.2 | 4.3 | 1.5 |
| 年齢 | 10・20 歳代 | 99 | 63.6 | 62.6 | 21.2 | 29.3 | 3.0 | 0.0 |
| | 30 歳代 | 113 | 61.1 | 65.5 | 18.6 | 24.8 | 4.4 | 0.0 |
| | 40 歳代 | 176 | 64.2 | 57.4 | 25.0 | 25.6 | 5.7 | 1.1 |
| | 50 歳代 | 244 | 68.4 | 61.5 | 32.0 | 14.3 | 2.0 | 0.4 |
| | 60 歳代 | 339 | 66.1 | 44.5 | 42.2 | 20.4 | 2.7 | 2.4 |
| | 70 歳以上 | 36 | 52.8 | 38.9 | 55.6 | 25.0 | 5.6 | 0.0 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 66.2 | 53.7 | 34.2 | 20.3 | 3.3 | 1.3 |
| | 勝沼地域 | 267 | 62.2 | 60.3 | 28.8 | 21.3 | 3.0 | 0.4 |
| | 大和地域 | 34 | 70.6 | 32.4 | 32.4 | 38.2 | 8.8 | 0.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 70.3 | 53.8 | 31.4 | 21.0 | 2.1 | 1.4 |
| | 市外居住経験 | 303 | 66.7 | 51.2 | 33.0 | 19.1 | 4.6 | 0.3 |
| | 県内から転入 | 261 | 60.9 | 57.5 | 31.8 | 24.9 | 3.4 | 1.5 |
| | 県外から転入 | 155 | 59.4 | 58.7 | 36.1 | 19.4 | 3.2 | 1.9 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問8 あなたは、高齢者が安心して暮らせる社会を築くため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（2つまで○印）

○ 高齢者が安心して暮らせる社会を築くため、力を入れるべきだと思うことは、「身近なところで多様なサービスが受けられる施設の充実」（44.2%）が最も高く、次いで「高齢者のための介護予防事業や在宅福祉の充実」（37.6%）、「公共交通機関の整備など移動手段の充実」（31.9%）と続く。




＊高齢者が安心して暮らせる社会を築くための施策は、上位３項目「身近なところで多様なサービスが受けられる施設の充実」、「高齢者のための介護予防事業や在宅福祉の充実」、「公共交通機関の整備など移動手段の充実」が30%を超えている。

◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 上位4項目は前回調査と同じ。

○ 前回調査から変化の大きい項目（＋－5ポイント以上）は、「公共交通機関の整備など移動手段の充実」＋5.1ポイント。

＊「公共交通機関の整備など移動手段の充実」のポイントが、大きく増えている。

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 身近なところで多様なサービスが受けられる施設の充実 | 44.2 | 42.2 | 2.0 |
| 高齢者のための介護予防事業や在宅福祉の充実 | 37.6 | 41.2 | -3.6 |
| 公共交通機関の整備など移動手段の充実 | 31.9 | 26.8 | 5.1 |
| シルバー人材センターの充実、高齢者の就業の場の確保 | 20.9 | 21.1 | -0.2 |
| 高齢者向けの住宅、リフォームなど生活環境の整備と援助 | 17.6 | 16.1 | 1.5 |
| 高齢者が集えるふれあいの場の充実 | 14.7 | 13.2 | 1.5 |
| 社会参加の場の確保による生きがいづくりの推進 | 14.4 | 17.1 | -2.7 |
| 軽スポーツの振興など健康増進事業の充実 | 6.8 | 6.0 | 0.8 |

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇

| | | 回答数（人） | 高齢者のための介護予防事業や在宅福祉の充実 | 身近なところで多様なサービスが受けられる施設の充実 | 社会参加の場の確保による生きがいづくりの推進 | シルバー人材センターの充実、高齢者の就業の場の確保 | 高齢者向けの住宅、リフォームなど生活環境の整備と援助 | 公共交通機関の整備など移動手段の充実 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 39.3 | 45.2 | 14.8 | 19.3 | 15.9 | 32.4 |
| | 市外居住経験 | 303 | 41.3 | 44.2 | 14.2 | 22.4 | 16.2 | 27.7 |
| | 県内から転入 | 261 | 39.1 | 41.8 | 13.4 | 20.7 | 20.7 | 32.2 |
| | 県外から転入 | 155 | 25.2 | 46.5 | 15.5 | 21.3 | 19.4 | 39.4 |

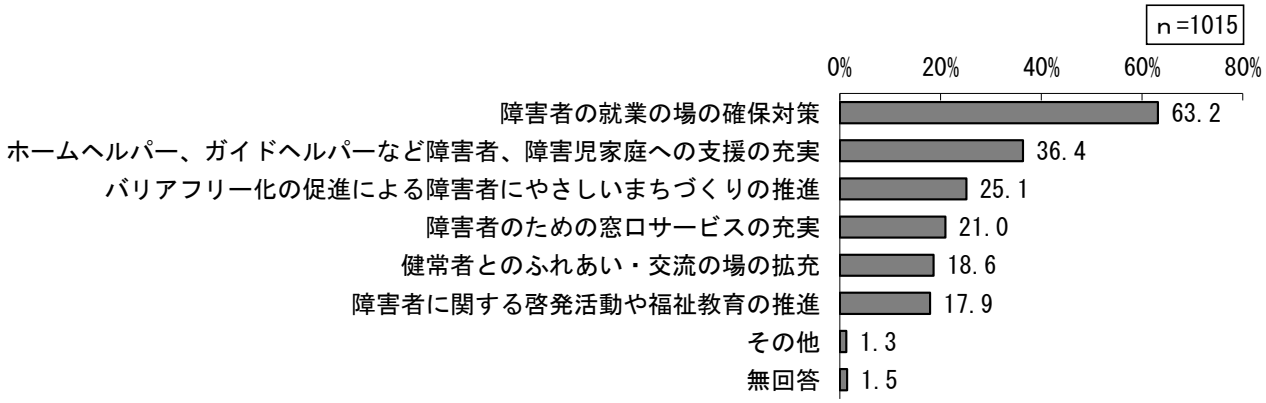
※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

| | | 高齢者が集えるふれあいの場の充実 | 軽スポーツの振興など健康増進事業の充実 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 15.9 | 5.5 | 2.0 | 0.2 |
| | 男性 | 13.4 | 8.4 | 3.9 | 1.5 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 18.2 | 6.1 | 5.1 | 0.0 |
| | 30歳代 | 17.7 | 5.3 | 1.8 | 0.0 |
| | 40歳代 | 11.4 | 8.5 | 3.4 | 1.7 |
| | 50歳代 | 10.2 | 5.7 | 2.9 | 0.8 |
| | 60歳代 | 16.2 | 6.8 | 2.1 | 0.6 |
| | 70歳以上 | 30.6 | 13.9 | 5.6 | 0.0 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 14.3 | 7.1 | 2.0 | 0.7 |
| | 勝沼地域 | 13.5 | 6.4 | 4.1 | 0.4 |
| | 大和地域 | 35.3 | 5.9 | 8.8 | 0.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 16.9 | 6.2 | 2.4 | 0.7 |
| | 市外居住経験 | 12.5 | 7.9 | 3.6 | 0.7 |
| | 県内から転入 | 14.6 | 6.5 | 2.7 | 0.4 |
| | 県外から転入 | 15.5 | 5.8 | 2.6 | 1.9 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問9 あなたは、障害者が生き生きと暮らせるようにするため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（2 つまで○印）

○ 障害者がいきいきと暮らせるようにするため、力を入れるべきだと思うことは、「障害者の就業の場の確保対策」（63.2%）が最も高く、次いで「ホームヘルパー、ガイドヘルパーなど障害者、障害児家庭への支援の充実」（36.4%）、「バリアフリー化の促進による障害者にやさしいまちづくりの推進」（25.1%）と続く。




＊障害者がいきいきと暮らせるようにするための施策は、最も高い「障害者の就業の場の確保対策」が 60%を超えている。

◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 上位 4 項目は前回調査と同じ順位。

○ 前回調査から変化の大きい項目（＋－5 ポイント以上）はみられない。

＊大きな変化はみられない

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 障害者の就業の場の確保対策 | 63.2 | 61.0 | 2.2 |
| ホームヘルパー、ガイドヘルパーなど障害者、障害児家庭への支援の充実 | 36.4 | 40.2 | -3.8 |
| バリアフリー化の促進による障害者にやさしいまちづくりの推進 | 25.1 | 28.3 | -3.2 |
| 障害者のための窓口サービスの充実 | 21.0 | 18.4 | 2.6 |
| 健常者とのふれあい・交流の場の拡充 | 18.6 | 15.1 | 3.5 |
| 障害者に関する啓発活動や福祉教育の推進 | 17.9 | 16.1 | 1.8 |

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性、男性ともに「障害者の就業の場の確保対策」が最も高い。
○　年齢では、すべての年齢で「障害者の就業の場の確保対策」が最も高い。
○　居住地域では、塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに「障害者の就業の場の確保対策」が最も高い。
○　居住歴では、すべての居住歴で「障害者の就業の場の確保対策」が最も高い。

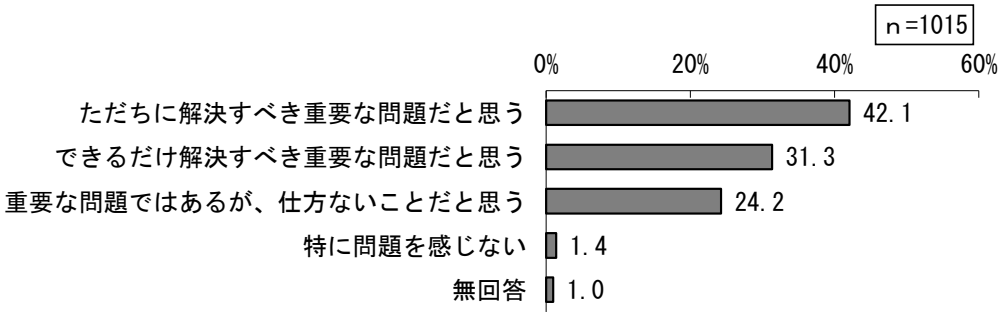
＊大きな差はみられない。

| | | 回答数（人） | 障害者の就業の場の確保対策 | ホームヘルパー、ガイドヘルパーなど障害者、障害児家庭への支援の充実 | バリアフリー化の促進による障害者にやさしいまちづくりの推進 | 障害者のための窓口サービスの充実 | 障害者に関する啓発活動や福祉教育の推進 | 健常者とのふれあい・交流の場の拡充 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 63.3 | 39.1 | 26.5 | 22.7 | 15.7 | 17.4 | 1.1 | 1.1 |
| | 男性 | 463 | 63.1 | 32.8 | 23.8 | 18.6 | 20.7 | 20.1 | 1.5 | 1.9 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 99 | 58.6 | 25.3 | 44.4 | 16.2 | 17.2 | 22.2 | 3.0 | 0.0 |
| | 30歳代 | 113 | 65.5 | 34.5 | 21.2 | 21.2 | 15.0 | 18.6 | 1.8 | 2.7 |
| | 40歳代 | 176 | 65.9 | 39.2 | 23.3 | 19.9 | 17.6 | 16.5 | 1.1 | 1.7 |
| | 50歳代 | 244 | 63.5 | 39.8 | 25.8 | 20.1 | 19.3 | 17.2 | 0.0 | 0.8 |
| | 60歳代 | 339 | 61.9 | 33.9 | 22.4 | 23.9 | 19.5 | 19.2 | 1.5 | 1.8 |
| | 70歳以上 | 36 | 66.7 | 55.6 | 13.9 | 13.9 | 11.1 | 25.0 | 2.8 | 0.0 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 63.1 | 35.4 | 26.0 | 19.6 | 18.0 | 20.9 | 1.1 | 1.1 |
| | 勝沼地域 | 267 | 63.3 | 39.0 | 23.6 | 24.3 | 18.0 | 12.7 | 1.9 | 1.9 |
| | 大和地域 | 34 | 64.7 | 32.4 | 23.5 | 23.5 | 20.6 | 20.6 | 0.0 | 0.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 60.0 | 36.6 | 27.2 | 22.1 | 20.3 | 17.6 | 1.4 | 1.4 |
| | 市外居住経験 | 303 | 68.0 | 32.3 | 22.1 | 20.1 | 17.5 | 18.2 | 0.7 | 2.0 |
| | 県内から転入 | 261 | 60.9 | 38.7 | 26.1 | 21.5 | 16.1 | 16.5 | 1.9 | 0.8 |
| | 県外から転入 | 155 | 63.9 | 38.7 | 25.8 | 19.4 | 18.1 | 25.2 | 1.3 | 1.9 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問10 少子化が急速に進行していますが、あなたは「少子化」問題をどのように捉えていますか。（1 つに○印）

○ 『少子化』問題については、「ただちに解決すべき重要な問題だと思う」（42.1%）が最も高く、次いで「できるだけ解決すべき重要な問題だと思う」（31.3%）、「重要な問題ではあるが、仕方ないことだと思う」（24.2%）と続く。




＊『少子化』問題は、最も高い「ただちに解決すべき重要な問題だと思う」が 40%を超えている。

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 性別では、女性、男性ともに「ただちに解決すべき重要な問題だと思う」が最も高い。

○ 年齢では、10・20 歳代と 70 歳代以上は「できるだけ解決すべき重要な問題だと思う」が最も高い。30 歳代から 60 歳代は「ただちに解決すべき重要な問題だと思う」が最も高い。

○ 居住地域では、塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに「ただちに解決すべき重要な問題だと思う」が最も高い。

○ 居住歴では、県内から転入は「できるだけ解決すべき重要な問題だと思う」が最も高い。他の居住歴は「ただちに解決すべき重要な問題だと思う」が最も高い。

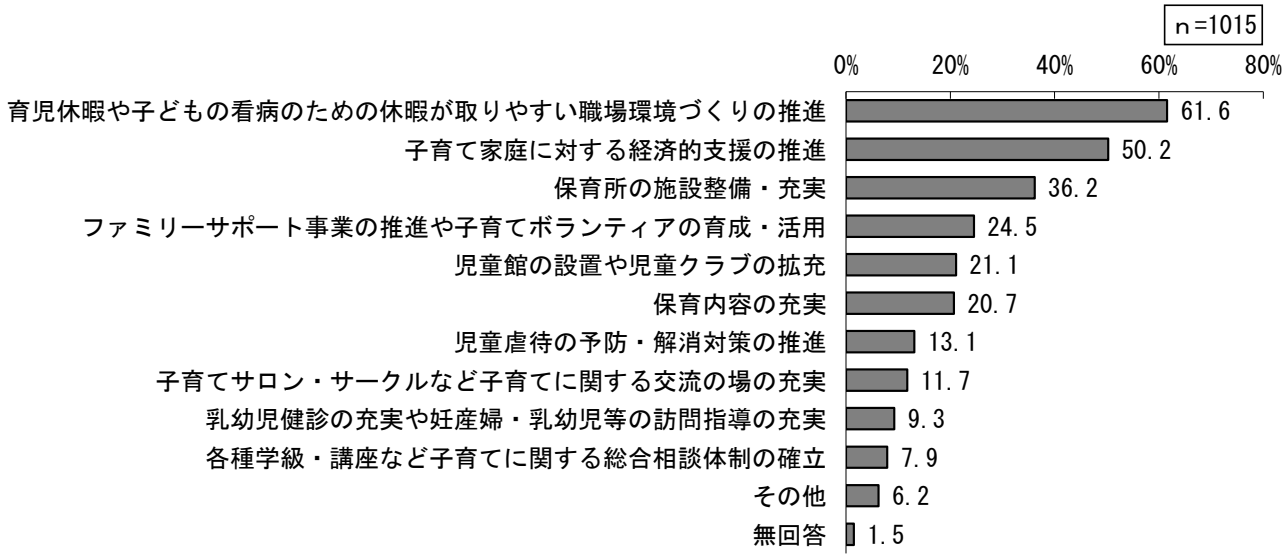
＊年齢の「10・20 歳代」、「70 歳代以上」、居住歴の「県内から転入」では、「できるだけ解決すべき重要な問題だと思う」が最も高い。

| | | 回答数（人） | ただちに解決すべき重要な問題だと思う | できるだけ解決すべき重要な問題だと思う | 重要な問題ではあるが、仕方ないことだと思う | 特に問題を感じない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 39.3 | 32.7 | 26.0 | 1.3 | 0.7 |
| | 男性 | 463 | 44.9 | 30.0 | 22.5 | 1.5 | 1.1 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 99 | 34.3 | 37.4 | 23.2 | 5.1 | 0.0 |
| | 30歳代 | 113 | 46.0 | 29.2 | 23.9 | 0.9 | 0.0 |
| | 40歳代 | 176 | 42.0 | 29.5 | 26.7 | 1.1 | 0.6 |
| | 50歳代 | 244 | 41.4 | 29.9 | 27.0 | 0.8 | 0.8 |
| | 60歳代 | 339 | 44.0 | 32.2 | 21.5 | 1.2 | 1.2 |
| | 70歳以上 | 36 | 33.3 | 38.9 | 25.0 | 0.0 | 2.8 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 44.2 | 30.8 | 23.0 | 1.0 | 1.0 |
| | 勝沼地域 | 267 | 36.7 | 33.0 | 27.3 | 2.6 | 0.4 |
| | 大和地域 | 34 | 38.2 | 35.3 | 26.5 | 0.0 | 0.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 44.8 | 30.7 | 22.1 | 1.4 | 1.0 |
| | 市外居住経験 | 303 | 45.9 | 28.7 | 22.8 | 2.0 | 0.7 |
| | 県内から転入 | 261 | 32.6 | 36.0 | 29.9 | 0.8 | 0.8 |
| | 県外から転入 | 155 | 45.2 | 30.3 | 21.9 | 1.3 | 1.3 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問11 あなたは、保育や子育て支援、少子化対策の施策を充実していくために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで○印）

○ 保育や子育て支援、少子化対策施策の充実のため、力を入れるべきだと思うことは、「育児休暇や子どもの看病のための休暇が取りやすい職場環境づくりの推進」（61.6%）が最も高く、次いで「子育て家庭に対する経済的支援の推進」（50.2%）、「保育所の施設整備・充実」（36.2%）と続く。




＊保育や子育て支援、少子化対策施策は、上位２項目「育児休暇や子どもの看病のための休暇が取りやすい職場環境づくりの推進」、「子育て家庭に対する経済的支援の推進」が50%を超えている。

◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 育児休暇や子どもの看病のための休暇が取りやすい職場環境づくりの推進 | 61.6 | 48.1 | 13.5 |
| 子育て家庭に対する経済的支援の推進 | 50.2 | 38.7 | 11.5 |
| 保育所の施設整備・充実 | 36.2 | 40.2 | -4.0 |
| ファミリーサポート事業の推進や子育てボランティアの育成・活用 | 24.5 | 21.8 | 2.7 |
| 児童館の設置や児童クラブの拡充 | 21.1 | 18.4 | 2.7 |
| 保育内容の充実 | 20.7 | 19.1 | 1.6 |
| 児童虐待の予防・解消対策の推進 | 13.1 | 21.8 | -8.7 |
| 子育てサロン・サークルなど子育てに関する交流の場の充実 | 11.7 | 13.9 | -2.2 |
| 乳幼児健診の充実や妊産婦・乳幼児等の訪問指導の充実 | 9.3 | 11.2 | -1.9 |
| 各種学級・講座など子育てに関する総合相談体制の確立 | 7.9 | 9.2 | -1.3 |

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性は「育児休暇や子どもの看病のための休暇が取りやすい職場環境づくりの推進」、男性は「子育て家庭に対する経済的支援の推進」がそれぞれ最も高い。

○　年齢では、10・20 歳代は「子育て家庭に対する経済的支援の推進」が最も高い。30 歳代以上は「育児休暇や子どもの看病のための休暇が取りやすい職場環境づくりの推進」が最も高い

○　居住地域では、塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに「育児休暇や子どもの看病のための休暇が取りやすい職場環境づくりの推進」が最も高い。

○　居住歴では、すべての居住歴で「育児休暇や子どもの看病のための休暇が取りやすい職場環境づくりの推進」が最も高い。

＊性別の「男性」、年齢の「10・20 歳代」では、「子育て家庭に対する経済的支援の推進」が最も高い。

| | | 回答数（人） | 保育所の施設整備・充実 | 保育内容の充実 | 児童館の設置や児童クラブの拡充 | ファミリーサポート事業の推進や子育てボランティアの育成・活用 | 各種学級・講座など子育てに関する総合相談体制の確立 | 子育てサロン・サークルなど子育てに関する交流の場の充実 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 34.0 | 20.1 | 22.9 | 28.7 | 8.6 | 12.8 |
| | 男性 | 463 | 38.9 | 21.6 | 19.2 | 19.7 | 6.9 | 10.6 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 99 | 39.4 | 20.2 | 25.3 | 17.2 | 4.0 | 9.1 |
| | 30歳代 | 113 | 32.7 | 21.2 | 27.4 | 18.6 | 5.3 | 7.1 |
| | 40歳代 | 176 | 33.0 | 21.0 | 21.6 | 22.7 | 6.3 | 10.2 |
| | 50歳代 | 244 | 41.8 | 21.7 | 21.3 | 28.3 | 7.0 | 9.4 |
| | 60歳代 | 339 | 35.1 | 20.1 | 17.7 | 27.4 | 12.4 | 16.2 |
| | 70歳以上 | 36 | 30.6 | 19.4 | 19.4 | 22.2 | 0.0 | 13.9 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 36.2 | 19.9 | 20.7 | 26.6 | 7.5 | 10.5 |
| | 勝沼地域 | 267 | 37.5 | 20.6 | 23.2 | 19.5 | 7.5 | 14.6 |
| | 大和地域 | 34 | 26.5 | 41.2 | 14.7 | 23.5 | 20.6 | 14.7 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 37.6 | 21.4 | 20.0 | 21.0 | 8.3 | 10.3 |
| | 市外居住経験 | 303 | 41.6 | 23.1 | 20.1 | 25.7 | 6.9 | 11.6 |
| | 県内から転入 | 261 | 31.4 | 21.1 | 23.4 | 26.4 | 8.8 | 11.9 |
| | 県外から転入 | 155 | 31.6 | 14.8 | 21.9 | 25.8 | 7.1 | 14.8 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

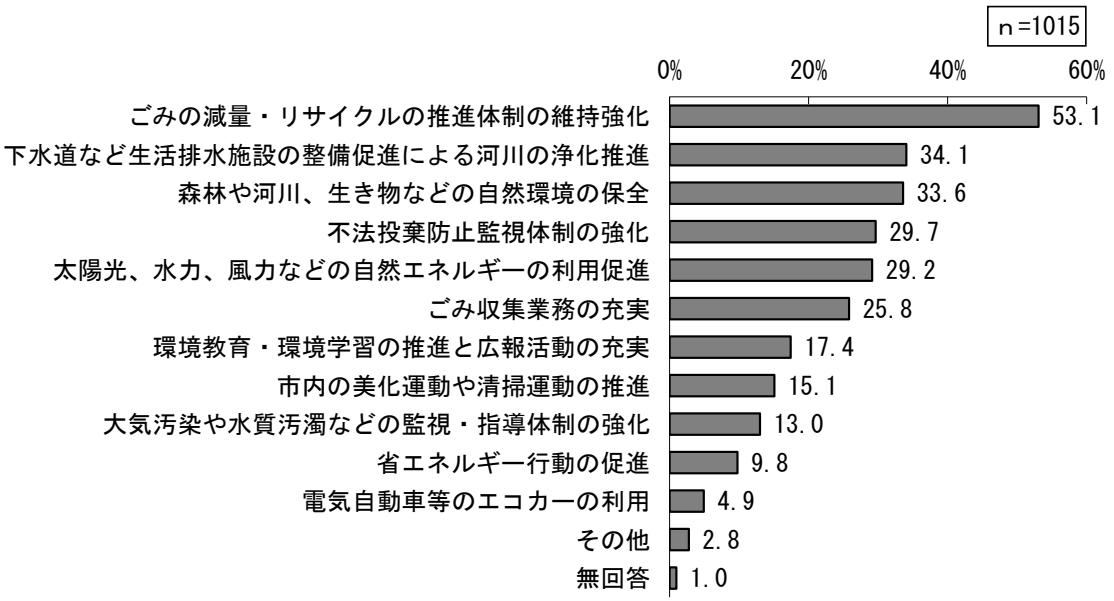
| | | 育児休暇や子どもの看病のための休暇が取りやすい職場環境づくりの推進 | 乳幼児健診の充実や妊産婦・乳幼児等の訪問指導の充実 | 児童虐待の予防・解消対策の推進 | 子育て家庭に対する経済的支援の推進 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 68.6 | 6.9 | 14.3 | 43.7 | 5.3 | 1.5 |
| | 男性 | 53.6 | 11.9 | 11.9 | 58.3 | 7.1 | 1.3 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 57.6 | 5.1 | 17.2 | 65.7 | 7.1 | 1.0 |
| | 30歳代 | 64.6 | 11.5 | 12.4 | 56.6 | 10.6 | 0.0 |
| | 40歳代 | 58.5 | 8.5 | 8.0 | 55.1 | 9.7 | 1.7 |
| | 50歳代 | 61.1 | 4.1 | 13.1 | 46.7 | 5.3 | 0.8 |
| | 60歳代 | 64.3 | 13.3 | 12.7 | 45.1 | 3.5 | 1.5 |
| | 70歳以上 | 58.3 | 11.1 | 36.1 | 38.9 | 2.8 | 5.6 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 64.9 | 8.8 | 13.2 | 51.7 | 5.5 | 0.9 |
| | 勝沼地域 | 54.3 | 10.5 | 13.5 | 48.3 | 7.5 | 1.9 |
| | 大和地域 | 58.8 | 8.8 | 11.8 | 41.2 | 8.8 | 0.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 63.4 | 9.3 | 12.4 | 51.7 | 5.9 | 1.4 |
| | 市外居住経験 | 58.7 | 7.9 | 11.6 | 49.5 | 5.6 | 1.0 |
| | 県内から転入 | 59.4 | 8.8 | 15.3 | 47.1 | 6.1 | 1.5 |
| | 県外から転入 | 67.7 | 12.3 | 14.2 | 54.2 | 7.7 | 1.9 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

## Ⅱ-4. 環境対策について

問12 あなたは、環境保全対策について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで○印）

○ 環境保全対策について、力を入れるべきだと思うことは、「ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化」（53.1%）が最も高く、次いで「下水道など生活排水施設の整備促進による河川の浄化推進」（34.1%）、「森林や河川、生き物などの自然環境の保全」（33.6%）と続く。




＊環境保全対策の施策は、最も高い「ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化」が50%を超えている。

◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 不法投棄防止監視体制の強化 | 29.7 | 29.0 | 0.7 |
| 太陽光、水力、風力などの自然エネルギーの利用促進 | 29.2 | 45.2 | -16.0 |
| ごみ収集業務の充実 | 25.8 | 23.8 | 2.0 |
| 環境教育・環境学習の推進と広報活動の充実 | 17.4 | 9.7 | 7.7 |
| 市内の美化運動や清掃運動の推進 | 15.1 | 12.4 | 2.7 |
| 大気汚染や水質汚濁などの監視・指導体制の強化 | 13.0 | 10.9 | 2.1 |
| 省エネルギー行動の促進 | 9.8 | 12.4 | -2.6 |
| 電気自動車等のエコカーの利用 | 4.9 | 4.7 | 0.2 |

## ◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇

| | | 回答数（人） | ごみの減量・リサイクルの推進体制の維持強化 | ごみ収集業務の充実 | 下水道など生活排水施設の整備促進による河川の浄化推進 | 大気汚染や水質汚濁などの監視・指導体制の強化 | 不法投棄防止監視体制の強化 | 森林や河川、生き物などの自然環境の保全 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 県内から転入 | 261 | 52.9 | 26.1 | 30.3 | 12.6 | 26.4 | 30.3 |
| | 県外から転入 | 155 | 52.3 | 23.9 | 38.7 | 14.8 | 33.5 | 34.8 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

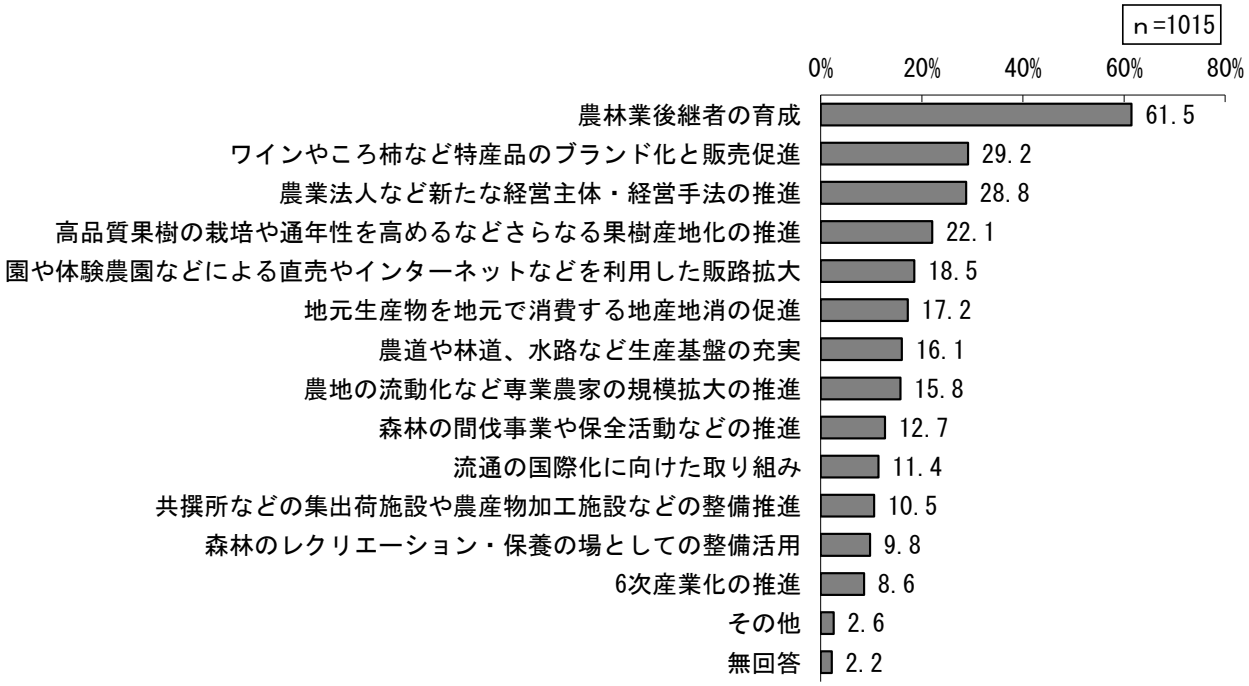
| | | 市内の美化運動や清掃運動の推進 | 太陽光、水力、風力などの自然エネルギーの利用促進 | 省エネルギー行動の促進 | 電気自動車等のエコカーの利用 | 環境教育・環境学習の推進と広報活動の充実 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 15.4 | 28.0 | 11.5 | 4.2 | 19.0 | 2.4 | 0.9 |
| | 男性 | 14.9 | 30.5 | 7.6 | 5.6 | 15.6 | 3.2 | 0.9 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 14.1 | 30.3 | 8.1 | 8.1 | 18.2 | 2.0 | 0.0 |
| | 30歳代 | 8.8 | 38.9 | 16.8 | 11.5 | 16.8 | 2.7 | 2.7 |
| | 40歳代 | 10.8 | 36.4 | 12.5 | 6.3 | 13.6 | 6.3 | 0.6 |
| | 50歳代 | 16.0 | 26.2 | 8.6 | 3.3 | 18.4 | 2.0 | 0.0 |
| | 60歳代 | 18.9 | 24.8 | 6.5 | 2.4 | 18.0 | 1.8 | 1.2 |
| | 70歳以上 | 19.4 | 19.4 | 16.7 | 2.8 | 22.2 | 2.8 | 0.0 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 14.9 | 29.4 | 9.9 | 5.0 | 17.6 | 2.4 | 1.1 |
| | 勝沼地域 | 15.4 | 28.8 | 9.0 | 5.2 | 16.9 | 3.7 | 0.0 |
| | 大和地域 | 17.6 | 23.5 | 11.8 | 0.0 | 23.5 | 2.9 | 0.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 14.1 | 27.6 | 9.3 | 4.5 | 17.2 | 0.7 | 1.0 |
| | 市外居住経験 | 15.5 | 28.7 | 6.9 | 7.3 | 17.2 | 3.3 | 1.3 |
| | 県内から転入 | 16.9 | 31.8 | 13.8 | 3.4 | 18.0 | 4.2 | 0.8 |
| | 県外から転入 | 12.9 | 28.4 | 9.0 | 3.2 | 18.1 | 3.2 | 0.0 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

## Ⅱ-5. 産業振興について

問13 あなたは、市の農林業を振興するため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
（3 つまで○印）

○ 市の農林業の振興のため、力を入れるべきだと思うことは、「農林業後継者の育成」(61.5%)が最も高く、次いで「ワインやころ柿など特産品のブランド化と販売促進」（29.2%）、「農業法人など新たな経営主体・経営手法の推進」（28.8%）と続く。




＊農林業の振興のための施策は、最も高い「農林業後継者の育成」が 60%を超えている。

◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 農林業後継者の育成 | 61.5 | 54.8 | 6.7 |
| ワインやころ柿など特産品のブランド化と販売促進 | 29.2 | 32.0 | -2.8 |
| 農業法人など新たな経営主体・経営手法の推進 | 28.8 | 28.8 | 0.0 |
| 高品質果樹の栽培や通年性を高めるなどさらなる果樹産地化の推進 | 22.1 | 18.9 | 3.2 |
| 園や体験農園などによる直売やインターネットなどを利用した販路拡大 | 18.5 | 23.8 | -5.3 |
| 地元生産物を地元で消費する地産地消の促進 | 17.2 | 25.6 | -8.4 |
| 農道や林道、水路など生産基盤の充実 | 16.1 | 11.9 | 4.2 |
| 農地の流動化など専業農家の規模拡大の推進 | 15.8 | 22.3 | -6.5 |
| 森林の間伐事業や保全活動などの推進 | 12.7 | 10.9 | 1.8 |
| 流通の国際化に向けた取り組み | 11.4 | なし | なし |
| 共撰所などの集出荷施設や農産物加工施設などの整備推進 | 10.5 | 9.4 | 1.1 |
| 森林のレクリエーション・保養の場としての整備活用 | 9.8 | 7.2 | 2.6 |
| 6 次産業化の推進 | 8.6 | なし | なし |

## ◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性、男性ともに「農林業後継者の育成」が最も高い。
○　年齢では、すべての年齢で「農林業後継者の育成」が最も高い。
○　居住地域では、塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに「農林業後継者の育成」が最も高い。
○　居住歴では、すべての居住歴で「農林業後継者の育成」が最も高い。

＊大きな差はみられない。

| | | 回答数（人） | 農地の流動化など専業農家の規模拡大の推進 | 農林業後継者の育成 | 農業法人など新たな経営主体・経営手法の推進 | 農道や林道、水路など生産基盤の充実 | 共撰所などの集出荷施設や農産物加工施設などの整備推進 | 高品質果樹の栽培や通年性を高めるなどさらなる果樹産地化の推進 | ワインやころ柿など特産品のブランド化と販売促進 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 14.1 | 62.9 | 29.8 | 14.4 | 10.1 | 21.9 | 28.5 |
| | 男性 | 463 | 17.7 | 59.6 | 27.6 | 18.1 | 11.2 | 22.0 | 30.2 |
| 年齢 | 10・20 歳代 | 99 | 14.1 | 65.7 | 25.3 | 13.1 | 8.1 | 13.1 | 44.4 |
| | 30 歳代 | 113 | 20.4 | 63.7 | 24.8 | 10.6 | 7.1 | 19.5 | 35.4 |
| | 40 歳代 | 176 | 21.0 | 66.5 | 32.4 | 10.2 | 9.7 | 18.8 | 29.0 |
| | 50 歳代 | 244 | 16.4 | 57.4 | 28.7 | 16.0 | 13.1 | 20.9 | 27.5 |
| | 60 歳代 | 339 | 12.1 | 59.9 | 29.2 | 22.4 | 11.2 | 29.2 | 23.9 |
| | 70 歳以上 | 36 | 8.3 | 61.1 | 33.3 | 13.9 | 11.1 | 13.9 | 30.6 |
| 居住 | 塩山地域 | 704 | 14.2 | 62.2 | 29.4 | 14.8 | 11.1 | 20.7 | 31.5 |

| | | 回答数（人） | 農地の流動化など専業農家の規模拡大の推進 | 農林業後継者の育成 | 農業法人など新たな経営主体・経営手法の推進 | 農道や林道、水路など生産基盤の充実 | 共撰所などの集出荷施設や農産物加工施設などの整備推進 | 高品質果樹の栽培や通年性を高めるなどさらなる果樹産地化の推進 | ワインやころ柿など特産品のブランド化と販売促進 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 勝沼地域 | 267 | 19.1 | 60.3 | 27.3 | 18.4 | 9.4 | 27.3 | 24.7 |
| | 大和地域 | 34 | 17.6 | 52.9 | 23.5 | 29.4 | 8.8 | 11.8 | 20.6 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 16.9 | 63.4 | 26.2 | 21.4 | 11.7 | 19.0 | 29.0 |
| | 市外居住経験 | 303 | 14.5 | 62.0 | 29.4 | 15.5 | 11.6 | 22.1 | 30.4 |
| | 県内から転入 | 261 | 14.6 | 57.9 | 28.4 | 14.9 | 10.0 | 21.5 | 26.1 |
| | 県外から転入 | 155 | 17.4 | 62.6 | 33.5 | 9.0 | 7.7 | 29.0 | 32.9 |

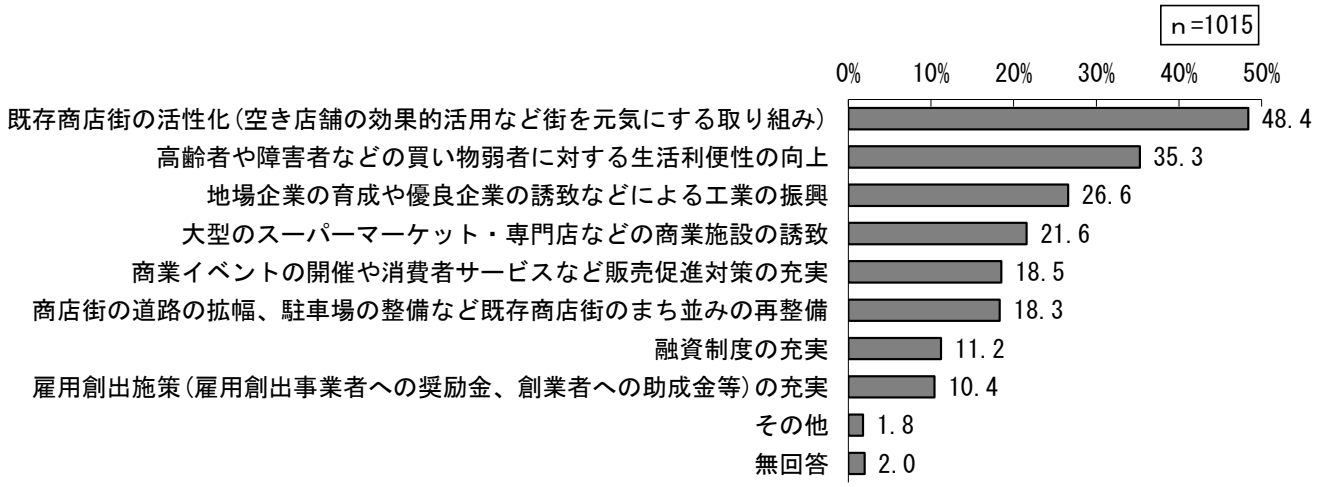
※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

| | | 園や体験農園などによる直売やインターネットなどを利用した販路拡大 | 森林の間伐事業や保全活動などの推進 | 森林のレクリエーション・保養の場としての整備活用 | 地元生産物を地元で消費する地産地消の促進 | ６次産業化の推進 | 流通の国際化に向けた取り組み | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 20.5 | 11.7 | 9.9 | 21.6 | 6.6 | 10.8 | 1.1 | 2.6 |
| | 男性 | 16.2 | 13.8 | 9.7 | 12.3 | 11.0 | 12.3 | 3.9 | 1.5 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 32.3 | 8.1 | 7.1 | 12.1 | 5.1 | 18.2 | 4.0 | 1.0 |
| | 30歳代 | 20.4 | 11.5 | 8.0 | 14.2 | 7.1 | 15.0 | 1.8 | 4.4 |
| | 40歳代 | 23.3 | 6.8 | 9.7 | 14.2 | 5.7 | 10.8 | 3.4 | 1.1 |
| | 50歳代 | 16.8 | 13.9 | 9.8 | 17.6 | 9.4 | 9.8 | 1.2 | 2.5 |
| | 60歳代 | 12.4 | 16.2 | 11.5 | 20.6 | 10.3 | 8.6 | 2.4 | 1.8 |
| | 70歳以上 | 22.2 | 16.7 | 5.6 | 25.0 | 16.7 | 19.4 | 2.8 | 0.0 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 20.5 | 12.8 | 11.4 | 17.3 | 7.7 | 12.5 | 2.0 | 2.1 |
| | 勝沼地域 | 15.4 | 8.6 | 6.0 | 16.5 | 10.5 | 9.7 | 3.7 | 1.5 |
| | 大和地域 | 8.8 | 44.1 | 8.8 | 26.5 | 14.7 | 5.9 | 0.0 | 2.9 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 17.2 | 14.1 | 9.0 | 18.6 | 6.9 | 11.4 | 2.1 | 1.4 |
| | 市外居住経験 | 20.5 | 10.2 | 9.9 | 11.9 | 14.9 | 12.9 | 4.0 | 1.7 |
| | 県内から転入 | 18.4 | 13.8 | 10.3 | 19.5 | 5.0 | 11.5 | 1.5 | 3.8 |
| | 県外から転入 | 18.1 | 12.9 | 10.3 | 21.3 | 5.2 | 9.0 | 1.3 | 1.3 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問14 あなたは、市の商工業を振興するため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
（2 つまで○印）

○ 市の商工業を振興するため、力を入れるべきだと思うことは、「既存商店街の活性化」(48.4%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者などの買い物弱者に対する生活利便性の向上」(35.3%)、「地上企業の育成や優良企業の誘致などによる工業の振興」（26.6%）と続く。




＊商工業を振興するための施策は、上位２項目「既存商店街の活性化」、「高齢者や障害者などの買い物弱者に対する生活利便性の向上」が 30%を超えている。

◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性、男性ともに、「既存商店街の活性化」が最も高い。
○　年齢では、すべての年齢で、「既存商店街の活性化」が最も高い。
○　居住地域では、塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに、「既存商店街の活性化」が最も高い。
○　居住歴では、すべての居住歴で、「既存商店街の活性化」が最も高い。

＊大きな差はみられない。

| | | 回答数（人） | 融資制度の充実 | 既存商店街の活性化（空き店舗の効果的活用など街を元気にする取り組み） | 商店街の道路の拡幅、駐車場の整備など既存商店街のまち並みの再整備 | 商業イベントの開催や消費者サービスなど販売促進対策の充実 | 地場企業の育成や優良企業の誘致などによる工業の振興 | 雇用創出施策（雇用創出事業者への奨励金、創業者への助成金等）の充実 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 9.1 | 52.3 | 17.4 | 19.7 | 21.0 | 8.2 |
| | 男性 | 463 | 13.6 | 43.8 | 19.4 | 17.1 | 33.5 | 13.0 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 99 | 12.1 | 42.4 | 28.3 | 22.2 | 17.2 | 14.1 |
| | 30歳代 | 113 | 9.7 | 45.1 | 15.9 | 27.4 | 20.4 | 8.8 |
| | 40歳代 | 176 | 13.1 | 44.9 | 17.0 | 22.7 | 23.9 | 8.5 |
| | 50歳代 | 244 | 13.9 | 48.8 | 17.2 | 16.4 | 29.1 | 10.2 |
| | 60歳代 | 339 | 8.6 | 52.5 | 16.2 | 15.3 | 30.7 | 11.2 |
| | 70歳以上 | 36 | 11.1 | 52.8 | 30.6 | 8.3 | 36.1 | 8.3 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 10.8 | 51.8 | 18.6 | 16.8 | 29.0 | 10.4 |
| | 勝沼地域 | 267 | 12.0 | 39.0 | 18.4 | 22.5 | 21.0 | 11.6 |
| | 大和地域 | 34 | 11.8 | 50.0 | 11.8 | 29.4 | 20.6 | 0.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 12.4 | 48.6 | 22.4 | 16.2 | 23.8 | 9.3 |
| | 市外居住経験 | 303 | 11.9 | 47.2 | 15.8 | 21.1 | 28.1 | 13.2 |
| | 県内から転入 | 261 | 9.2 | 45.2 | 16.5 | 21.5 | 25.7 | 8.4 |
| | 県外から転入 | 155 | 11.0 | 54.8 | 18.1 | 13.5 | 31.6 | 10.3 |

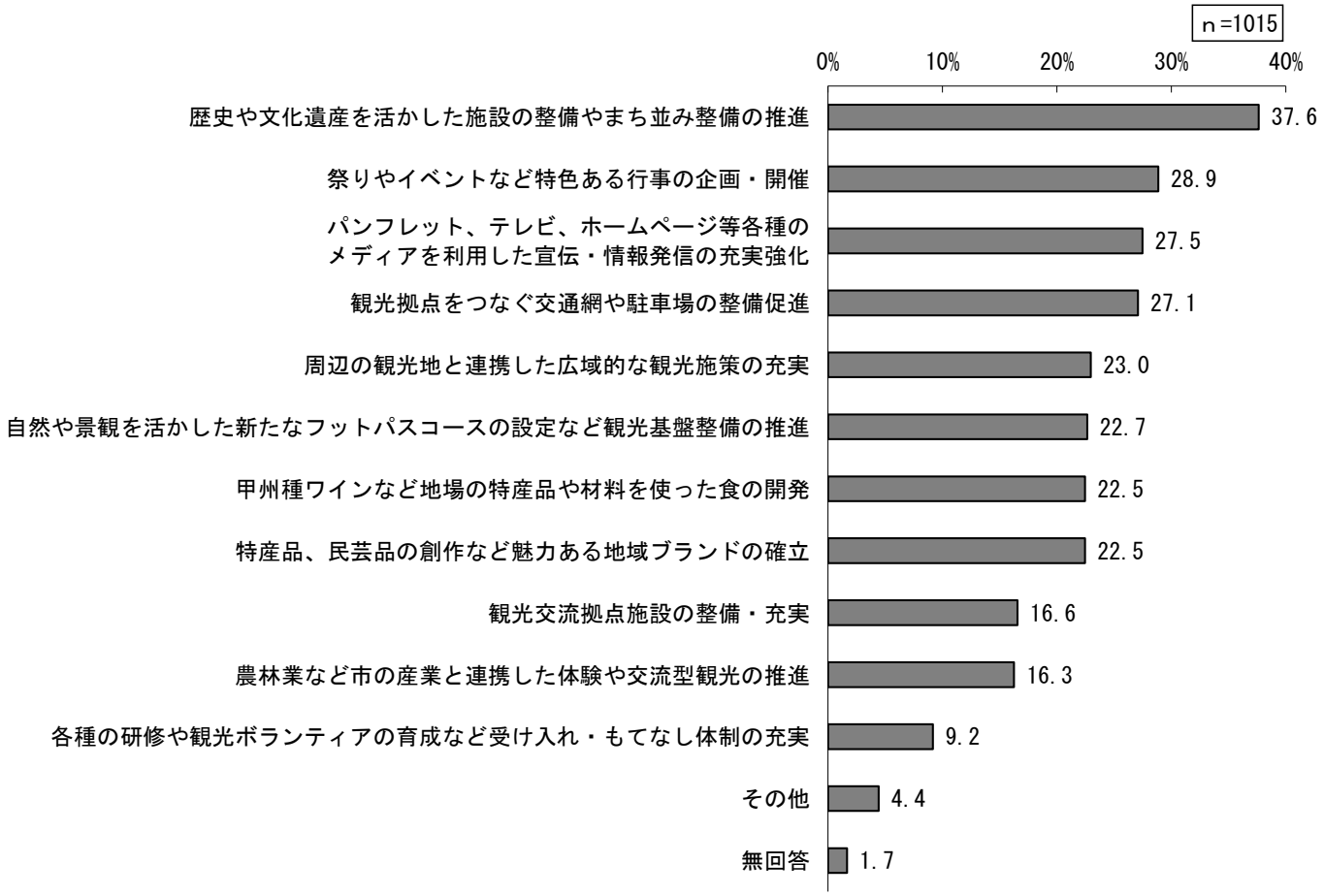
※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

| | | 大型のスーパーマーケット・専門店などの商業施設の誘致 | 高齢者や障害者などの買い物弱者に対する生活利便性の向上 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 23.4 | 40.4 | 1.3 | 2.4 |
| | 男性 | 19.4 | 28.9 | 2.4 | 1.5 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 38.4 | 25.3 | 2.0 | 0.0 |
| | 30歳代 | 35.4 | 30.1 | 0.0 | 2.7 |
| | 40歳代 | 27.8 | 30.7 | 3.4 | 2.8 |
| | 50歳代 | 20.1 | 36.1 | 1.6 | 0.0 |
| | 60歳代 | 11.5 | 40.4 | 1.5 | 3.2 |
| | 70歳以上 | 5.6 | 41.7 | 2.8 | 0.0 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 19.9 | 35.2 | 1.6 | 1.8 |
| | 勝沼地域 | 27.0 | 35.2 | 2.6 | 2.2 |
| | 大和地域 | 17.6 | 41.2 | 0.0 | 0.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 22.8 | 37.6 | 0.7 | 1.4 |
| | 市外居住経験 | 18.8 | 30.4 | 2.3 | 2.6 |
| | 県内から転入 | 23.8 | 35.2 | 1.9 | 2.7 |
| | 県外から転入 | 21.3 | 40.6 | 2.6 | 0.6 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問15 あなたは、市の観光振興のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで○印）

○ 市の観光振興のために、力を入れるべきだと思うことは、「歴史や文化遺産を活かした施設の整備やまち並み整備の推進」（37.6%）が最も高く、次いで「祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催」(28.9%)、「メディアを利用した宣伝・情報発信の充実強化」(27.5%)と続く。




＊観光振興の施策は、最も高い「歴史や文化遺産を活かした施設の整備やまち並み整備の推進」が30%を超えている。

## ◆◇前回調査からの変化

○　上位 2 項目は前回調査と同じ。

○　前回調査から変化の大きい項目（＋－5 ポイント以上）は、「歴史や文化遺産を活かした施設の整備やまち並み整備の推進」＋5.3 ポイント。

＊「歴史や文化遺産を活かした施設の整備やまち並み整備の推進」のポイントが、大きく増えている。

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 歴史や文化遺産を活かした施設の整備やまち並み整備の推進 | 37.6 | 32.3 | 5.3 |
| 祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催 | 28.9 | 31.3 | -2.4 |
| パンフレット、テレビ、ホームページ等各種のメディアを利用した宣伝・情報発信の充実強化 | 27.5 | 23.3 | 4.2 |
| 観光拠点をつなぐ交通網や駐車場の整備促進 | 27.1 | 26.1 | 1.0 |
| 周辺の観光地と連携した広域的な観光施策の充実 | 23.0 | 19.9 | 3.1 |
| 自然や景観を活かした新たなフットパスコースの設定など観光基盤整備の推進 | 22.7 | 23.6 | -0.9 |
| 甲州種ワインなど地場の特産品や材料を使った食の開発 | 22.5 | 25.8 | -3.3 |
| 特産品、民芸品の創作など魅力ある地域ブランドの確立 | 22.5 | 25.6 | -3.1 |
| 観光交流拠点施設の整備・充実 | 16.6 | 18.4 | -1.8 |
| 農林業など市の産業と連携した体験や交流型観光の推進 | 16.3 | 12.4 | -2.1 |
| 各種の研修や観光ボランティアの育成など受け入れ・もてなし体制の充実 | 9.2 | 9.4 | -0.2 |

## ◆◇回答者属性でみる傾向

○　性別では、女性、男性ともに「歴史や文化遺産を活かした施設の整備やまち並み整備の推進」が最も高い。

○　年齢では、30 歳代以下は「祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催」が最も高い。40 歳代以上は「歴史や文化遺産を活かした施設の整備やまち並み整備の推進」が最も高い。

○　居住地域では、塩山地域、勝沼地域は「歴史や文化遺産を活かした施設の整備やまち並み整備の推進」が最も高い。大和地域は「歴史や文化遺産を活かした施設の整備やまち並み整備の推進」と「自然や景観を活かした新たなフットパスコースの設定など観光基盤整備の推進」が最も高い。

○　居住歴では、県内から転入は「パンフレット、テレビ、ホームページ等各種のメディアを利用した宣伝・情報発信の充実強化」が最も高い。他の居住歴は「歴史や文化遺産を活かした施設の整備やまち並み整備の推進」が最も高い。

＊年齢の「30 歳代以下」では、「祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催」が最も高い。
＊居住地域の「大和地域」では、「歴史や文化遺産を活かした施設の整備やまち並み整備の推進」と「自然や景観を活かした新たなフットパスコースの設定など観光基盤整備の推進」が最も高い。
＊居住歴の「県内から転入」では、「パンフレット、テレビ、ホームページ等各種のメディアを利用した宣伝・情報発信の充実強化」が最も高い。

| | | 回答数（人） | 自然や景観を活かした新たなフットパスコースの設定など観光基盤整備の推進 | 歴史や文化遺産を活かした施設の整備やまち並み整備の推進 | 祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催 | 甲州種ワインなど地場の特産品や材料を使った食の開発 | 特産品、民芸品の創作など魅力ある地域ブランドの確立 | 観光交流拠点施設の整備・充実 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 23.4 | 36.0 | 30.9 | 21.9 | 21.8 | 14.8 |
| | 男性 | 463 | 21.8 | 40.0 | 26.1 | 22.9 | 23.3 | 18.8 |
| 年齢 | 10・20 歳代 | 99 | 14.1 | 32.3 | 50.5 | 32.3 | 23.2 | 11.1 |
| | 30 歳代 | 113 | 22.1 | 23.9 | 39.8 | 30.1 | 22.1 | 16.8 |
| | 40 歳代 | 176 | 19.9 | 32.4 | 24.4 | 24.4 | 21.0 | 15.9 |
| | 50 歳代 | 244 | 23.0 | 43.4 | 26.6 | 18.0 | 29.5 | 14.8 |
| | 60 歳代 | 339 | 27.1 | 41.9 | 23.6 | 19.5 | 17.4 | 20.6 |
| | 70 歳以上 | 36 | 16.7 | 47.2 | 22.2 | 19.4 | 27.8 | 8.3 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 20.0 | 39.9 | 29.7 | 20.3 | 23.3 | 17.2 |
| | 勝沼地域 | 267 | 27.7 | 31.8 | 27.3 | 29.2 | 20.6 | 13.5 |
| | 大和地域 | 34 | 38.2 | 38.2 | 23.5 | 17.6 | 20.6 | 26.5 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 20.7 | 42.4 | 35.5 | 18.6 | 24.1 | 15.5 |
| | 市外居住経験 | 303 | 23.8 | 41.9 | 24.8 | 24.8 | 23.4 | 14.5 |
| | 県内から転入 | 261 | 21.8 | 28.4 | 26.1 | 23.0 | 21.8 | 14.9 |
| | 県外から転入 | 155 | 25.8 | 37.4 | 28.4 | 23.9 | 18.7 | 25.2 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

| | | 観光拠点をつなぐ交通網や駐車場の整備促進 | 各種の研修や観光ボランティアの育成など受け入れ・もてなし体制の充実 | パンフレット、テレビ、ホームページ等各種のメディアを利用した宣伝・情報発信の充実強化 | 農林業など市の産業と連携した体験や交流型観光の推進 | 周辺の観光地と連携した広域的な観光施策の充実 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 28.0 | 10.1 | 28.3 | 16.1 | 23.0 | 4.0 | 2.0 |
| | 男性 | 26.3 | 8.2 | 26.1 | 16.4 | 23.1 | 4.8 | 1.1 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 29.3 | 11.1 | 35.4 | 13.1 | 16.2 | 4.0 | 0.0 |
| | 30歳代 | 30.1 | 8.0 | 24.8 | 15.9 | 21.2 | 8.0 | 0.9 |
| | 40歳代 | 31.3 | 8.5 | 24.4 | 19.3 | 17.0 | 6.8 | 1.1 |
| | 50歳代 | 25.4 | 9.0 | 26.6 | 14.8 | 21.7 | 2.5 | 1.6 |
| | 60歳代 | 25.7 | 9.4 | 28.0 | 17.1 | 28.0 | 2.9 | 2.1 |
| | 70歳以上 | 22.2 | 11.1 | 25.0 | 13.9 | 38.9 | 5.6 | 2.8 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 26.8 | 8.8 | 28.0 | 17.2 | 25.0 | 4.3 | 1.3 |
| | 勝沼地域 | 28.1 | 10.9 | 27.0 | 13.1 | 18.0 | 4.9 | 2.2 |
| | 大和地域 | 29.4 | 5.9 | 20.6 | 20.6 | 26.5 | 2.9 | 0.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 27.9 | 10.7 | 22.8 | 14.5 | 24.8 | 1.7 | 0.7 |
| | 市外居住経験 | 26.1 | 8.3 | 31.4 | 20.5 | 17.8 | 4.0 | 1.3 |
| | 県内から転入 | 27.2 | 8.8 | 29.1 | 14.2 | 26.8 | 6.1 | 3.1 |
| | 県外から転入 | 28.4 | 9.0 | 25.8 | 14.8 | 23.2 | 7.1 | 1.3 |

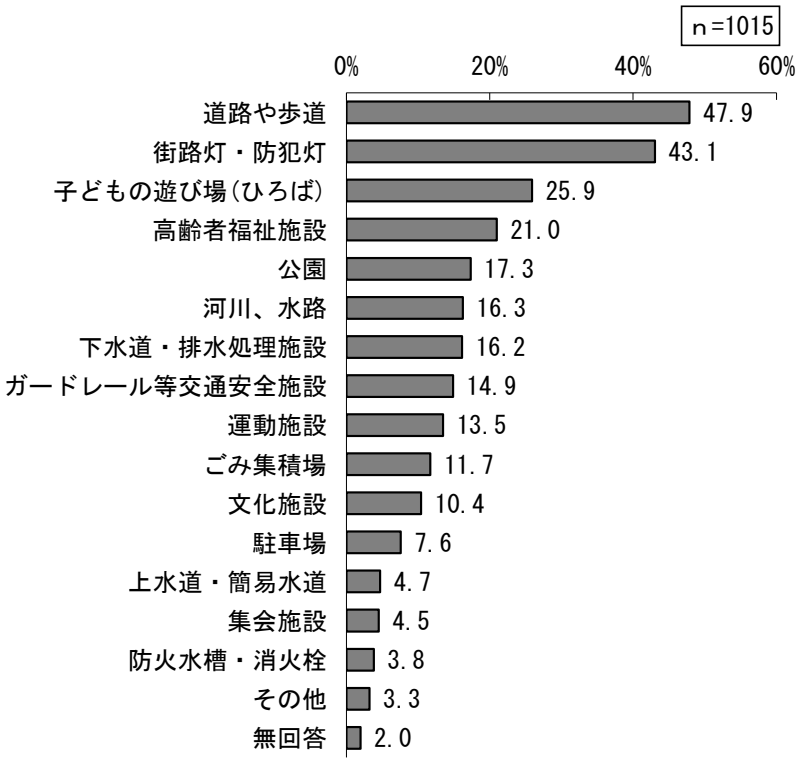
※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

## Ⅱ-6. 生活環境について

問16 あなたのまわりの身近な生活環境を改善しようとする場合、どのような施設の整備が必要だと思いますか。（3 つまで○印）

○ 生活環境改善のために、施設の整備が必要だと思うのは、「道路や歩道」（47.9%）が最も高く、次いで「街路灯・防犯灯」（43.1%）、「子どもの遊び場（ひろば）」（25.9%）と続く。

＊生活環境改善のための施策は、上位２項目「道路や歩道」、「街路灯・防犯灯」が 40%を超えている。




◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 道路や歩道 | 47.9 | 40.9 | 7.0 |
| 街路灯・防犯灯 | 43.1 | 31.5 | 11.6 |
| 子どもの遊び場(ひろば) | 25.9 | 20.8 | 5.1 |
| 高齢者福祉施設 | 21.0 | 20.8 | 0.2 |
| 公園 | 17.3 | 17.6 | -0.3 |
| 河川、水路 | 16.3 | 19.6 | -3.3 |
| 下水道・排水処理施設 | 16.2 | 12.1 | 4.1 |
| ガードレール等交通安全施設 | 14.9 | 14.1 | 0.8 |
| 運動施設 | 13.5 | 13.4 | 0.1 |
| ごみ集積場 | 11.7 | 13.6 | -1.9 |
| 文化施設 | 10.4 | 8.9 | 1.5 |
| 駐車場 | 7.6 | 11.7 | -4.1 |
| 上水道・簡易水道 | 4.7 | 4.5 | 0.2 |
| 集会施設 | 4.5 | 5.7 | -1.2 |
| 防火水槽・消火栓 | 3.8 | 6.5 | -2.7 |

## ◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性は「街路灯・防犯灯」、男性は「道路や歩道」がそれぞれ最も高い。

○　年齢では、40 歳代以下と 60 歳代は「道路や歩道」が最も高い。50 歳代と 70 歳以上は「街路灯・防犯灯」が最も高い。

○　居住地域では、塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに「道路や歩道」が最も高い。

○　居住歴では、すべての居住歴で「道路や歩道」が最も高い。

＊性別の「女性」、年齢の「50 歳代」、「70 歳以上」では、「街路灯・防犯灯」が最も高い。

| | | 回答数（人） | 道路や歩道 | 河川、水路 | ガードレール等交通安全施設 | 上水道・簡易水道 | 下水道・排水処理施設 | 駐車場 | 公園 | 子どもの遊び場（ひろば） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 46.3 | 12.8 | 15.0 | 4.4 | 12.6 | 6.2 | 17.0 | 30.3 |
| | 男性 | 463 | 49.7 | 20.3 | 14.7 | 5.0 | 20.1 | 9.3 | 17.9 | 21.0 |
| 年齢 | 10・20 歳代 | 99 | 52.5 | 10.1 | 17.2 | 0.0 | 7.1 | 13.1 | 27.3 | 34.3 |
| | 30 歳代 | 113 | 55.8 | 12.4 | 16.8 | 4.4 | 15.9 | 3.5 | 26.5 | 43.4 |
| | 40 歳代 | 176 | 51.1 | 5.1 | 18.2 | 3.4 | 13.1 | 6.8 | 22.2 | 34.1 |
| | 50 歳代 | 244 | 45.9 | 21.3 | 13.1 | 7.4 | 17.6 | 8.2 | 15.2 | 18.4 |
| | 60 歳代 | 339 | 44.0 | 21.5 | 12.7 | 5.6 | 20.9 | 6.8 | 11.8 | 19.2 |
| | 70 歳以上 | 36 | 38.9 | 16.7 | 19.4 | 0.0 | 2.8 | 13.9 | 8.3 | 25.0 |

| | | 回答数（人） | 道路や歩道 | 河川、水路 | ガードレール等交通安全施設 | 上水道・簡易水道 | 下水道・排水処理施設 | 駐車場 | 公園 | 子どもの遊び場（ひろば） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 47.2 | 15.1 | 14.8 | 3.8 | 15.2 | 7.7 | 18.5 | 27.8 |
| | 勝沼地域 | 267 | 49.8 | 21.0 | 15.0 | 6.7 | 20.2 | 7.9 | 15.0 | 22.1 |
| | 大和地域 | 34 | 44.1 | 5.9 | 17.6 | 5.9 | 5.9 | 5.9 | 17.6 | 23.5 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 50.7 | 15.9 | 14.5 | 3.1 | 14.5 | 8.3 | 19.3 | 24.1 |
| | 市外居住経験 | 303 | 44.6 | 19.8 | 14.2 | 5.0 | 18.2 | 8.9 | 14.9 | 22.1 |
| | 県内から転入 | 261 | 48.3 | 12.6 | 13.8 | 6.1 | 13.0 | 7.3 | 15.7 | 29.1 |
| | 県外から転入 | 155 | 48.4 | 16.1 | 18.1 | 5.2 | 20.6 | 4.5 | 21.9 | 32.3 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

| | | 集会施設 | 文化施設 | 運動施設 | 高齢者福祉施設 | 街路灯・防犯灯 | 防火水槽・消火栓 | ごみ集積場 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 4.4 | 11.3 | 10.8 | 21.6 | 48.6 | 4.0 | 10.8 | 3.3 | 2.6 |
| | 男性 | 4.5 | 9.5 | 16.8 | 20.1 | 36.3 | 3.7 | 13.0 | 3.2 | 1.3 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 6.1 | 10.1 | 22.2 | 13.1 | 40.4 | 4.0 | 9.1 | 6.1 | 0.0 |
| | 30歳代 | 1.8 | 8.8 | 15.0 | 8.0 | 37.2 | 3.5 | 13.3 | 1.8 | 1.8 |
| | 40歳代 | 3.4 | 9.7 | 19.3 | 14.8 | 43.8 | 0.6 | 12.5 | 4.0 | 1.7 |
| | 50歳代 | 3.7 | 12.7 | 11.5 | 23.8 | 46.7 | 4.5 | 10.7 | 3.3 | 1.2 |
| | 60歳代 | 5.3 | 10.0 | 10.0 | 25.7 | 41.9 | 4.7 | 12.7 | 2.4 | 3.2 |
| | 70歳以上 | 11.1 | 8.3 | 5.6 | 44.4 | 52.8 | 8.3 | 11.1 | 5.6 | 0.0 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 4.4 | 11.4 | 14.8 | 22.0 | 43.0 | 4.3 | 12.1 | 3.1 | 1.8 |
| | 勝沼地域 | 3.7 | 7.1 | 10.9 | 16.9 | 43.8 | 3.0 | 12.0 | 3.7 | 1.9 |
| | 大和地域 | 11.8 | 17.6 | 8.8 | 29.4 | 41.2 | 0.0 | 5.9 | 0.0 | 2.9 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 4.1 | 10.3 | 11.0 | 26.2 | 42.4 | 4.8 | 13.4 | 3.4 | 2.1 |
| | 市外居住経験 | 4.6 | 11.2 | 16.8 | 18.2 | 39.3 | 4.0 | 14.2 | 2.6 | 3.3 |
| | 県内から転入 | 5.7 | 10.7 | 14.6 | 16.9 | 46.7 | 3.4 | 9.6 | 4.6 | 1.1 |
| | 県外から転入 | 2.6 | 9.0 | 9.7 | 23.9 | 43.9 | 2.6 | 7.7 | 1.9 | 0.6 |

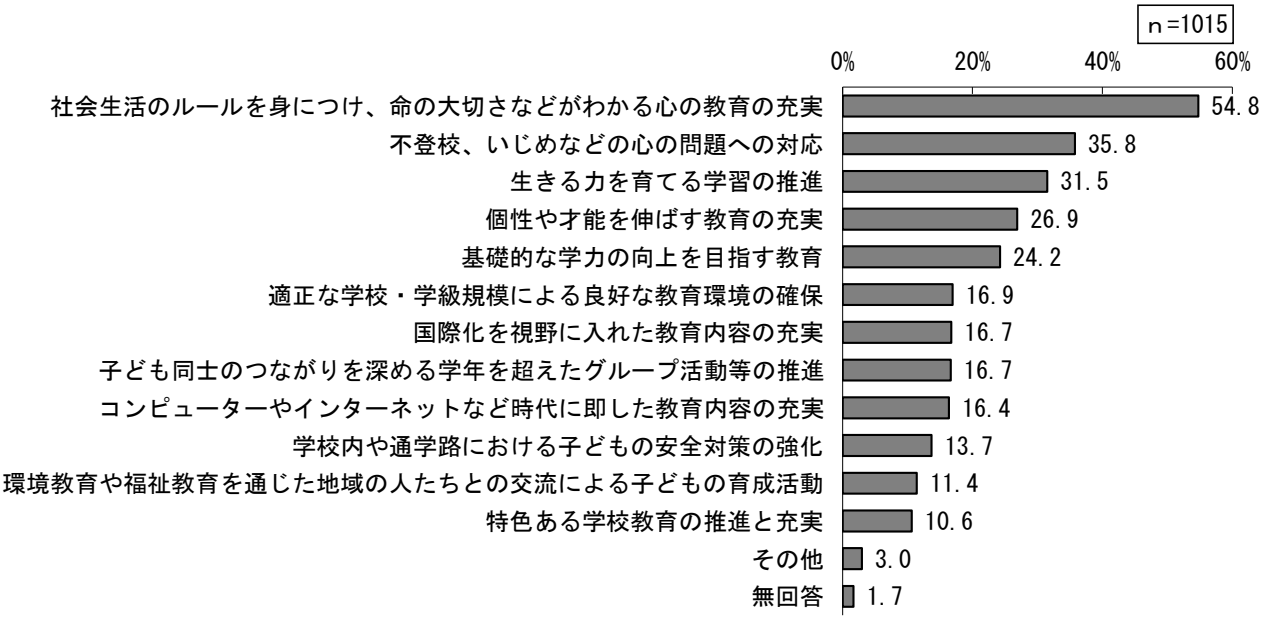
※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

## Ⅱ-7. 教育・文化・スポーツについて

問17 あなたは、学校教育の充実のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで○印）

○ 学校教育の充実ため、力を入れるべきだと思うことは、「社会生活のルールを身につけ、命の大切さなどがわかる心の教育の充実」（54.8%）が最も高く、次いで「不登校、いじめなどの心の問題への対応」（35.8%）、「生きる力を育てる学習の推進」（31.5%）と続く。

＊学校教育の充実ための施策は、最も高い「社会生活のルールを身につけ、命の大切さなどがわかる心の教育の充実」が50%を超えている。




### ◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 国際化を視野に入れた教育内容の充実 | 16.7 | 14.4 | 2.3 |
| 子ども同士のつながりを深める学年を超えたグループ活動等の推進 | 16.7 | 16.4 | 0.3 |
| コンピューターやインターネットなど時代に即した教育内容の充実 | 16.4 | 12.7 | 3.7 |
| 学校内や通学路における子どもの安全対策の強化 | 13.7 | 11.4 | 2.3 |
| 環境教育や福祉教育を通じた地域の人たちとの交流による子どもの育成活動 | 11.4 | 11.2 | 0.2 |
| 特色ある学校教育の推進と充実 | 10.6 | 9.2 | 1.4 |

## ◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性、男性ともに「社会生活のルールを身につけ、命の大切さなどがわかる心の教育の充実」が最も高い。

○　年齢では、すべての年齢で「社会生活のルールを身につけ、命の大切さなどがわかる心の教育の充実」が最も高い。

○　居住地域では、塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに「社会生活のルールを身につけ、命の大切さなどがわかる心の教育の充実」が最も高い。

○　居住歴では、すべての居住歴で「社会生活のルールを身につけ、命の大切さなどがわかる心の教育の充実」が最も高い。

＊大きな差はみられない。

| | | 回答数（人） | 生きる力を育てる学習の推進 | 適正な学校・学級規模による良好な教育環境の確保 | 特色ある学校教育の推進と充実 | 社会生活のルールを身につけ、命の大切さなどがわかる心の教育の充実 | コンピューターやインターネットなど時代に即した教育内容の充実 | 個性や才能を伸ばす教育の充実 | 国際化を視野に入れた教育内容の充実 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 33.3 | 15.9 | 7.5 | 59.0 | 12.4 | 26.7 | 17.0 |
| | 男性 | 463 | 29.8 | 18.1 | 14.3 | 49.7 | 21.0 | 27.2 | 16.6 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 99 | 25.3 | 16.2 | 11.1 | 45.5 | 30.3 | 32.3 | 21.2 |
| | 30歳代 | 113 | 31.9 | 25.7 | 5.3 | 47.8 | 12.4 | 28.3 | 20.4 |
| | 40歳代 | 176 | 31.3 | 16.5 | 9.1 | 54.0 | 19.3 | 26.1 | 19.9 |
| | 50歳代 | 244 | 34.4 | 16.0 | 9.4 | 52.5 | 13.1 | 29.5 | 12.7 |
| | 60歳代 | 339 | 31.6 | 15.3 | 13.6 | 60.5 | 15.0 | 24.8 | 16.5 |
| | 70歳以上 | 36 | 33.3 | 16.7 | 13.9 | 66.7 | 8.3 | 19.4 | 8.3 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 33.2 | 16.3 | 10.9 | 54.7 | 16.1 | 27.4 | 15.8 |
| | 勝沼地域 | 267 | 29.2 | 18.7 | 7.9 | 54.3 | 18.0 | 25.5 | 19.5 |
| | 大和地域 | 34 | 23.5 | 14.7 | 23.5 | 64.7 | 11.8 | 26.5 | 20.6 |
| 居住 | 市内居住のみ | 290 | 31.4 | 15.9 | 10.7 | 58.6 | 17.6 | 26.6 | 16.2 |

| | | 回答数（人） | 生きる力を育てる学習の推進 | 適正な学校・学級規模による良好な教育環境の確保 | 特色ある学校教育の推進と充実 | 社会生活のルールを身につけ、命の大切さなどがわかる心の教育の充実 | コンピューターやインターネットなど時代に即した教育内容の充実 | 個性や才能を伸ばす教育の充実 | 国際化を視野に入れた教育内容の充実 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 市外居住経験 | 303 | 33.3 | 18.5 | 14.2 | 51.8 | 18.5 | 27.1 | 17.5 |
| | 県内から転入 | 261 | 30.7 | 16.9 | 6.9 | 55.6 | 13.4 | 28.7 | 14.2 |
| | 県外から転入 | 155 | 29.7 | 16.1 | 9.7 | 51.6 | 14.8 | 25.2 | 21.3 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

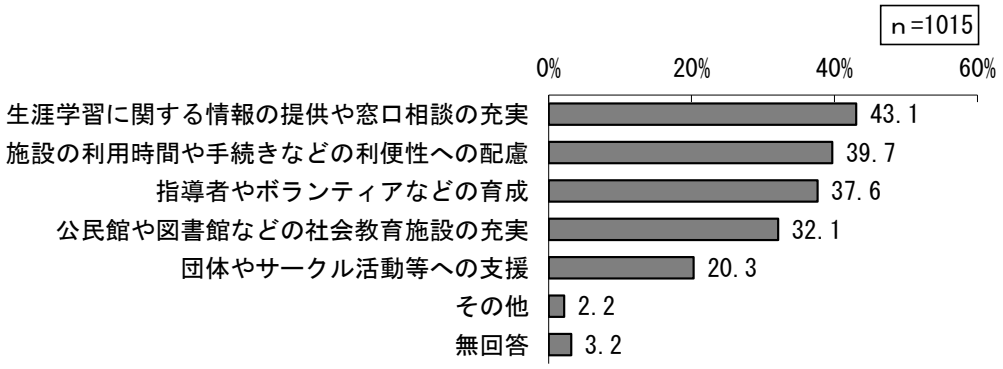
| | | 子ども同士のつながりを深める学年を超えたグループ活動等の推進 | 環境教育や福祉教育を通じた地域の人たちとの交流による子どもの育成活動 | 基礎的な学力の向上を目指す教育 | 不登校、いじめなどの心の問題への対応 | 学校内や通学路における子どもの安全対策の強化 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 17.2 | 9.7 | 25.6 | 39.7 | 13.0 | 2.9 | 1.8 |
| | 男性 | 16.0 | 13.6 | 22.7 | 30.9 | 14.7 | 3.0 | 1.3 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 11.1 | 11.1 | 26.3 | 39.4 | 10.1 | 3.0 | 2.0 |
| | 30歳代 | 18.6 | 11.5 | 23.0 | 38.9 | 11.5 | 3.5 | 1.8 |
| | 40歳代 | 15.3 | 6.8 | 23.9 | 30.7 | 17.6 | 5.7 | 1.1 |
| | 50歳代 | 15.6 | 13.9 | 26.6 | 35.7 | 13.9 | 3.7 | 1.6 |
| | 60歳代 | 18.0 | 13.0 | 24.2 | 35.7 | 12.7 | 1.2 | 0.9 |
| | 70歳以上 | 25.0 | 5.6 | 11.1 | 38.9 | 22.2 | 0.0 | 5.6 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 16.8 | 12.5 | 24.6 | 37.1 | 14.1 | 2.6 | 1.4 |
| | 勝沼地域 | 15.0 | 9.7 | 23.6 | 33.7 | 13.1 | 4.1 | 1.5 |
| | 大和地域 | 29.4 | 5.9 | 23.5 | 23.5 | 11.8 | 2.9 | 0.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 19.3 | 10.3 | 22.4 | 37.9 | 14.5 | 3.1 | 0.7 |
| | 市外居住経験 | 14.5 | 11.6 | 26.4 | 30.4 | 9.9 | 2.0 | 2.0 |
| | 県内から転入 | 15.3 | 11.1 | 26.4 | 37.5 | 19.9 | 3.4 | 0.8 |
| | 県外から転入 | 18.1 | 14.2 | 20.0 | 38.1 | 9.7 | 3.9 | 3.9 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問18 あなたは、生涯学習活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（2つまで○印）

○ 生涯学習活動をより活発にするため、必要だと思うことは、「生涯学習に関する情報の提供や窓口相談の充実」（43.1%）が最も高く、次いで「施設の利用時間や手続きなどの利便性への配慮」（39.7%）、「指導者やボランティアなど育成」（37.6%）と続く。

＊生涯学習活動をより活発にするための施策は、上位４項目「生涯学習に関する情報の提供や窓口相談の充実」、「施設の利用時間や手続きなどの利便性への配慮」、「指導者やボランティアなど育成」、「公民館や図書館などの社会教育施設の充実」が30%を超えている。




◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 第１位の「生涯学習に関する情報の提供や窓口相談の充実」は前回調査と同じ。
○ 前回調査から変化の大きい項目（＋－5ポイント以上）はみられない。

＊大きな変化はみられない。

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 生涯学習に関する情報の提供や窓口相談の充実 | 43.1 | 40.9 | 2.2 |
| 施設の利用時間や手続きなどの利便性への配慮 | 39.7 | 36.7 | 3.0 |
| 指導者やボランティアなどの育成 | 37.6 | 37.2 | 0.4 |
| 公民館や図書館などの社会教育施設の充実 | 32.1 | 28.5 | 3.6 |
| 団体やサークル活動等への支援 | 20.3 | 23.8 | -3.5 |

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性、男性ともに「生涯学習に関する情報の提供や窓口相談の充実」が最も高い。

○　年齢では、40 歳代以下は「施設の利用時間や手続きなどの利便性への配慮」が最も高い。50 歳代と 60 歳代は、「生涯学習に関する情報の提供や窓口相談の充実」が最も高い。70 歳以上は「指導者やボランティアなどの育成」が最も高い。

○　居住地域では、塩山地域は「生涯学習に関する情報の提供や窓口相談の充実」、勝沼地域は「施設の利用時間や手続きなどの利便性への配慮」、大和地域は「指導者やボランティアなど育成」がそれぞれ最も高い。

○　居住歴では、すべての居住歴で「生涯学習に関する情報の提供や窓口相談の充実」が最も高い。

＊年齢の「40 歳代以下」、居住地域の「勝沼地域」では、「施設の利用時間や手続きなどの利便性への配慮」が最も高い。
＊年齢の「70 歳以上」、居住地域の「大和地域」では、「指導者やボランティアなどの育成」が最も高い。

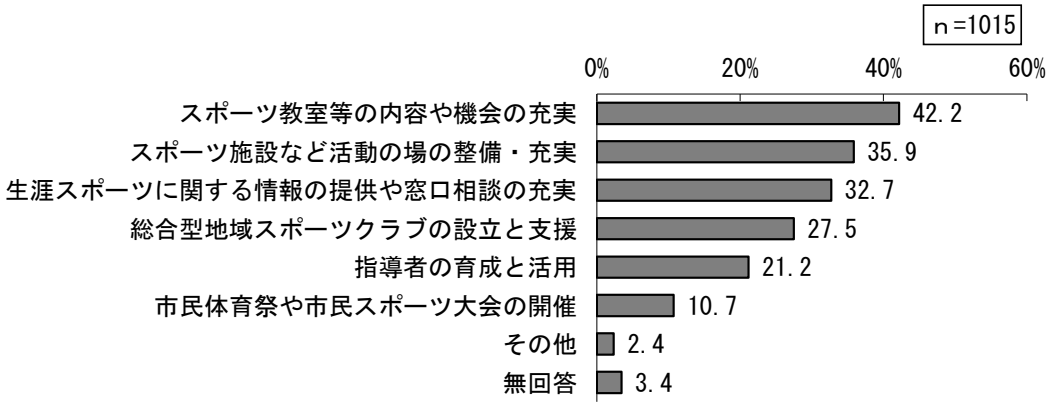
| | | 回答数（人） | 生涯学習に関する情報の提供や窓口相談の充実 | 指導者やボランティアなどの育成 | 公民館や図書館などの社会教育施設の充実 | 施設の利用時間や手続きなどの利便性への配慮 | 団体やサークル活動等への支援 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 44.6 | 36.9 | 35.1 | 40.0 | 17.6 | 1.8 | 3.7 |
| | 男性 | 463 | 41.3 | 38.7 | 28.7 | 39.5 | 23.1 | 2.6 | 2.4 |
| 年齢 | 10・20 歳代 | 99 | 36.4 | 34.3 | 40.4 | 46.5 | 22.2 | 2.0 | 2.0 |
| | 30 歳代 | 113 | 42.5 | 29.2 | 37.2 | 43.4 | 19.5 | 2.7 | 2.7 |
| | 40 歳代 | 176 | 37.5 | 38.1 | 30.7 | 42.0 | 17.6 | 3.4 | 2.8 |
| | 50 歳代 | 244 | 45.1 | 34.4 | 33.2 | 41.4 | 18.9 | 2.5 | 3.3 |
| | 60 歳代 | 339 | 47.8 | 41.9 | 28.9 | 34.8 | 21.8 | 1.5 | 2.9 |
| | 70 歳以上 | 36 | 36.1 | 50.0 | 27.8 | 33.3 | 25.0 | 0.0 | 5.6 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 44.7 | 38.8 | 33.0 | 38.9 | 20.2 | 2.0 | 2.8 |
| | 勝沼地域 | 267 | 41.2 | 33.3 | 31.5 | 42.7 | 18.0 | 2.6 | 2.6 |
| | 大和地域 | 34 | 29.4 | 50.0 | 26.5 | 38.2 | 38.2 | 2.9 | 5.9 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 44.8 | 40.7 | 31.0 | 40.3 | 21.4 | 1.4 | 1.7 |
| | 市外居住経験 | 303 | 44.9 | 40.3 | 27.1 | 40.9 | 16.5 | 2.3 | 3.3 |
| | 県内から転入 | 261 | 38.7 | 33.7 | 33.7 | 37.9 | 25.3 | 2.7 | 3.1 |
| | 県外から転入 | 155 | 43.9 | 34.2 | 41.3 | 40.0 | 16.8 | 2.6 | 4.5 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問19 あなたは、生涯スポーツ活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（2 つまで○印）

○ 生涯スポーツ活動をより活発にしていくため、必要だと思うことは、「スポーツ教室等の内容や機会の充実」（42.2%）が最も高く、次いで「スポーツ施設など活動の場の整備・充実」（35.9%）、「生涯スポーツに関する情報の提供や窓口相談の充実」（32.7%）と続く。

＊生涯スポーツ活動をより活発にしていくための施策は、上位３項目「スポーツ教室等の内容や機会の充実」、「スポーツ施設など活動の場の整備・充実」、「生涯スポーツに関する情報の提供や窓口相談の充実」が 30%を超えている。




◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 順位は前回調査と同じ。

○ 前回調査から変化の大きい項目（＋－5 ポイント以上）はみられない。

＊大きな差はみられない。

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| スポーツ教室等の内容や機会の充実 | 42.2 | 41.2 | 1.0 |
| スポーツ施設など活動の場の整備・充実 | 35.9 | 32.8 | 3.1 |
| 生涯スポーツに関する情報の提供や窓口相談の充実 | 32.7 | 27.8 | 4.9 |
| 総合型地域スポーツクラブの設立と支援 | 27.5 | 25.3 | 2.2 |
| 指導者の育成と活用 | 21.2 | 19.9 | 1.3 |
| 市民体育祭や市民スポーツ大会の開催 | 10.7 | 15.4 | -4.7 |

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性は「スポーツ教室等の内容や機会の充実」、男性は「スポーツ施設など活動の場の整備・充実」がそれぞれ最も高い。

○　年齢では、60 歳代以下は「スポーツ教室等の内容や機会の充実」が最も高い。70 歳以上は「総合型地域スポーツクラブの設立と支援」が最も高い。

○　居住地域では、塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに「スポーツ教室等の内容や機会の充実」が最も高い。

○　居住歴では、県外から転入は「スポーツ施設など活動の場の整備・充実」が最も高い。他の居住歴は「スポーツ教室等の内容や機会の充実」が最も高い。

＊性別の「男性」、居住歴の「県外から転入」では、「スポーツ施設など活動の場の整備・充実」が最も高い。
＊年齢の「70 歳以上」では、「総合型地域スポーツクラブの設立と支援」が最も高い。

| | | 回答数（人） | 生涯スポーツに関する情報の提供や窓口相談の充実 | スポーツ教室等の内容や機会の充実 | 市民体育祭や市民スポーツ大会の開催 | 指導者の育成と活用 | 総合型地域スポーツクラブの設立と支援 | スポーツ施設など活動の場の整備・充実 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 32.7 | 47.9 | 10.2 | 17.7 | 28.5 | 33.6 | 1.1 | 4.4 |
| | 男性 | 463 | 32.8 | 35.4 | 11.4 | 24.8 | 26.6 | 38.7 | 3.7 | 2.2 |
| 年齢 | 10・20 歳代 | 99 | 28.3 | 47.5 | 21.2 | 13.1 | 30.3 | 39.4 | 2.0 | 2.0 |
| | 30 歳代 | 113 | 30.1 | 46.0 | 10.6 | 23.0 | 22.1 | 42.5 | 1.8 | 2.7 |
| | 40 歳代 | 176 | 27.8 | 42.6 | 8.0 | 18.8 | 31.3 | 35.8 | 3.4 | 2.3 |
| | 50 歳代 | 244 | 34.0 | 41.8 | 6.1 | 20.9 | 26.6 | 38.9 | 2.5 | 3.7 |
| | 60 歳代 | 339 | 36.6 | 41.0 | 12.1 | 23.6 | 26.3 | 31.9 | 1.8 | 3.8 |
| | 70 歳以上 | 36 | 30.6 | 30.6 | 16.7 | 25.0 | 41.7 | 22.2 | 2.8 | 5.6 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 33.7 | 43.3 | 9.9 | 20.5 | 28.4 | 36.8 | 2.3 | 3.0 |
| | 勝沼地域 | 267 | 31.8 | 39.3 | 12.4 | 21.7 | 26.2 | 34.8 | 2.6 | 3.4 |
| | 大和地域 | 34 | 26.5 | 47.1 | 14.7 | 23.5 | 23.5 | 29.4 | 0.0 | 5.9 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 34.5 | 43.4 | 12.1 | 24.1 | 24.8 | 35.5 | 1.4 | 2.1 |
| | 市外居住経験 | 303 | 33.7 | 42.9 | 8.9 | 21.1 | 28.4 | 33.3 | 3.3 | 3.0 |
| | 県内から転入 | 261 | 31.4 | 43.3 | 11.5 | 18.8 | 26.4 | 35.2 | 2.3 | 3.8 |
| | 県外から転入 | 155 | 30.3 | 36.8 | 11.0 | 18.7 | 32.9 | 43.9 | 1.9 | 5.2 |

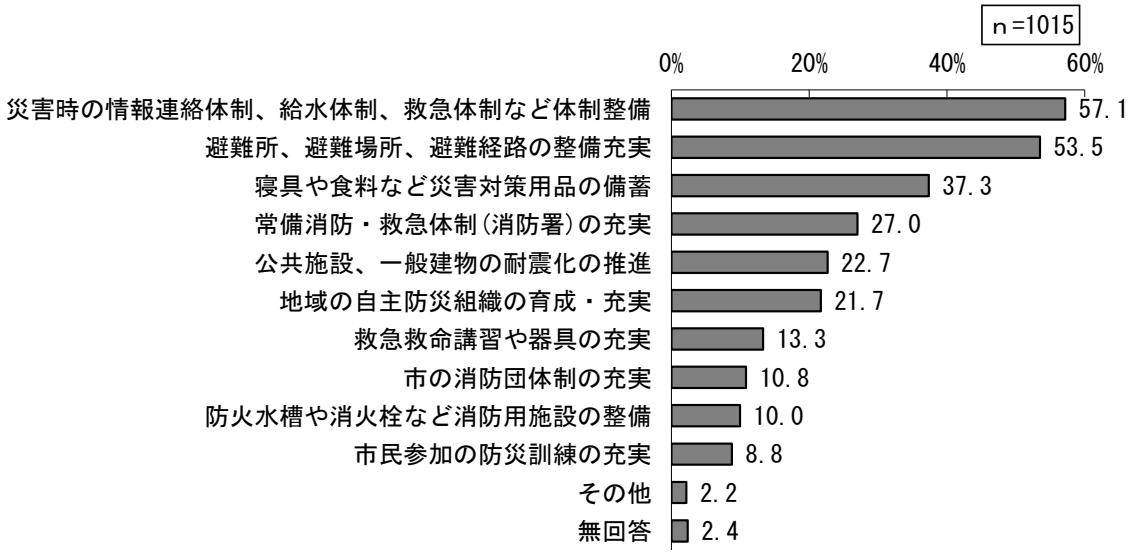
※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

## Ⅱ-8. 消防・防災対策について

問20 あなたは、災害に強いまちづくりに向けた消防・防災対策について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3 つまで○印）

○ 災害に強いまちづくりに向けた消防・防災対策について、力を入れるべきだと思うことは、「災害時の情報連絡体制、給水体制、救急体制など体制整備」（57.1%）が最も高く、次いで「避難所、避難場所、避難経路の整備充実」（53.5%）「寝具や食料など災害対策用品の備蓄」（37.3%）と続く。

＊災害に強いまちづくりに向けた消防・防災対策の施策は、上位２項目「「災害時の情報連絡体制、給水体制、救急体制など体制整備」、「避難所、避難場所、避難経路の整備充実」が50%を超えている。




◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 上位 6 項目は前回調査と同じ。

○ 前回調査から変化の大きい項目（＋－5 ポイント以上）は、「避難所、避難場所、避難経路の整備充実」＋5.4 ポイント、「常備消防・救急体制(消防署)の充実」－5.3 ポイント。

＊「避難所、避難場所、避難経路の整備充実」のポイントが、大きく増えている。
＊「常備消防・救急体制(消防署)の充実」のポイントが、大きく減っている。

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 災害時の情報連絡体制、給水体制、救急体制など体制整備 | 57.1 | 54.6 | 2.5 |
| 避難所、避難場所、避難経路の整備充実 | 53.5 | 48.1 | 5.4 |
| 寝具や食料など災害対策用品の備蓄 | 37.3 | 35.5 | 1.8 |
| 常備消防・救急体制(消防署)の充実 | 27.0 | 32.3 | -5.3 |
| 公共施設、一般建物の耐震化の推進 | 22.7 | 18.1 | 4.6 |

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 地域の自主防災組織の育成・充実 | 21.7 | 16.9 | 4.8 |
| 救急救命講習や器具の充実 | 13.3 | 13.9 | -0.6 |
| 市の消防団体制の充実 | 10.8 | 14.1 | -3.3 |
| 防火水槽や消火栓など消防用施設の整備 | 10.0 | 11.4 | -1.4 |
| 市民参加の防災訓練の充実 | 8.8 | 11.7 | -2.9 |

## ◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性は「災害時の情報連絡体制、給水体制、救急体制など体制整備」、男性は「避難所、避難場所、避難経路の整備充実」がそれぞれ最も高い。

○　年齢では、30 歳代以下は「避難所、避難場所、避難経路の整備充実」が最も高い。40 歳代から 60 歳代は「災害時の情報連絡体制、給水体制、救急体制など体制整備」が最も高い。70 歳代以上は「避難所、避難場所、避難経路の整備充実」と「災害時の情報連絡体制、給水体制、救急体制など体制整備」が最も高い。

○　居住地域では、塩山地域は「災害時の情報連絡体制、給水体制、救急体制など体制整備」が最も高い。勝沼地域、大和地域は「避難所、避難場所、避難経路の整備充実」が最も高い。

○　居住歴では、市内居住のみは「避難所、避難場所、避難経路の整備充実」が最も高い。他の居住歴は「災害時の情報連絡体制、給水体制、救急体制など体制整備」が最も高い。

＊性別の「男性」、年齢の「30 歳代以下」、居住地域の「勝沼地域」、「大和地域」、居住歴の「市内居住のみ」では、「避難所、避難場所、避難経路の整備充実」が最も高い。
＊年齢の「70 歳代以上」では、「避難所、避難場所、避難経路の整備充実」と「災害時の情報連絡体制、給水体制、救急体制など体制整備」が最も高い。

| | | 回答数（人） | 常備消防・救急体制（消防署）の充実 | 市の消防団体制の充実 | 避難所、避難場所、避難経路の整備充実 | 寝具や食料など災害対策用品の備蓄 | 災害時の情報連絡体制、給水体制、救急体制など体制整備 | 地域の自主防災組織の育成・充実 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 26.5 | 6.6 | 55.2 | 41.1 | 62.3 | 20.5 |
| | 男性 | 463 | 27.6 | 15.8 | 51.6 | 33.0 | 51.0 | 23.3 |
| 年齢 | 10・20 歳代 | 99 | 18.2 | 7.1 | 58.6 | 47.5 | 48.5 | 13.1 |
| | 30 歳代 | 113 | 21.2 | 12.4 | 54.0 | 52.2 | 49.6 | 15.0 |
| | 40 歳代 | 176 | 26.1 | 8.5 | 50.6 | 43.8 | 52.8 | 17.6 |
| | 50 歳代 | 244 | 33.6 | 11.5 | 48.0 | 35.7 | 59.4 | 23.4 |
| | 60 歳代 | 339 | 27.4 | 11.8 | 57.8 | 28.6 | 63.4 | 26.5 |
| | 70 歳以上 | 36 | 25.0 | 13.9 | 52.8 | 30.6 | 52.8 | 27.8 |
| 住居 | 塩山地域 | 704 | 25.6 | 9.7 | 54.4 | 39.2 | 60.4 | 21.2 |

| | | 回答数（人） | 常備消防・救急体制（消防署）の充実 | 市の消防団体制の充実 | 避難所、避難場所、避難経路の整備充実 | 寝具や食料など災害対策用品の備蓄 | 災害時の情報連絡体制、給水体制、救急体制など体制整備 | 地域の自主防災組織の育成・充実 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 勝沼地域 | 267 | 28.5 | 13.1 | 51.7 | 34.5 | 51.3 | 22.5 |
| | 大和地域 | 34 | 44.1 | 17.6 | 52.9 | 29.4 | 38.2 | 29.4 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 27.2 | 12.8 | 56.9 | 36.2 | 51.7 | 24.1 |
| | 市外居住経験 | 303 | 28.1 | 10.6 | 51.5 | 34.3 | 57.1 | 21.1 |
| | 県内から転入 | 261 | 26.8 | 10.0 | 55.2 | 42.5 | 59.8 | 19.5 |
| | 県外から転入 | 155 | 25.2 | 9.0 | 48.4 | 36.8 | 63.2 | 21.9 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

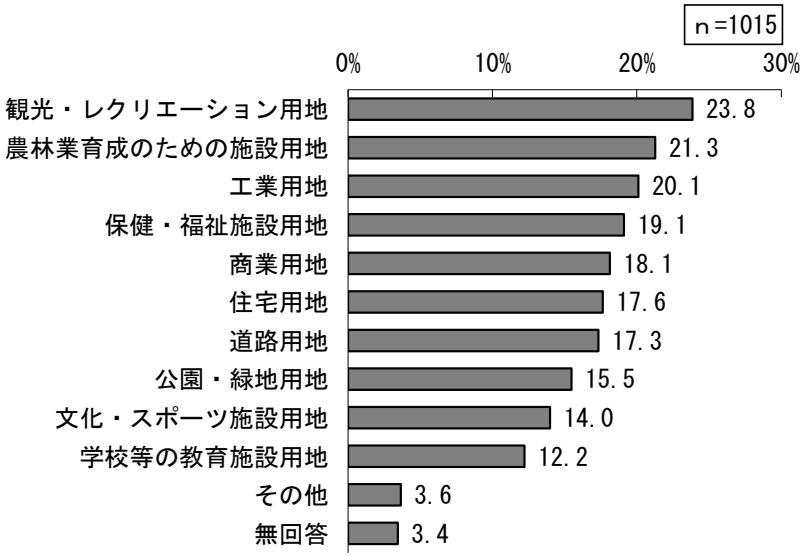
| | | 公共施設、一般建物の耐震化の推進 | 市民参加の防災訓練の充実 | 救急救命講習や器具の充実 | 防火水槽や消火栓など消防用施設の整備 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 23.0 | 7.7 | 13.7 | 8.6 | 1.1 | 2.6 |
| | 男性 | 22.2 | 10.2 | 12.7 | 11.7 | 3.2 | 1.9 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 35.4 | 10.1 | 19.2 | 7.1 | 2.0 | 2.0 |
| | 30歳代 | 28.3 | 8.8 | 18.6 | 11.5 | 0.0 | 1.8 |
| | 40歳代 | 24.4 | 9.1 | 14.8 | 6.8 | 4.0 | 2.3 |
| | 50歳代 | 20.5 | 6.6 | 10.2 | 11.9 | 3.7 | 1.6 |
| | 60歳代 | 18.6 | 9.1 | 12.1 | 9.1 | 0.9 | 2.7 |
| | 70歳以上 | 19.4 | 16.7 | 2.8 | 22.2 | 0.0 | 2.8 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 23.6 | 8.1 | 12.6 | 10.2 | 1.7 | 2.1 |
| | 勝沼地域 | 21.7 | 10.1 | 15.4 | 9.7 | 3.0 | 1.9 |
| | 大和地域 | 14.7 | 14.7 | 8.8 | 5.9 | 2.9 | 2.9 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 22.4 | 10.3 | 14.1 | 11.0 | 0.7 | 1.7 |
| | 市外居住経験 | 24.8 | 10.2 | 12.2 | 9.6 | 3.0 | 2.3 |
| | 県内から転入 | 21.1 | 5.4 | 13.0 | 11.1 | 1.5 | 1.1 |
| | 県外から転入 | 21.9 | 9.0 | 14.2 | 7.1 | 3.9 | 5.2 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

## Ⅱ-9. 土地利用、道路・交通について

問21 市の発展に向けて、計画的な土地の利用を進めていくことが必要になりますが、あなたは、今後、優先的に整備していくとしたらどの用地だと思いますか。（2 つまで○印）

○ 市の発展に向けた土地利用について、優先的に整備すべきだと思う用地は、「観光・レクリエーション用地」（23.8%）が最も高く、次いで「農林業育成のための施設用地」（21.3%）、「工業用地」（20.1%）と続く。




＊市の発展に向けた土地利用については、上位３項目「観光・レクリエーション用地」、「農林業育成のための施設用地」、「工業用地」が 20%を超えている。

◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 上位 2 項目は前回調査と同じ。

○ 前回調査から変化の大きい項目（＋－5 ポイント以上）はみられない。

＊大きな差はみられない。

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 観光・レクリエーション用地 | 23.8 | 20.3 | 3.5 |
| 農林業育成のための施設用地 | 21.3 | 19.4 | 1.9 |
| 工業用地 | 20.1 | 15.9 | 4.2 |
| 保健・福祉施設用地 | 19.1 | 18.6 | 0.5 |
| 商業用地 | 18.1 | 17.4 | 0.7 |
| 住宅用地 | 17.6 | 15.6 | 2.0 |
| 道路用地 | 17.3 | 16.9 | 0.4 |
| 公園・緑地用地 | 15.5 | 16.4 | -0.9 |
| 文化・スポーツ施設用地 | 14.0 | 14.1 | -0.1 |
| 学校等の教育施設用地 | 12.2 | 14.4 | -2.2 |

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性は「観光・レクリエーション用地」、男性は「工業用地」がそれぞれ最も高い。

○　年齢では、40 歳代以下は「観光・レクリエーション用地」が最も高い。50 歳代は「工業用地」、60 歳代は「農林業育成のための施設用地」、70 歳代以上は「保健・福祉施設用地」がそれぞれ最も高い。

○　居住地域では、塩山地域、勝沼地域は「観光・レクリエーション用地」が最も高い。大和地域は「住宅用地」が最も高い。

○　居住歴では、市内居住のみ、県外から転入は「観光・レクリエーション用地」が最も高い。市外居住経験は「農林業育成のための施設用地」、県内から転入は「住宅用地」がそれぞれ最も高い。

＊性別の「女性」、年齢の「40 歳代以下」、居住地域の「塩山地域」、「勝沼地域」、居住歴の「市内居住のみ」、「県外から転入」では、「観光・レクリエーション用地」が最も高い。
＊性別の「男性」、年齢の「50 歳代」では、「工業用地」が最も高い。
＊年齢の「60 歳代」、居住歴の「市外居住経験」では、「農林業育成のための施設用地」が最も高い。
＊年齢の「70 歳代以上」では、「保健・福祉施設用地」が最も高い。
＊居住地域の「大和地域」、居住歴の「県内から転入」では、「住宅用地」が最も高い。

| | | 回答数（人） | 住宅用地 | 農林業育成のための施設用地 | 工業用地 | 商業用地 | 観光・レクリエーション用地 | 公園・緑地用地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 16.5 | 20.7 | 16.6 | 20.3 | 23.8 | 16.6 |
| | 男性 | 463 | 19.2 | 21.6 | 24.4 | 15.8 | 24.0 | 14.0 |
| 年齢 | 10・20 歳代 | 99 | 20.2 | 18.2 | 8.1 | 22.2 | 32.3 | 20.2 |
| | 30 歳代 | 113 | 23.0 | 21.2 | 10.6 | 21.2 | 23.9 | 23.0 |
| | 40 歳代 | 176 | 24.4 | 20.5 | 14.2 | 22.2 | 25.6 | 17.6 |
| | 50 歳代 | 244 | 17.6 | 15.2 | 26.6 | 16.0 | 20.5 | 11.9 |
| | 60 歳代 | 339 | 12.4 | 26.3 | 25.1 | 15.9 | 23.6 | 13.3 |
| | 70 歳以上 | 36 | 13.9 | 27.8 | 25.0 | 16.7 | 19.4 | 11.1 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 16.3 | 20.0 | 22.7 | 18.9 | 23.2 | 16.9 |
| | 勝沼地域 | 267 | 18.4 | 22.5 | 13.1 | 17.6 | 27.3 | 12.4 |
| | 大和地域 | 34 | 41.2 | 35.3 | 17.6 | 8.8 | 14.7 | 11.8 |

| | | 回答数（人） | 住宅用地 | 農林業育成のための施設用地 | 工業用地 | 商業用地 | 観光・レクリエーション用地 | 公園・緑地用地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 16.9 | 20.0 | 22.4 | 19.0 | 26.9 | 15.5 |
| | 市外居住経験 | 303 | 18.2 | 23.8 | 21.1 | 17.2 | 22.4 | 11.2 |
| | 県内から転入 | 261 | 21.5 | 19.2 | 19.5 | 17.6 | 19.2 | 18.0 |
| | 県外から転入 | 155 | 11.6 | 21.9 | 15.5 | 20.0 | 29.0 | 19.4 |

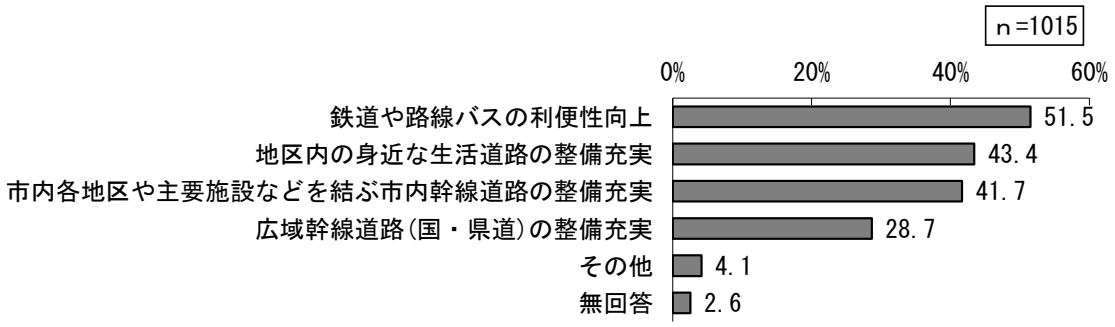
※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

| | | 道路用地 | 学校等の教育施設用地 | 文化・スポーツ施設用地 | 保健・福祉施設用地 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 15.7 | 13.2 | 12.6 | 22.3 | 3.3 | 4.4 |
| | 男性 | 19.4 | 11.0 | 15.8 | 15.3 | 3.9 | 2.2 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 14.1 | 14.1 | 19.2 | 14.1 | 3.0 | 2.0 |
| | 30歳代 | 13.3 | 16.8 | 15.0 | 14.2 | 3.5 | 1.8 |
| | 40歳代 | 14.8 | 14.2 | 15.9 | 16.5 | 3.4 | 2.3 |
| | 50歳代 | 21.3 | 7.8 | 13.5 | 23.0 | 4.9 | 2.5 |
| | 60歳代 | 18.3 | 12.1 | 12.4 | 18.9 | 2.9 | 4.7 |
| | 70歳以上 | 13.9 | 13.9 | 8.3 | 33.3 | 2.8 | 8.3 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 16.3 | 11.5 | 14.8 | 19.7 | 3.1 | 3.7 |
| | 勝沼地域 | 19.1 | 14.6 | 13.1 | 19.1 | 4.1 | 2.2 |
| | 大和地域 | 26.5 | 8.8 | 8.8 | 11.8 | 8.8 | 0.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 19.3 | 12.1 | 13.4 | 18.3 | 4.1 | 2.4 |
| | 市外居住経験 | 13.5 | 10.6 | 19.8 | 19.5 | 3.3 | 3.3 |
| | 県内から転入 | 21.1 | 13.8 | 9.6 | 20.3 | 3.1 | 3.1 |
| | 県外から転入 | 15.5 | 12.3 | 11.0 | 18.1 | 3.9 | 5.8 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問22 あなたは、甲州市及びその周辺ではどのような道路、交通手段が必要と考えますか。（2つまで○印）

○ 甲州市及びその周辺で必要だと思う道路、交通手段は、「鉄道や路線バスの利便性向上」（51.5%）が最も高く、次いで「地区内の身近な生活道路の整備充実」（43.4%）、「市内各地区や主要施設などを結ぶ市内幹線道路の整備充実」（41.7%）と続く。




＊甲州市及びその周辺で必要だと思う道路、交通手段は、上位３項目「鉄道や路線バスの利便性向上」、「地区内の身近な生活道路の整備充実」、「市内各地区や主要施設などを結ぶ市内幹線道路の整備充実」が40%を超えている。

◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 順位は前回調査と同じ。

○ 前回調査から変化の大きい項目（＋－5ポイント以上）は、「鉄道や路線バスの利便性向上」＋7.3ポイント。

＊「鉄道や路線バスの利便性向上」のポイントが、大きく増えている。

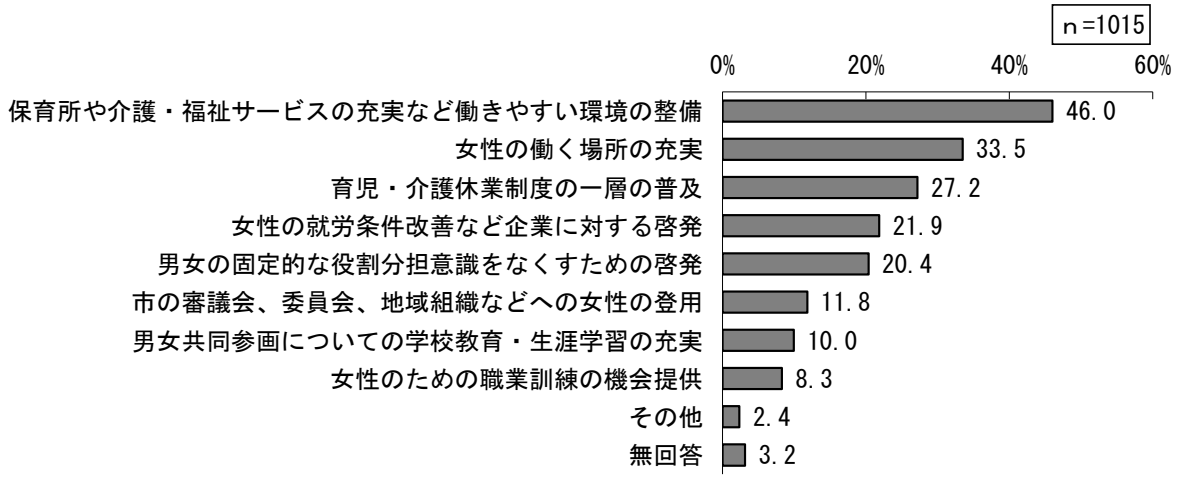
| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 鉄道や路線バスの利便性向上 | 51.5 | 44.2 | 7.3 |
| 地区内の身近な生活道路の整備充実 | 43.4 | 42.4 | 1.0 |
| 市内各地区や主要施設などを結ぶ市内幹線道路の整備充実 | 41.7 | 41.4 | 0.3 |
| 広域幹線道路(国・県道)の整備充実 | 28.7 | 28.3 | 0.4 |

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇

## Ⅱ-10. 男女共同参画について

問23 あなたは、男女共同参画社会を形成するため、どのような取り組みが必要だと思いますか。
（2つまで○印）

○ 男女共同参画社会を形成するため、必要だと思う取り組みは、「保育所や介護・福祉サービスの充実など働きやすい環境の整備」（46.0%）が最も高く、次いで「女性の働く場所の充実」（33.5%）、「育児・介護休業制度の一層の普及」（27.2%）と続く。




＊男女共同参画社会を形成するための取り組みは、上位２項目「保育所や介護・福祉サービスの充実など働きやすい環境の整備」、「女性の働く場所の充実」が30%を超えている。

### ◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 上位3項目は前回調査と同じ。

○ 前回調査から変化の大きい項目（＋－5ポイント以上）は、「女性の就労条件改善など企業に対する啓発」＋5.5ポイント。

＊「女性の就労条件改善など企業に対する啓発」のポイントが、大きく増えている。

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 保育所や介護・福祉サービスの充実など働きやすい環境の整備 | 46.0 | 45.4 | 0.6 |
| 女性の働く場所の充実 | 33.5 | 29.8 | 3.7 |
| 育児・介護休業制度の一層の普及 | 27.2 | 27.3 | -0.1 |
| 女性の就労条件改善など企業に対する啓発 | 21.9 | 16.4 | 5.5 |
| 男女の固定的な役割分担意識をなくすための啓発 | 20.4 | 18.4 | 2.0 |
| 市の審議会、委員会、地域組織などへの女性の登用 | 11.8 | 13.9 | -2.1 |
| 男女共同参画についての学校教育・生涯学習の充実 | 10.0 | 7.4 | 2.6 |
| 女性のための職業訓練の機会提供 | 8.3 | 9.2 | -0.9 |

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性、男性ともに「保育所や介護・福祉サービスの充実など働きやすい環境の整備」が最も高い。

○　年齢では、すべての年齢で「保育所や介護・福祉サービスの充実など働きやすい環境の整備」が最も高い。

○　居住地域では、塩山地域、勝沼地域は「保育所や介護・福祉サービスの充実など働きやすい環境の整備」が最も高い。大和地域は「男女の固定的な役割分担意識をなくすための啓発」が最も高い。

○　居住歴では、すべての居住歴で「保育所や介護・福祉サービスの充実など働きやすい環境の整備」が最も高い。

＊居住地域の「大和地域」では、「男女の固定的な役割分担意識をなくすための啓発」が最も高い。

| | | 回答数（人） | 女性の働く場所の充実 | 保育所や介護・福祉サービスの充実など働きやすい環境の整備 | 育児・介護休業制度の一層の普及 | 女性の就労条件改善など企業に対する啓発 | 女性のための職業訓練の機会提供 | 男女の固定的な役割分担意識をなくすための啓発 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 32.7 | 46.8 | 28.7 | 23.6 | 9.5 | 20.5 |
| | 男性 | 463 | 34.6 | 45.1 | 25.3 | 19.9 | 6.7 | 20.5 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 99 | 35.4 | 45.5 | 43.4 | 18.2 | 3.0 | 22.2 |
| | 30歳代 | 113 | 38.1 | 40.7 | 34.5 | 23.9 | 7.1 | 20.4 |
| | 40歳代 | 176 | 33.0 | 46.0 | 21.6 | 20.5 | 15.9 | 13.1 |
| | 50歳代 | 244 | 34.0 | 50.8 | 26.2 | 21.3 | 7.0 | 23.8 |
| | 60歳代 | 339 | 33.0 | 44.0 | 25.1 | 22.7 | 7.7 | 21.5 |
| | 70歳以上 | 36 | 13.9 | 50.0 | 13.9 | 30.6 | 5.6 | 19.4 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 34.9 | 47.0 | 27.1 | 22.4 | 9.2 | 20.5 |
| | 勝沼地域 | 267 | 31.5 | 47.2 | 27.7 | 21.0 | 5.2 | 19.5 |
| | 大和地域 | 34 | 20.6 | 17.6 | 26.5 | 20.6 | 11.8 | 32.4 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 38.6 | 46.2 | 31.0 | 20.3 | 5.2 | 17.2 |
| | 市外居住経験 | 303 | 31.7 | 45.9 | 23.4 | 21.5 | 7.6 | 23.1 |
| | 県内から転入 | 261 | 33.0 | 45.2 | 28.4 | 23.8 | 11.9 | 20.3 |
| | 県外から転入 | 155 | 29.0 | 47.7 | 24.5 | 22.6 | 9.7 | 21.3 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

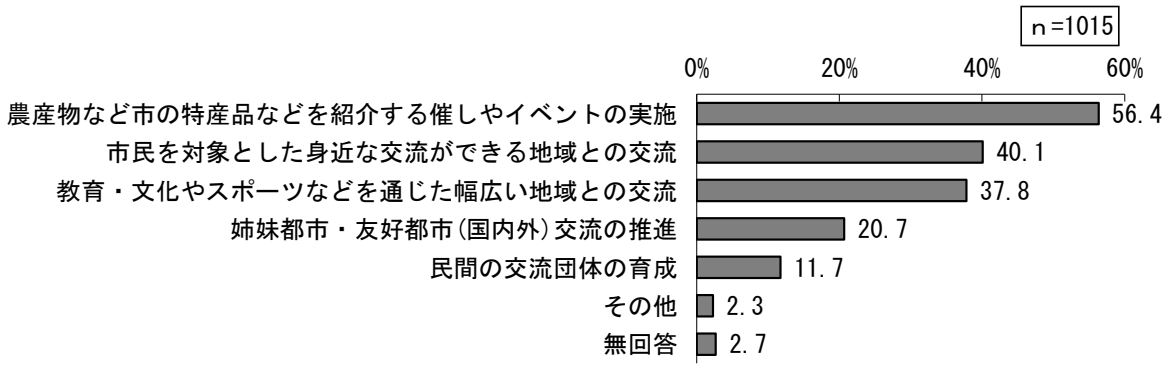
| | | 市の審議会、委員会、地域組織などへの女性の登用 | 男女共同参画についての学校教育・生涯学習の充実 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 10.8 | 9.1 | 1.6 | 3.1 |
| | 男性 | 13.2 | 10.8 | 3.2 | 3.0 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 6.1 | 12.1 | 2.0 | 1.0 |
| | 30歳代 | 4.4 | 6.2 | 6.2 | 0.9 |
| | 40歳代 | 10.2 | 12.5 | 2.8 | 2.8 |
| | 50歳代 | 10.7 | 10.2 | 1.2 | 2.0 |
| | 60歳代 | 15.9 | 9.7 | 1.8 | 4.4 |
| | 70歳以上 | 30.6 | 5.6 | 2.8 | 8.3 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 12.4 | 8.4 | 2.0 | 2.6 |
| | 勝沼地域 | 9.7 | 13.5 | 3.4 | 3.0 |
| | 大和地域 | 20.6 | 17.6 | 2.9 | 5.9 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 11.7 | 11.0 | 1.7 | 2.8 |
| | 市外居住経験 | 11.9 | 8.6 | 2.6 | 3.6 |
| | 県内から転入 | 10.0 | 10.3 | 2.7 | 1.5 |
| | 県外から転入 | 15.5 | 10.3 | 2.6 | 4.5 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

## Ⅱ-11. 地域間交流について

問24 あなたは、市内外との地域間交流について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2 つまで○印）

○ 市内外との地域間交流について、今後必要だと思う取り組みは、「農作物など市の特産品などを紹介する催しやイベントの実施」（56.4%）が最も高く、次いで「市民を対象とした身近な交流ができる地域との交流」（40.1%）、「教育・文化やスポーツなどを通じた幅広い地域との交流」（37.8%）と続く。




＊市内外との地域間交流についての取り組みは、上位３項目「農作物など市の特産品などを紹介する催しやイベントの実施」、「市民を対象とした身近な交流ができる地域との交流」、「教育・文化やスポーツなどを通じた幅広い地域との交流」が 30%を超えている。

### ◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 順位は前回調査と同じ。

○ 前回調査から変化の大きい項目（＋－5 ポイント以上）はみられない。

＊大きな差はみられない。

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 農産物など市の特産品などを紹介する催しやイベントの実施 | 56.4 | 53.1 | 3.3 |
| 市民を対象とした身近な交流ができる地域との交流 | 40.1 | 41.7 | -1.6 |
| 教育・文化やスポーツなどを通じた幅広い地域との交流 | 37.8 | 34.5 | 3.3 |
| 姉妹都市・友好都市(国内外)交流の推進 | 20.7 | 17.6 | 3.1 |
| 民間の交流団体の育成 | 11.7 | 10.2 | 1.5 |

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性、男性ともに「農産物など市の特産品などを紹介する催しやイベントの実施」が最も高い。

○　年齢では、60 歳代以下は「農作物など市の特産品などを紹介する催しやイベントの実施」が最も高い。70 歳以上は「市民を対象とした身近な交流ができる地域との交流」が最も高い。

○　居住地域では、塩山地域、勝沼地域は「農作物など市の特産品などを紹介する催しやイベントの実施」が最も高い。大和地域は「市民を対象とした身近な交流ができる地域との交流」が最も高い。

○　居住歴では、すべての居住歴で「農作物など市の特産品などを紹介する催しやイベントの実施」が最も高い。

＊年齢の「70 歳以上」、居住地域の「大和地域」では、「市民を対象とした身近な交流ができる地域との交流」が最も高い。

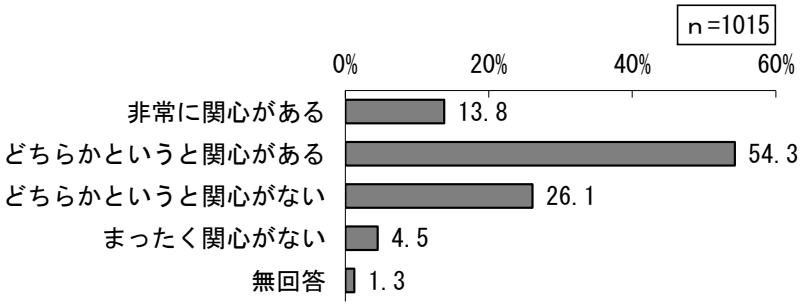
| | | 回答数（人） | 姉妹都市・友好都市（国内外）交流の推進 | 市民を対象とした身近な交流ができる地域との交流 | 教育・文化やスポーツなどを通じた幅広い地域との交流 | 農産物など市の特産品などを紹介する催しやイベントの実施 | 民間の交流団体の育成 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 20.7 | 38.6 | 37.5 | 61.1 | 10.6 | 1.3 | 2.0 |
| | 男性 | 463 | 20.7 | 42.1 | 38.4 | 50.5 | 13.2 | 3.5 | 3.2 |
| 年齢 | 10・20 歳代 | 99 | 34.3 | 25.3 | 41.4 | 58.6 | 9.1 | 3.0 | 2.0 |
| | 30 歳代 | 113 | 24.8 | 42.5 | 31.9 | 51.3 | 12.4 | 2.7 | 1.8 |
| | 40 歳代 | 176 | 25.0 | 28.4 | 41.5 | 58.0 | 9.1 | 2.8 | 1.1 |
| | 50 歳代 | 244 | 16.8 | 37.7 | 41.8 | 57.4 | 14.3 | 2.5 | 0.8 |
| | 60 歳代 | 339 | 16.5 | 50.1 | 35.1 | 56.0 | 12.1 | 1.5 | 4.4 |
| | 70 歳以上 | 36 | 16.7 | 58.3 | 27.8 | 52.8 | 8.3 | 2.8 | 5.6 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 20.5 | 40.6 | 40.1 | 56.4 | 11.5 | 2.0 | 2.6 |
| | 勝沼地域 | 267 | 22.5 | 38.2 | 32.2 | 57.3 | 12.0 | 2.6 | 2.2 |
| | 大和地域 | 34 | 17.6 | 50.0 | 44.1 | 47.1 | 17.6 | 2.9 | 0.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 23.1 | 46.2 | 34.5 | 54.8 | 14.1 | 1.4 | 2.4 |
| | 市外居住経験 | 303 | 18.5 | 37.0 | 41.6 | 55.8 | 11.2 | 3.0 | 2.6 |
| | 県内から転入 | 261 | 18.0 | 39.5 | 37.2 | 61.7 | 8.8 | 1.9 | 1.1 |
| | 県外から転入 | 155 | 25.2 | 36.1 | 38.1 | 51.0 | 13.5 | 3.2 | 5.2 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

# Ⅱ-12. 広聴・広報、市民参画、情報化などについて

問25 あなたは、市政にどの程度関心がありますか。（1 つに○印）

○ 市政への関心の程度は、『関心がある』（「非常に関心がある」＋「どちらかというと関心がある」が 68.1%、『関心がない』（「どちらかというと関心がない」＋「まったく関心がない」）が 30.6%となっている。




＊市政への関心の程度は、最も高い「どちらかというと関心がある」が 50%を超えている。

◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 前回調査からは『関心がある』は＋3.8 ポイント、『関心がない』は－0.9 ポイント。

＊「どちらかというと関心がある」のポイントが、大きく増えている。

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 非常に関心がある | 13.8 | 15.4 | -1.6 |
| どちらかというと関心がある | 54.3 | 48.9 | 5.4 |
| どちらかというと関心がない | 26.1 | 28.3 | -2.2 |
| まったく関心がない | 4.5 | 3.2 | 1.3 |
| 関心がある | 68.1 | 64.3 | 3.8 |
| 関心がない | 30.6 | 31.5 | -0.9 |

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、『関心がある』は女性、男性ともに60%を超える。
○　年齢では、『関心がある』は54.5%（10・20歳代）から77.8%（70歳以上）まで、すべての年齢層で50%を超える。
○　居住地域では、『関心がある』は塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに60%を超える。
○　居住歴では、『関心がある』はすべての居住歴で60%を超える。

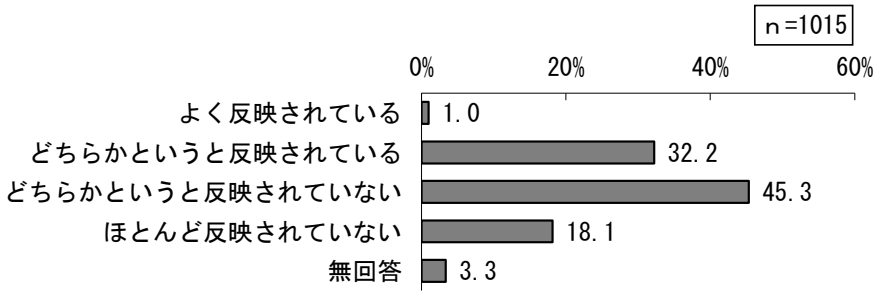
＊年齢の「10・20歳代」、「40歳代」の『関心がある』では、60%を下回っている。

| | | 回答数（人） | 『関心がある』 | | 『関心がない』 | | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 非常に関心がある | どちらかというと関心がある | どちらかというと関心がない | まったく関心がない | |
| 性別 | 女性 | 547 | 9.3 | 56.9 | 29.6 | 3.1 | 1.1 |
| | 男性 | 463 | 18.8 | 51.8 | 22.0 | 6.0 | 1.3 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 99 | 11.1 | 43.4 | 38.4 | 7.1 | 0.0 |
| | 30歳代 | 113 | 9.7 | 53.1 | 28.3 | 7.1 | 1.8 |
| | 40歳代 | 176 | 11.9 | 47.7 | 33.0 | 6.8 | 0.6 |
| | 50歳代 | 244 | 10.2 | 60.2 | 26.6 | 2.9 | 0.0 |
| | 60歳代 | 339 | 18.0 | 57.8 | 19.8 | 2.7 | 1.8 |
| | 70歳以上 | 36 | 27.8 | 50.0 | 11.1 | 5.6 | 5.6 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 13.9 | 54.7 | 26.1 | 4.3 | 1.0 |
| | 勝沼地域 | 267 | 13.9 | 53.9 | 27.0 | 4.1 | 1.1 |
| | 大和地域 | 34 | 11.8 | 55.9 | 23.5 | 8.8 | 0.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 15.5 | 49.3 | 27.2 | 6.6 | 1.4 |
| | 市外居住経験 | 303 | 17.8 | 56.4 | 20.5 | 4.3 | 1.0 |
| | 県内から転入 | 261 | 8.8 | 57.9 | 30.3 | 2.7 | 0.4 |
| | 県外から転入 | 155 | 11.0 | 54.2 | 28.4 | 3.9 | 2.6 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問26 あなたは、市民の声がどの程度行政に反映されていると思いますか。（1 つに○印）

○ 市民の声が行政に反映されていると思う程度は、『反映されている』（「よく反映されている」＋「どちらかというと反映されている」）が 33.2%、『反映されていない』（「どちらかというと反映されていない」＋「ほとんど反映されていない」）が 63.4%となっている。




＊市民の声が行政に反映されていると思う程度は、『反映されていない』が 60%を超えている。

◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 前回調査からは『反映されている』は＋3.2 ポイント、『反映されていない』は＋1.1 ポイント。

＊大きな差はみられない。

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| よく反映されている | 1.0 | 1.5 | -0.5 |
| どちらかというと反映されている | 32.2 | 28.5 | 3.7 |
| どちらかというと反映されていない | 45.3 | 45.7 | -0.4 |
| ほとんど反映されていない | 18.1 | 16.6 | 1.5 |
| 反映されている | 33.2 | 30.0 | 3.2 |
| 反映されていない | 63.4 | 62.3 | 1.1 |

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、『反映されている』は女性、男性ともに30%台である。

○　年齢では、『反映されている』は22.2%（70歳以上）から38.7%（40歳代）まで、すべての年齢層で50%を下回る。

○　居住地域では、『反映されている』は塩山地域35.2%、勝沼地域30.7%、大和地域14.7%と、地域差がみられる。

○　居住歴では、『反映されている』は26.4%（県外から転入）から37.6%（市外居住経験）まで、すべての居住歴で50%を下回る。

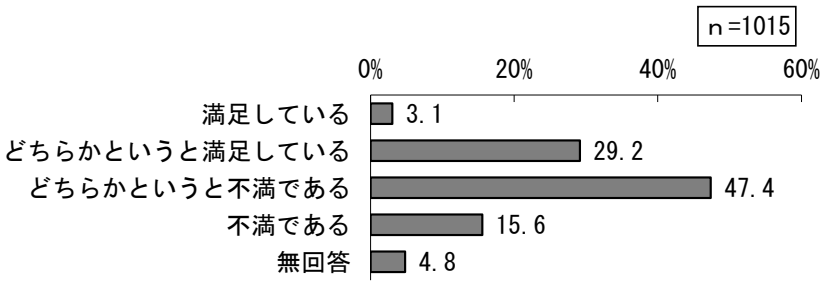
＊年齢の「30歳代」、「70歳以上」、居住地域の「大和地域」、居住歴の「県外から転入」では、『反映されている』が30%を下回る。

| | | | 『反映されている』 | | 『反映されていない』 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 回答数（人） | よく反映されている | どちらかというと反映されている | どちらかというと反映されていない | ほとんど反映されていない | 無回答 |
| 性別 | 女性 | 547 | 0.9 | 32.9 | 49.0 | 14.1 | 3.1 |
| | 男性 | 463 | 1.1 | 31.7 | 41.0 | 22.7 | 3.5 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 99 | 0.0 | 37.4 | 43.4 | 18.2 | 1.0 |
| | 30歳代 | 113 | 0.9 | 27.4 | 38.9 | 30.1 | 2.7 |
| | 40歳代 | 176 | 2.3 | 36.4 | 42.0 | 17.6 | 1.7 |
| | 50歳代 | 244 | 0.8 | 32.0 | 46.3 | 19.7 | 1.2 |
| | 60歳代 | 339 | 0.9 | 32.2 | 48.4 | 13.0 | 5.6 |
| | 70歳以上 | 36 | 0.0 | 22.2 | 52.8 | 16.7 | 8.3 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 1.0 | 34.2 | 44.3 | 17.5 | 3.0 |
| | 勝沼地域 | 267 | 1.1 | 29.6 | 47.9 | 18.0 | 3.4 |
| | 大和地域 | 34 | 0.0 | 14.7 | 52.9 | 29.4 | 2.9 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 1.7 | 31.4 | 43.1 | 20.3 | 3.4 |
| | 市外居住経験 | 303 | 0.3 | 37.3 | 41.6 | 18.5 | 2.3 |
| | 県内から転入 | 261 | 1.1 | 31.4 | 50.2 | 14.2 | 3.1 |
| | 県外から転入 | 155 | 0.6 | 25.8 | 49.7 | 19.4 | 4.5 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問27 あなたは、市政に意見を言う機会や手段について満足していますか。（1 つに○印）

○ 市政に意見を言う機会や手段について満足しているかは、『満足』（「満足している」＋「どちらかというと満足している」）が 32.3%、『不満』（「どちらかというと不満である」＋「不満である」）が 63.0%。




＊市政に意見を言う機会や手段については、『不満』が 60%を超えている。

◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○ 前回調査からは『満足』は＋2.5 ポイント、『不満』は＋1.7 ポイント。

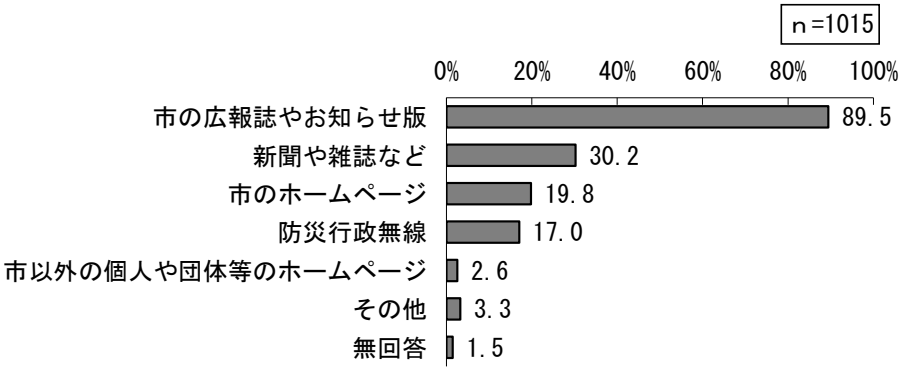
＊大きな差はみられない。

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 満足している | 3.1 | 3.2 | -0.1 |
| どちらかというと満足している | 29.2 | 26.6 | 2.6 |
| どちらかというと不満である | 47.4 | 48.9 | -1.5 |
| 不満である | 15.6 | 12.4 | 3.2 |
| 満足 | 32.3 | 29.8 | 2.5 |
| 不満 | 63.0 | 61.3 | 1.7 |

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇

問28 あなたは、市政に関する情報をどのように入手されていますか。（2 つに○印）

○ 市政に関する情報の入手方法は、「市の広報誌やお知らせ版」（89.5%）が最も高く、次いで「新聞や雑誌など」（30.2%）、「市のホームページ」（19.8%）と続く。

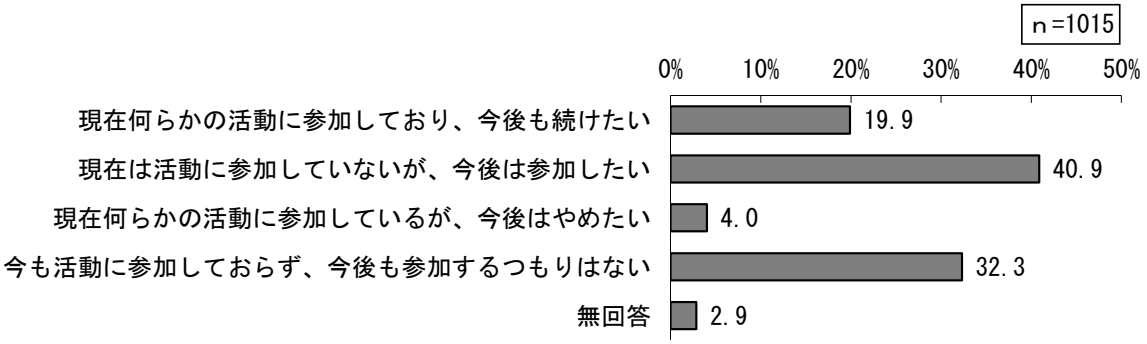



＊市政に関する情報の入手方法は、「市の広報誌やお知らせ版」が 80%を超えている。

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇

問29 あなたは、自分の本来の仕事とは別に、地域や社会のために時間や労力・技術などを無償で提供する地域活動やボランティア活動などに、現在参加していますか。また、今後参加したいと思いますか。（1 つに○印）

○ 地域活動やボランティア活動への参加意向は、『参加したい』（「現在何らかの活動に参加しており、今後も続けたい」＋「現在は活動に参加していないが、今後は参加したい」）が 60.8%、『参加したくない』（「現在何らかの活動に参加しているが、今後はやめたい」＋「今も活動に参加しておらず、今後も参加するつもりはない」）が 36.3%。




＊地域活動やボランティア活動への参加意向は、『参加したい』が 60%を超えている。

◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、『参加したい』は女性 57.9%、男性 64.6%である。

○　年齢では、『参加したい』は 60 歳代以下で 50%を超え、70 歳以上では 47.3%と、年齢層によって差がみられる。

○　居住地域では、『参加したい』は塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに 50%を超える。

○　居住歴では、『参加したい』はすべての居住歴で 50%を超える。

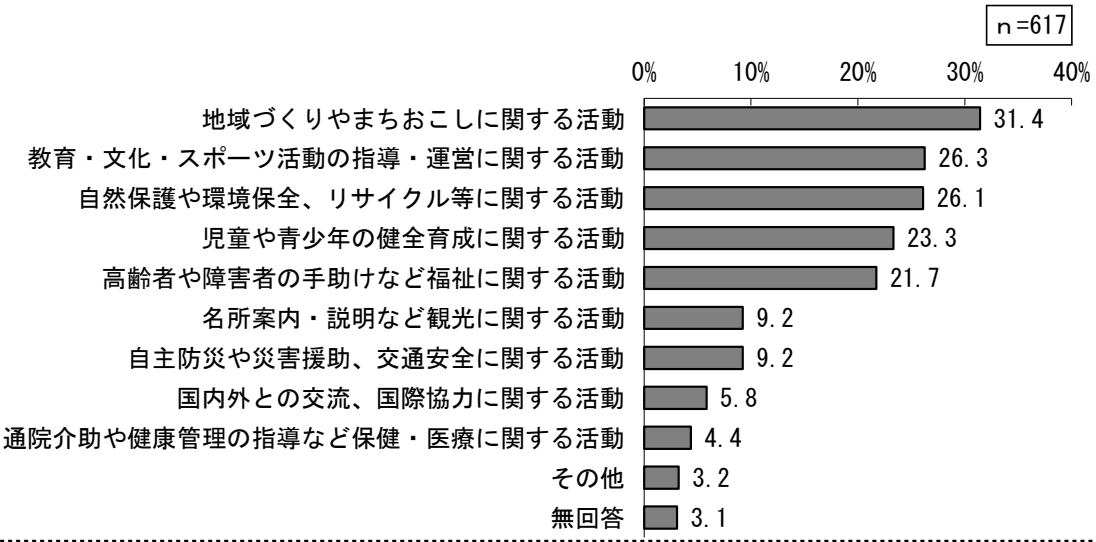
＊年齢の「70 歳以上」では、『参加したい』が 50%を下回る。

| | | | 『参加したい』 | | 『参加したくない』 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 回答数（人） | 現在何らかの活動に参加しており、今後も続けたい | 現在は活動に参加していないが、今後は参加したい | 現在何らかの活動に参加しているが、今後はやめたい | 今も活動に参加しておらず、今後も参加するつもりはない | 無回答 |
| 性別 | 女性 | 547 | 16.6 | 41.3 | 2.7 | 36.4 | 2.9 |
| | 男性 | 463 | 24.0 | 40.6 | 5.4 | 27.6 | 2.4 |
| 年齢 | 10・20 歳代 | 99 | 10.1 | 48.5 | 2.0 | 39.4 | 0.0 |
| | 30 歳代 | 113 | 13.3 | 43.4 | 1.8 | 39.8 | 1.8 |
| | 40 歳代 | 176 | 17.0 | 43.8 | 3.4 | 34.1 | 1.7 |
| | 50 歳代 | 244 | 20.1 | 45.5 | 4.1 | 28.7 | 1.6 |
| | 60 歳代 | 339 | 27.1 | 33.9 | 5.0 | 29.5 | 4.4 |
| | 70 歳以上 | 36 | 16.7 | 30.6 | 8.3 | 36.1 | 8.3 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 18.2 | 44.5 | 3.0 | 32.2 | 2.1 |
| | 勝沼地域 | 267 | 22.5 | 34.5 | 5.6 | 34.1 | 3.4 |
| | 大和地域 | 34 | 38.2 | 20.6 | 11.8 | 23.5 | 5.9 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 18.3 | 40.3 | 3.4 | 34.8 | 3.1 |
| | 市外居住経験 | 303 | 23.4 | 40.3 | 4.3 | 28.7 | 3.3 |
| | 県内から転入 | 261 | 17.6 | 42.9 | 3.8 | 34.1 | 1.5 |
| | 県外から転入 | 155 | 20.6 | 40.0 | 4.5 | 32.3 | 2.6 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問 29-1　問 29 で「1　現在何らかの活動に参加しており、今後も続けたい」または「2　現在は活動に参加していないが、今後は参加したい」に○をつけた方にうかがいます。
あなたは、今どのような地域活動に参加していますか。または参加したいと思いますか。
（2 つまで○印）

○　現在参加している（今後参加したい）地域活動は、「地域づくりやまちおこしに関する活動」（31.4%）が最も高く、次いで「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」（26.3%）、「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」（26.1%）と続く。




＊現在参加している（今後参加したい）地域活動は上は、最も高い「地域づくりやまちおこしに関する活動」が 30%を超えている。

◆◇前回調査からの変化　◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　第 1 位の「地域づくりやまちおこしに関する活動」は前回調査と同じ。
○　前回調査から変化の大きい項目（＋－5 ポイント以上）は、「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」＋7.4 ポイント。

＊「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」のポイントが、大きく増えている。

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 地域づくりやまちおこしに関する活動 | 31.4 | 27.4 | 4.0 |
| 教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動 | 26.3 | 18.9 | 7.4 |
| 自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動 | 26.1 | 25.5 | 0.6 |
| 児童や青少年の健全育成に関する活動 | 23.3 | 25.9 | -2.6 |
| 高齢者や障害者の手助けなど福祉に関する活動 | 21.7 | 25.5 | -3.8 |
| 名所案内・説明など観光に関する活動 | 9.2 | 11.8 | -2.6 |
| 自主防災や災害援助、交通安全に関する活動 | 9.2 | 9.9 | -0.7 |
| 国内外との交流、国際協力に関する活動 | 5.8 | 5.7 | 0.1 |
| 通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動 | 4.4 | 5.7 | -1.3 |

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性は「地域づくりやまちおこしに関する活動」、男性は「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」がそれぞれ最も高い。

○　年齢では、10・20 歳代と 50 歳代は「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」が最も高い。30 歳代と 60 歳代は「地域づくりやまちおこしに関する活動」が最も高い。40 歳代は「児童や青少年の健全育成に関する活動」が最も高い。70 歳以上は「地域づくりやまちおこしに関する活動」と「高齢者や障害者の手助けなど福祉に関する活動」が最も高い。

○　居住地域では、塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに「地域づくりやまちおこしに関する活動」が最も高い。

○　居住歴では、すべての居住歴で「地域づくりやまちおこしに関する活動」が最も高い。

＊性別の「男性」では、「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」が最も高い。
＊年齢の「10・20 歳代」、「50 歳代」では、「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」が最も高い。
＊年齢の「40 歳代」では、「児童や青少年の健全育成に関する活動」が最も高い。
＊年齢の「70 歳以上」では、「地域づくりやまちおこしに関する活動」と「高齢者や障害者の手助けなど福祉に関する活動」が最も高い。

| | | 回答数（人） | 自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動 | 児童や青少年の健全育成に関する活動 | 教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動 | 名所案内・説明など観光に関する活動 | 高齢者や障害者の手助けなど福祉に関する活動 | 通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 317 | 20.5 | 29.3 | 23.0 | 8.5 | 30.0 | 4.7 |
| | 男性 | 299 | 32.1 | 16.7 | 29.8 | 10.0 | 13.0 | 3.7 |
| 年齢 | 10・20 歳代 | 58 | 15.5 | 24.1 | 46.6 | 12.1 | 20.7 | 0.0 |
| | 30 歳代 | 64 | 23.4 | 28.1 | 21.9 | 4.7 | 12.5 | 1.6 |
| | 40 歳代 | 107 | 21.5 | 32.7 | 29.0 | 9.3 | 13.1 | 6.5 |
| | 50 歳代 | 160 | 26.9 | 22.5 | 29.4 | 10.6 | 22.5 | 5.6 |
| | 60 歳代 | 207 | 31.4 | 17.4 | 20.3 | 8.2 | 26.6 | 2.9 |
| | 70 歳以上 | 17 | 35.3 | 17.6 | 5.9 | 17.6 | 41.2 | 17.6 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 441 | 26.5 | 23.6 | 27.2 | 8.6 | 22.0 | 4.8 |
| | 勝沼地域 | 152 | 25.0 | 22.4 | 23.0 | 11.8 | 22.4 | 3.3 |
| | 大和地域 | 20 | 30.0 | 15.0 | 30.0 | 5.0 | 10.0 | 0.0 |
| 居住歴 | 市内居住のみ | 170 | 25.9 | 19.4 | 26.5 | 9.4 | 23.5 | 4.7 |
| | 市外居住経験 | 193 | 26.4 | 26.4 | 30.6 | 11.9 | 13.5 | 3.1 |

| | | 回答数（人） | 自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動 | 児童や青少年の健全育成に関する活動 | 教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動 | 名所案内・説明など観光に関する活動 | 高齢者や障害者の手助けなど福祉に関する活動 | 通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 県内から転入 | 158 | 28.5 | 21.5 | 20.3 | 7.6 | 27.2 | 5.1 |
| | 県外から転入 | 94 | 21.3 | 26.6 | 27.7 | 6.4 | 26.6 | 4.3 |

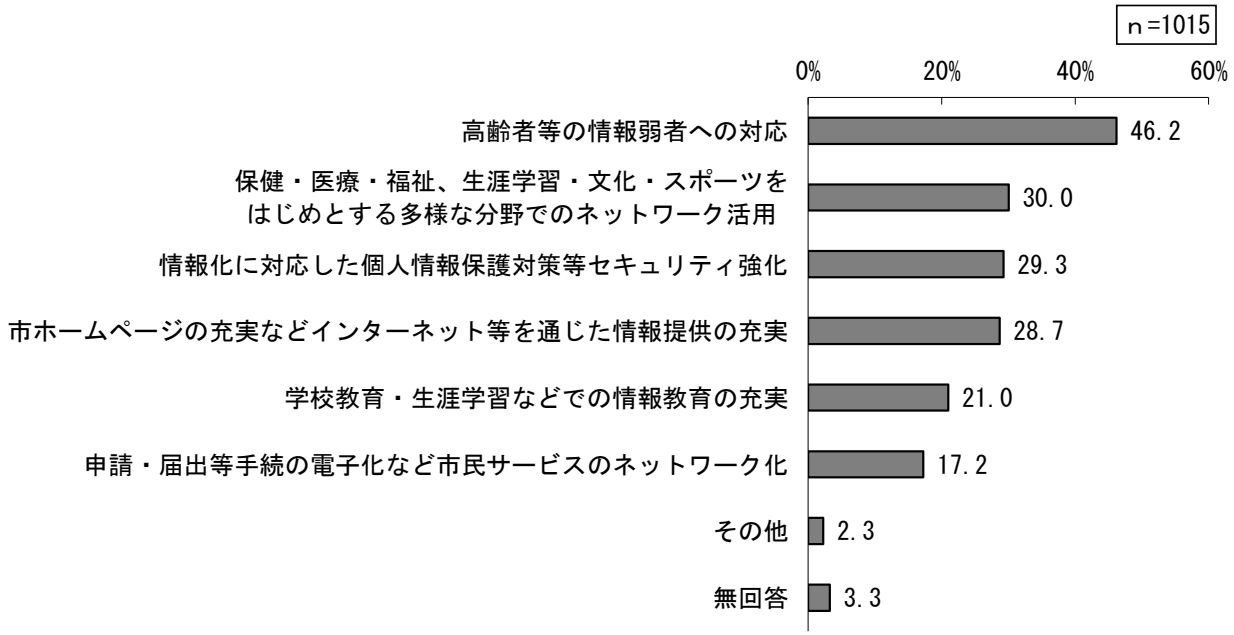
※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

| | | 地域づくりやまちおこしに関する活動 | 自主防災や災害援助、交通安全に関する活動 | 国内外との交流、国際協力に関する活動 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 31.2 | 4.7 | 6.6 | 3.5 | 2.2 |
| | 男性 | 31.8 | 14.0 | 5.0 | 3.0 | 4.0 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 29.3 | 5.2 | 13.8 | 1.7 | 3.4 |
| | 30歳代 | 40.6 | 14.1 | 9.4 | 3.1 | 1.6 |
| | 40歳代 | 25.2 | 5.6 | 6.5 | 2.8 | 3.7 |
| | 50歳代 | 28.8 | 8.1 | 3.8 | 5.6 | 2.5 |
| | 60歳代 | 33.8 | 12.1 | 3.9 | 2.4 | 3.9 |
| | 70歳以上 | 41.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 31.7 | 7.5 | 5.9 | 2.9 | 2.9 |
| | 勝沼地域 | 30.9 | 14.5 | 5.9 | 3.9 | 3.3 |
| | 大和地域 | 35.0 | 10.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 29.4 | 12.9 | 5.3 | 3.5 | 4.1 |
| | 市外居住経験 | 33.2 | 8.3 | 7.8 | 2.6 | 2.1 |
| | 県内から転入 | 31.6 | 8.9 | 4.4 | 1.9 | 3.2 |
| | 県外から転入 | 30.9 | 5.3 | 5.3 | 6.4 | 3.2 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

問30 あなたは、情報化が進む社会に対応するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印）

○ 情報化が進む社会に対応するため、必要だと思う取り組みは、「高齢者等の情報弱者の対応」（46.2%）が最も高く、次いで「保健・医療・福祉、生涯学習・文化・スポーツをはじめとする多様な分野でのネットワーク活用」（30.0%）、「情報化に対応した個人情報保護対策等セキュリティ強化」（29.3%）と続く。




＊情報化が進む社会に対応するため、必要だと思う取り組みは、最も高い「高齢者等の情報弱者の対応」が40%を超えている。

◆◇前回調査からの変化 ◆◇◆◇◆◇

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　性別では、女性、男性ともに「高齢者等の情報弱者の対応」が最も高い。

○　年齢では、30 歳代以下は「市ホームページの充実などインターネット等を通じた情報提供の充実」、40 歳以上は「高齢者等の情報弱者の対応」がそれぞれ最も高い。

○　居住地域では、塩山地域、勝沼地域、大和地域ともに「高齢者等の情報弱者の対応」が最も高い。

○　居住歴では、すべての居住歴で「高齢者等の情報弱者の対応」が最も高い。

＊年齢の「30 歳代以下」では、「市ホームページの充実などインターネット等を通じた情報提供の充実」が最も高い。

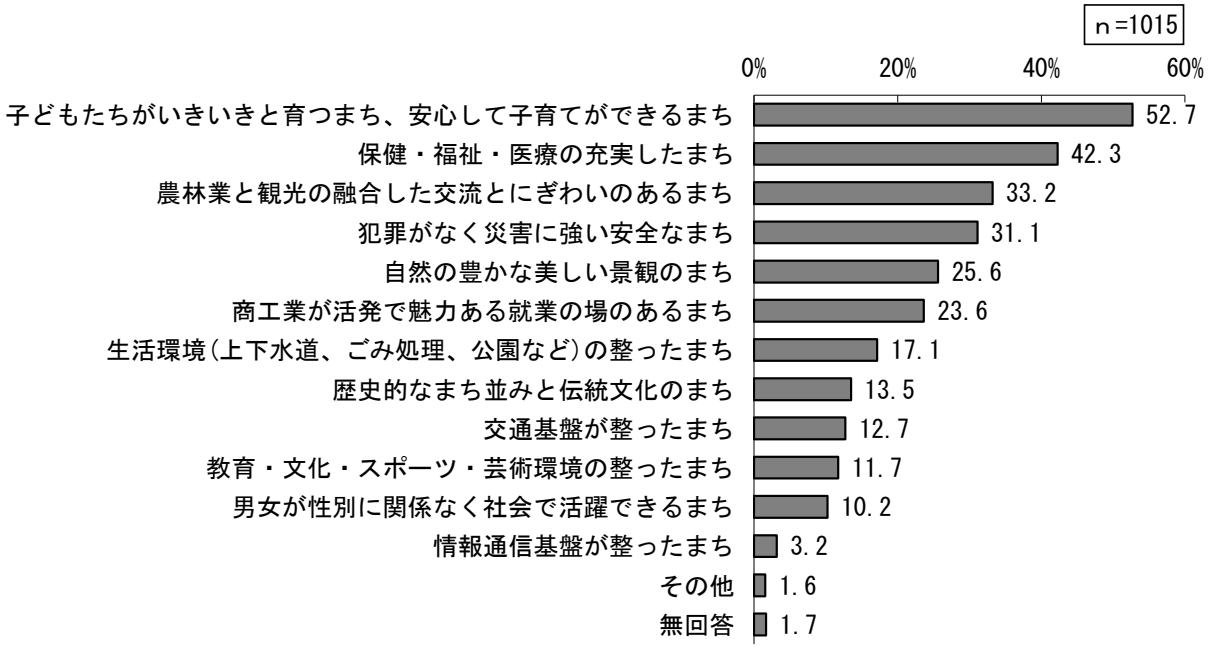
| | | 回答数（人） | 市ホームページの充実などインターネット等を通じた情報提供の充実 | 申請・届出等手続の電子化など市民サービスのネットワーク化 | 保健・医療・福祉、生涯学習・文化・スポーツをはじめとする多様な分野でのネットワーク活用 | 学校教育・生涯学習などでの情報教育の充実 | 情報化に対応した個人情報保護対策等セキュリティ強化 | 高齢者等の情報弱者への対応 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 547 | 25.4 | 16.1 | 27.1 | 20.7 | 33.1 | 52.3 | 1.5 | 3.1 |
| | 男性 | 463 | 32.4 | 18.8 | 33.5 | 21.4 | 25.1 | 39.1 | 3.0 | 3.2 |
| 年齢 | 10・20 歳代 | 99 | 36.4 | 26.3 | 34.3 | 22.2 | 28.3 | 32.3 | 3.0 | 1.0 |
| | 30 歳代 | 113 | 37.2 | 24.8 | 25.7 | 25.7 | 32.7 | 30.1 | 0.0 | 1.8 |
| | 40 歳代 | 176 | 34.1 | 24.4 | 24.4 | 18.2 | 34.1 | 34.7 | 3.4 | 1.7 |
| | 50 歳代 | 244 | 27.9 | 18.9 | 30.3 | 21.7 | 27.5 | 47.5 | 2.9 | 2.9 |
| | 60 歳代 | 339 | 21.8 | 8.8 | 33.0 | 20.1 | 27.7 | 57.8 | 1.5 | 5.3 |
| | 70 歳以上 | 36 | 19.4 | 5.6 | 33.3 | 16.7 | 30.6 | 75.0 | 2.8 | 0.0 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 704 | 29.7 | 17.5 | 30.4 | 18.9 | 31.3 | 46.4 | 1.8 | 3.0 |
| | 勝沼地域 | 267 | 25.8 | 17.6 | 28.8 | 28.5 | 25.5 | 44.6 | 3.4 | 2.2 |
| | 大和地域 | 34 | 26.5 | 8.8 | 35.3 | 8.8 | 23.5 | 58.8 | 0.0 | 8.8 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 290 | 28.3 | 18.6 | 36.2 | 19.3 | 29.3 | 44.1 | 1.4 | 2.8 |
| | 市外居住経験 | 303 | 31.4 | 19.8 | 28.4 | 23.4 | 27.7 | 40.9 | 3.0 | 3.0 |
| | 県内から転入 | 261 | 25.3 | 15.3 | 28.4 | 21.1 | 29.9 | 47.5 | 1.9 | 4.2 |
| | 県外から転入 | 155 | 29.7 | 13.5 | 25.2 | 18.7 | 32.3 | 58.1 | 2.6 | 2.6 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

## Ⅱ-13. これからのまちづくりについて

問31 あなたは今後のまちづくりについて、甲州市をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。（3 つまで○印）

○ 今後、甲州市をどのような特色あるまちにすべきは、「子どもたちがいきいきと育つまち、安心して子育てができるまち」（52.7%）が最も高く、次いで「保健・福祉・医療の充実したまち」（42.3%）、「農林業と観光の融合した交流とにぎわいのあるまち」（33.2%）と続く。




＊今後、甲州市をどのような特色あるまちにすべきは、上位２項目「子どもたちがいきいきと育つまち、安心して子育てができるまち」、「保健・福祉・医療の充実したまち」「高齢者等の情報弱者の対応」が 40%を超えている。

◆◇前回調査からの変化　◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

○　上位 2 項目は前回調査と同じ。

○　前回調査から変化の大きい項目（＋－5 ポイント以上）は、「農林業と観光の融合した交流とにぎわいのあるまち」＋6.2 ポイント。

＊「農林業と観光の融合した交流とにぎわいのあるまち」のポイントが、大きく増えている。

| 項目　※その他、無回答は非表示 | 今回（A） | 前回（B） | 比率変化（A－B） |
|---|---|---|---|
| 子どもたちがいきいきと育つまち、安心して子育てができるまち | 52.7 | 52.4 | 0.3 |
| 保健・福祉・医療の充実したまち | 42.3 | 41.9 | 0.4 |
| 農林業と観光の融合した交流とにぎわいのあるまち | 33.2 | 27.0 | 6.2 |
| 犯罪がなく災害に強い安全なまち | 31.1 | 33.5 | -2.4 |
| 自然の豊かな美しい景観のまち | 25.6 | 29.5 | -3.9 |
| 商工業が活発で魅力ある就業の場のあるまち | 23.6 | 19.6 | 4.0 |
| 生活環境(上下水道、ごみ処理、公園など)の整ったまち | 17.1 | 18.4 | -1.3 |
| 歴史的なまち並みと伝統文化のまち | 13.5 | 13.2 | 0.3 |
| 交通基盤が整ったまち | 12.7 | 10.7 | 2.0 |
| 教育・文化・スポーツ・芸術環境の整ったまち | 11.7 | 10.9 | 0.8 |
| 男女が性別に関係なく社会で活躍できるまち | 10.2 | 8.4 | 1.8 |
| 情報通信基盤が整ったまち | 3.2 | 2.7 | 0.5 |

◆◇回答者属性でみる傾向◆◇◆◇◆◇

| | | 犯罪がなく災害に強い安全なまち | 自然の豊かな美しい景観のまち | 歴史的なまち並みと伝統文化のまち | 男女が性別に関係なく社会で活躍できるまち | 教育・文化・スポーツ・芸術環境の整ったまち | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 35.8 | 26.0 | 12.4 | 12.2 | 11.2 | 1.1 | 1.5 |
| | 男性 | 25.5 | 25.1 | 14.9 | 7.8 | 12.3 | 1.9 | 1.9 |
| 年齢 | 10・20歳代 | 26.3 | 28.3 | 12.1 | 12.1 | 16.2 | 3.0 | 1.0 |
| | 30歳代 | 31.9 | 22.1 | 8.8 | 14.2 | 9.7 | 4.4 | 0.9 |
| | 40歳代 | 29.0 | 27.3 | 17.6 | 9.1 | 12.5 | 1.1 | 1.1 |
| | 50歳代 | 32.4 | 25.0 | 16.0 | 9.4 | 11.5 | 0.8 | 0.8 |
| | 60歳代 | 32.4 | 23.9 | 11.5 | 10.0 | 11.5 | 0.6 | 2.9 |
| | 70歳以上 | 30.6 | 41.7 | 16.7 | 5.6 | 8.3 | 2.8 | 0.0 |
| 居住地域 | 塩山地域 | 33.1 | 22.9 | 14.3 | 10.2 | 11.8 | 1.6 | 1.7 |
| | 勝沼地域 | 27.0 | 33.3 | 10.5 | 8.2 | 12.0 | 1.5 | 0.7 |
| | 大和地域 | 23.5 | 20.6 | 20.6 | 23.5 | 8.8 | 0.0 | 2.9 |
| 居住歴※ | 市内居住のみ | 33.1 | 23.8 | 13.1 | 11.0 | 8.3 | 1.4 | 1.7 |
| | 市外居住経験 | 26.1 | 24.4 | 16.5 | 7.9 | 13.5 | 1.0 | 1.0 |
| | 県内から転入 | 36.4 | 24.9 | 11.1 | 12.6 | 11.5 | 1.1 | 2.3 |
| | 県外から転入 | 27.1 | 32.9 | 12.9 | 9.0 | 14.8 | 3.2 | 1.9 |

※市内居住のみ＝生まれてからずっと甲州市に住んでいる、市外居住経験＝甲州市出身だが、甲州市以外での居住経験がある

## Ⅱ-14. まちの特色について

問32 あなたが思う、他にはない甲州市の特色や誇るべきものがあれば、具体的に 2 つ以内でご記入ください。

○ 甲州市の特色や誇るべきものへの提案から主なキーワードを抽出した。

| 甲州市の特色や誇るべきもののキーワード | |
|---|---|
| 名詞 | ア　ワイン<br>イ　自然<br>ウ　景観、景色<br>エ　ぶどう、ブドウ、ぶどう畑、ぶどうの丘<br>オ　フルーツ、果物<br>カ　歴史、武田信玄<br>キ　神社、寺院、恵林寺<br>ク　温泉 |
| 形容詞 | ケ　良い<br>コ　古い<br>サ　美しい<br>シ　清々しい<br>ス　美味しい<br>セ　近い（自然に近い、都会に近い）<br>ソ　無い（何もないのが良い） |

問33 あなたが思う、甲州市のめざすべき姿について、具体的な姿やキャッチフレーズなどがあれば、ご記入ください。

○　甲州市のめざすべき姿、キャッチフレーズの提案を分類し、主な提案を抽出した。

| 甲州市のめざすべき姿、キャッチフレーズ | |
|---|---|
| フルーツ | ○　ぶどうと歴史文化の町、フルーツと歴史の町、歴史とワインの街<br>○　ぶどう、桃畑にあふれる町<br>○　ぶどう・桃・フルーツの国、フルーツの香りのする街<br>○　世界へ発信　甲州フルーツキングダム王国<br>○　自然と共に甲州市　ぶどう色の甲州市<br>○　自然と歴史の町、くだもの王国甲州市<br>○　都心から近い　フルーツのふるさと<br>○　ぶどう（果樹）とワインと美しい景観の街<br>○　ワイン文化・歴史の花咲く果樹の郷<br>○　（春夏秋冬）日本一のフルーツと景観　甲州市<br>○　フルーツ・ワイン王国　甲州市！<br>○　ワイン文化交流のまち<br>○　フレッシュフルーツ　フレッシュ甲州<br>○　ぶどうとワインの里<br>○　恵み豊かなぶどう郷<br>○　ぶどうとももとワインなら甲州市にまかせろ！<br>○　フルーツと花に溢れる明るくくらしやすい山の郷<br>○　日本一をめざそう　フルーツ王国<br>○　スイーツと歴史　自然豊かな甲州市　笑顔がほっこり　心あたたまるふるさと<br>○　果物たくさん　みずみずしいまち |
| 自然、歴史 | ○　山・畑・温泉、自然に癒やされる町<br>○　住良い古里<br>○　歴史と自然豊かな住み良い町、甲州市<br>○　自然豊かな美しい景観を保ちつつ、住民が終生安心して生活できる生活環境の整った町<br>○　美しい景観と情報ネットワークが融合した人がリラックスして過ごせる街<br>○　緑豊かな歴史ある甲州市<br>○　東京にこんなに近いのに自然がいっぱいです<br>○　自然豊かで人情味のある町<br>○　古き歴史と果樹が豊かな市<br>○　豊かな自然環境を生かした街づくり<br>○　観光と歴史の街　現在と過去の交わる街<br>○　緑あふれる住みやすい（町）街<br>○　山紫水明の美しい町 |

| 甲州市のめざすべき姿、キャッチフレーズ | |
|---|---|
| | ○　果物で人と人とのバをつなぐ～国際発展～<br>○　農作物と歴史が融合し、みんなに優しい市（まち）甲州市！ |
| 子育て<br>高齢者 | ○　子どもを育てる環境 No1<br>○　子どもからお年寄りの市民が幸せを感じられる生活<br>○　子どもから老人までが活躍できる場所<br>○　子どもも大人も高齢者も元気に安心して住める!!<br>○　助け合いと笑顔であふれる幸福のまち<br>○　介護・福祉充実な甲州市　生涯希望がある甲州市<br>○　子どもが元気に育つまち。福祉などの充実したまち<br>○　子どもから高齢者まで、誰もが住みやすく安心できる街<br>○　誰もが住みやすい町　お年寄りにやさしい町　子どもが生き生き育つ町<br>○　子育てがしやすい安心・安全なところ<br>○　お年寄りも子どもも生き生きと暮らせる街<br>○　こどもの夢を育む甲州、おもてなしの甲州市<br>○　子どもがあふれる活気のある街<br>○　子どもや年寄りが安全で笑顔で活かせる市<br>○　年寄りが元気な町。若者が笑う町<br>○　育児や介護などの社会福祉がより充実している市<br>○　子どもも高齢者も生き生き生活する町<br>○　子育てしやすく医療・福祉の充実した自然豊かな町<br>○　子どもからお年寄りまで、安心して楽しく暮らせる街<br>○　赤ちゃんから高齢者まで安心して住める街<br>○　若者が住みたい街、子育てに適した甲州市<br>○　安全安心便利！ずっと住み続けたい街<br>○　医療・福祉が充実して安心・安全、果樹豊富な住みやすい甲州市 |
| くらし、立地 | ○　住んで良し、遊んで良し、観光でも良しの町<br>○　住み人にとって暮らしやすいやさしい町<br>○　心豊かに過ごせる　くらせる　甲州市<br>○　自然豊かな美しい景観を保ちつつ、住民が終生安心して生活できる生活環境の整った町（就業の場、交通、商業施設など）<br>○　都会に一番近い田舎!!<br>○　アクティブシティ KOSHU！　老いも若きも元気の町に<br>○　ここが好き　みんなが笑う　甲州市<br>○　優良企業や工場を誘致して、若者が働きやすい街<br>○　教育に力を入れる甲州市<br>○　住みやすさ No1<br>○　住みたい町 No1<br>○　自然・生活・医療の充実を目指す町づくり<br>○　きれいな空気の甲州市で子育てしよう |

| 甲州市のめざすべき姿、キャッチフレーズ | |
|---|---|
| | ○　食べてみて　住んでみて　やっぱりいいね　甲州市<br>○　誰もが生き生きと笑顔で暮らせる甲州市<br>○　１人１人が笑顔あふれる町<br>○　都心に近く、自然豊かな住み易いまち!!<br>○　若者の就労に希望が持てる甲州市<br>○　安心・安全なまち甲府市<br>○　若者が定住できる街<br>○　笑顔あふれる居心地の良い市<br>○　地域住み良い　男女健康世界一<br>○　移住しやすい町<br>○　観光で集客する魅力ある町<br>○　甲州市から世界へ！　安心して暮らせる甲州市！<br>○　環境 No1 の甲州市　若者も定着する甲州市<br>○　誰でも幸せで元気になれる街♡<br>○　心通わせ　未来見据える安住の街<br>○　自然を残しつつ交通や商業が発展した街<br>○　自然を守り、人が希望を持てる街づくり<br>○　緑と自然豊で子どもも安全に過ごせる甲州市<br>○　生涯、心が元気に暮らせる町<br>○　環境が良い甲州市<br>○　週末は甲州市で過ごしています<br>○　活力あるまち甲州市<br>○　想いやりの街　甲州<br>○　活気ある市を目指す！<br>○　美しい自然の中で人々が輝いているまち<br>○　又、来るが甲州市<br>○　農業と観光、地元のつながりが広がる町<br>○　人も自然も豊かな甲州市<br>○　自然・歴史・産業、世帯間交流で魅力が受け継がれるまち甲州 |
| 上記以外 | ○　やるときはやるじゃん<br>○　観光客が楽しめる街<br>○　やっぱりにっこり甲州市♪<br>○　通える　いやしとふれあいの　異次元空間のまち<br>○　きらきらかがやく甲州市<br>○　スローライフ　みんなちがっていてみんないい<br>○　山梨の京都!!<br>○　甲州にこ～し<br>○　心通わせ　未来見据える安住の街<br>○　市民が主役！ |

| 甲州市のめざすべき姿、キャッチフレーズ | |
|---|---|
| | ○　日本一の幸せな故郷「甲州市」<br>○　田舎と都会のシルクロード<br>○　住民第一のまちづくり<br>○　いつか　やっぱり　甲州市<br>○　自然に優しい　人に優しい　未来に優しい　甲州市<br>○　知の集積<br>○　地域と共に　未来へ輝く　～伝統文化・産業・福祉　ともに明日に向かって～<br>○　グローカル（グローバル+ローカル）甲州市、世界の甲州市　山梨の甲州市　あなたの甲州市 |